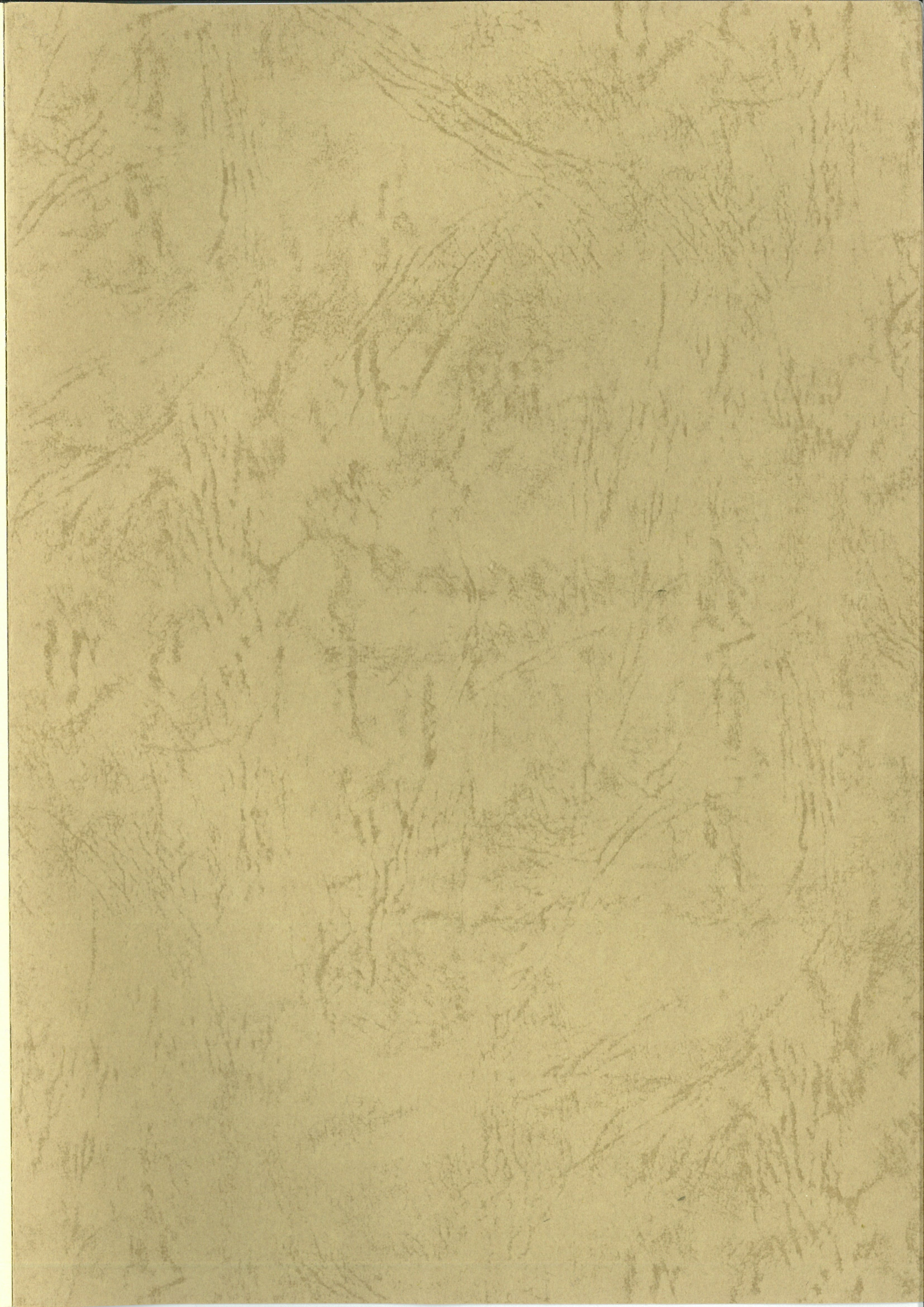




# 漕魂

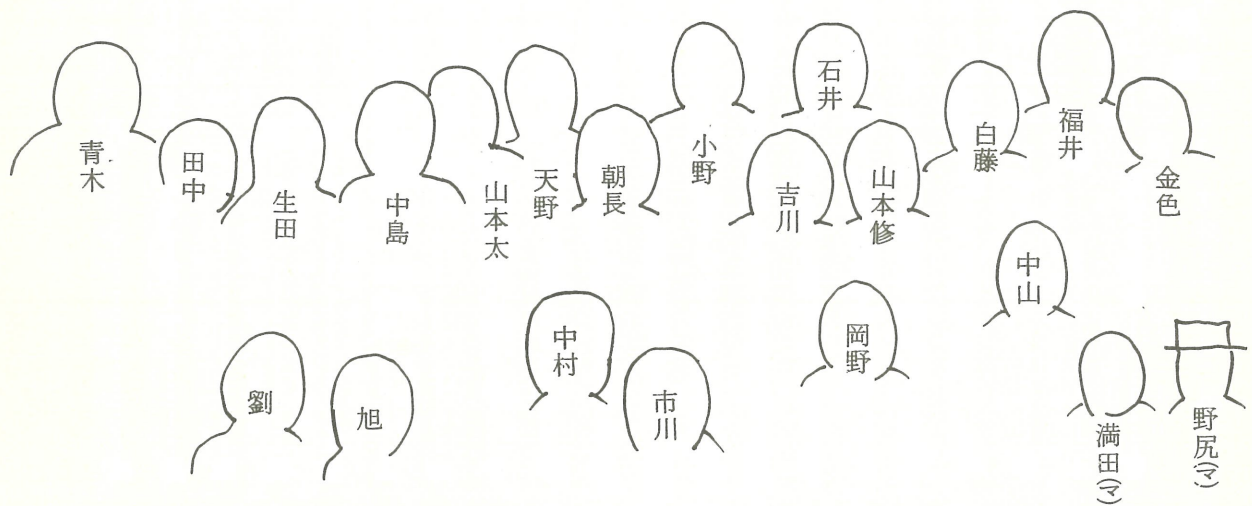
第 11 号

1986年 長崎大学医学部漕艇部





昭和60年 夏合宿（於子々川）





昭和60年 夏合宿（於子々川）



# 目次

## 部員雜感

### 巻頭言

雑感……………部長 高久 功…1

### 寄稿

所感……………第Ⅱ薬理教授 尾崎 正若…2

ボートのよさ……………全学主将 久保 康二…4

### 昭和60年度大会成績

……………5

### OB近況報告

……………18

### 卒業にあたって

卒業にあたって……………高須 勝也…21

ふりかえれば後悔……………中里 貴浩…21

上昇気流……………中山 大介…22

### 練習場に関する取りきめ事項について

……………24

### 研究報告

六十年代陸トレに関する

研究レポート……………岡野 邦彦…25

気分は……………|東方見聞録|……………青木 幹弘…33

無題……………石井 久敬…34

「投げたら、イカン」……………朝長 道生…35

ボート部の酔い方……………中島 寅彦…36

ゆとり……………天野 秀明…37

WHAT'S PYON?……………金色 正広…38

ひとり暮らし……………吉川 公正…39

見栄っ張り……………旭 隆宏…40

狂気……………市川 辰樹…41

徒然草……………小野 重遠…42

ニュース制作について……………白藤 智之…43

観光長崎……………寺尾 保信…44

ジャイアント馬場から学んだこと……………中村 晋…46

無題……………山本 修…47

時代は男前を求めているのだ……………山本 太郎…47

陥落……………生田 安司…48

無題……………鈴木 康弘…50

愛について……………田中 邦彦…51

HUNGRY SPIRIT……………福井 正士…55

平凡……………劉 中誠…56

研究報告

夏合宿異聞……………山本太郎…58

初漕ぎ……………59

駅伝大会……………60

一言

共産党宣言(マルクス)……………共著 生田安司…60

田中邦彦

昭和60年度行事結果……………62

昭和60年度会計報告……………63

昭和61年度年間計画……………64

長崎大学医学部漕艇部OB会会則……………65

琵琶湖周航の歌……………66

長崎大学医学部漕艇部OB会役員名簿……………67

長崎大学医学部漕艇部賛助会員名簿……………68

長崎大学医学部漕艇部一般全員名簿……………70

長崎大学医学部漕艇部現役部員名簿……………77

編集後記……………80

雑感

漕艇部部长 高久 功

毎年今頃になるとボート部の部誌の原稿をと学生諸君があらわれる。「そのうちに書いておくよ」と言ったなりに忘れてしまっている、「出来ましたか」との催促がある。そのうちに「そのうちに」と延しているうちに、本当のタイムリミットとなる。そして何を書こうかと考えることとなる。商売の学界誌でもほとんど同じパターンをたどる。ただこの場合は書きたいことが多過ぎて何を削るうかの決断がつかずいらいらしている事が多い。

東京から電話で催促されるうちはまだ逃げられるのだが、長崎迄おしかけてくると大変で切端つまって徹夜してでも書き上げざるを得なくなる。

以前何回かはホテルに鐘詰めにされたことがあった。この時は一人でなくて他に何人もの仲間も一緒だったのでそれ程悲愴ではなく楽しかった。

こういう原稿催促のパターンもこの頃変ってきたようだ。オフィスオートメーションの波はこんな所にも及んできた。原稿をお書きになるのが面倒なら録音テープを送って下さい。コンピューターで処理して、ワープロしたものをファクシミリで送ります。それに加筆してフ

ァクシミリして下さい、整理したらまた送りますという事で、有能な秘書のように仕事が進むこととなる。

何故こんな事を書くのかというと、ボート部誌のためにはこんなO・Aは使えない、それよりも学界誌とちがって書くべき内容が乏しいという事を言いたかったからである。

ボートという運動は、いろいろな競技に比較すると割合に単純な運動である。昔東大の漕艇部長をされていた石原忍という眼科の教授は、ボートは単純だから好きだよ細かな技術よりただ漕ぐだけという所が青年らしくてよい、と言って居られたそうだ。

しかし、私はそうは思わない。一本のオールがたどる軌跡、水中と水上の、を考えて艇速を出すのは水中の軌跡、いかに水をよくつかみ、水のスリップを少なくして艇の推力とするか、オールが水中に入り、また出る時の抵抗をいかに減らし加速をつけるか、これは力だけでなく、計算された技術が必要となる、その力をうむために筋肉はまた艇の構造はどのように創られなければならないか、ここに漕法が重視されなければならない。

さらにレースの時間中、筋肉が充分働くためには、酸素の供給とATPの消費をいかに合理的にするか、このためには充分な練習が必要となる。ここ何年かわがボート部の戦績はあまり振はないようである。医学部という特殊な環境から充分な練習量をもつことが出来ないのであるが、なるべく合理的な練習により、よい成績をあげてほしいものである。ボートの世界にはまだ、オフィスオートメーションはなく、一夜漬けの努力ではよい成績は期待しえないことを強調して筆をおく。



所感

第二藥理教授 尾崎正若

中国残留孤児の日本訪問のニュースを見聞きする時私の忘れ難い経験が甦る。

衆知の様に第二次世界大戦は我々国にとっては史上はじめて、無残な負けいくさに終わった。特に長崎は原爆による悲惨な傷痕は今なお激しく残っている。

私は戦時中海軍に所属し、横須賀の海兵団で終戦を迎え、約二ヶ月後には幸い戦災から免れた我々家に帰る事が出来たが、暫くして旧満州から引き揚げる同胞を元海防艦で運ぶ作業に従事した。

同胞は遠路チチヘル、ヘルピン、長春などから女性は頭を刈り、男装で、いかに裕福だった家庭人も雑の一つで「アンネの日記」よろしく、昼間は天井裏にひそみ、夜間行動して、敗戦による迫害を逃れつゝ一週間も、二週間も或はそれ以上もかかってやっとの思いで渤海湾の奥深い葫蘆島と言う小さな港に集結していた。

二日許り、待期の後乗艦して来る人々を艦長をはじめ皆若い者許りで「ごころうさんでした」と甲板で乗艦者を迎えた時、彼らの多くはやれやれこれで故国、日本の土が踏めると嬉しかったに違いないが、むしろ無表情で、忙然とし、人々は余程の苦しみ飢えを凌いで来た様子をまざまざと見せつけられた思いがした。栄養失調であらう痩せて、

頬はこけ、顎はとんがって、中にはかなりむくんでいる人さえ居た。傷口は手当ても出来なかつたらしく申し合せた様に化膿し、ひどいのは蠅の蛆虫がはっていた。全員と言える程皮膚病、疥癬で手指趾間は腫脹し、靴は破れズボンも裂けそこから汚れた「はだ」がむき出しになっていた。

とぼとぼとうつむきかげんにタラップを昇る情無い乗艦風景である。乗艦するや否や、殆んが全員先ず横になり、まさに疲労困憊その極に達している有様で、何人かは出発前に余り汚れがひどいので「ぼろ」を脱いでもらい身体を洗って作業員の古着に着替えてもらった。

彼らは乗艦前には「のみ」「しらみ」退治の目的で頭から全身DDTなど白い粉の殺虫剤を噴霧されていた。

兎に角、出港後一昼夜は黄海の波も静かで平穩な航海だったし、休息してもらった。その翌日から艦内を一巡し、重症の浮腫、外傷、蛆のついた化膿創、疥癬、下痢の患者などから医務室に来てもらって或はベッドのままでの治療を始めた。

浮腫のひどい老婆を診た時の事である。「ほんとうに有難うございます。私も命からがらやっとの思いで港までたどり着きました。船のマストに「日の丸」が見えた時、信じられませんでした。故国に連れて帰ってさえ下さるだけで充分なものを、今はお医者さんが診察までして下さる。なんてまあ一有難いこつです。「南無阿弥陀仏」と拜まれてしまった。

小量の利尿薬と少しづつ与えられた「ミルク」などで博多で下船の一週間後にはかなり元気になった様子を見て我々も嬉しかった。

疥癬の治療は余り旨くゆかなかつたが、重症は兎に角、軽症の方は硫黄剤の外用が奏効した。

化膿に対してはその頃はサルファ剤の服用と創傷の消毒程度であつたが良く治癒の方向に向かつた。

母国の船に乗っていると言う安心感も手伝って、心身の安静をとるにはまずまずの条件であり、何にも将るトランキライザーであつたであらうことは想像に難くない。一挙に栄養をとらせることは、返って逆効果であると言うので、五分がゆ、ミルク、野菜の煮物など消化の良いものをと主計長に依頼し、食事のあとは甲板上の散歩などをすゝめた。

博多の港外に到着し、検疫を待つ一日などは、主計長のはからいで、お別れと言うか、励ましの会とも言うべきパーティーが開かれ、少し許りのお酒もふるまわれ、異国の歌などを聞かされた。

聞けばそれぞれ親戚などを頼り、身の振り方を定めるなど、又故国での苦勞が待っているには違いないが、「有難う」「お世話になりました」の連発で上陸していった。都合この時、三往復の勤務で艦を降りたが、私の生涯にとって、直接人様のために働らき、感謝された行為の一つだったと信じている。

其の後東京渋谷の日赤中央病院で外科を専攻する積りで忙がしい毎日を通じていた或日、求められるままに浅草の病院に当直に行ったことがある。夜半に電話で起され通称、「白蟻部落」と言っていた満州の引揚者らがバラックに住み「ばたや」（くずや）のある下町に急患の往診をした。この時一家の柱とおぼしき、四十才がらみの男性がかなり激しい腹痛を訴え苦しんでいた。恐らく胆石か、腎石の発作で

ある。

いわく、「何軒か、往診のお願いに電話をしたが、我々引揚者の所にはなかなか来て下さらなくて嫌われています。先生、先刻の注射で随分楽になりました。有難うございました」とのことで、ブスコパンが奏効した一例である。

総合病院で精密検査をすすめてその場を辞したが彼の一家が起居している室内は狭く、決して清潔とは言えず、果して翌日病院に診察を受けに出掛けたかどうか定かではない。第一経済的にそんな余裕など無かつたかも知れない。その頃は国民保健もなく、生活保護扱いになつた可能性が強い。

先立つて泥坊をとりおさえ、格闘となり傷を負つた大学生の救急治療が救急車がたらい廻しにされた揚句、手遅れになり、ついに一命を落したと言うニュースは何ともやりきれない気がする。彼の親兄弟そしてクラスメートの悲しみもさることながら、全く許せない怒りがこみ上げて来る。何が医師過剰なものか、少しも足りてはいない。全然不足している。

今後は何時なん時でも生命の危険が迫る救急と見てとれたら、何はさておき治療を開始する真の仁術を施せる医人を養成する必要がある。この儘の状態で頭数を減らしにかゝつたらどんなことになるか憂々しいことである。

これからの医学生、研修医の諸君よ、先ず人間であつて欲しい。そして何時でも何所でも、貧富の差なく、世の心身を患う人達を救う気持であつてもらい度い。一方ではその態勢を整のえておくことも必要なことは云うまでもないことである。

直接患者さんを診療することも、医学研究で将来多くの疾患を癒す基礎資料を提供する努力も根ざすところは同じであるとしきりに思われてならない昨今である。

## ボートのよさ

全学主将 経済三年 久保 康 二

私がボート部に入部してはや2年、シエル艇に乗り始めて1年が過ぎました。ただがむしゃらに漕いでいたナックル艇時代とは違い、シエル艇においては、バランスを考えなければならなくなった。シエル艇において大切なものが、この「バランス」であり、全員の気持ちが本当に1つになった時にはじめて、「バランス」が取れる。そしてその時にはじめて、艇は水上をすべるようにして進む。何か別世界に入ったように。この時の気持ちというものはとても書き表わせるようなものではない。皆さんも同感だと思う。

私にはもう一つ好きな瞬間がある。それは、レースにおけるスタートの瞬間である。レース前の練習で、他のクルーになめられないようにと思いつながら、変に緊張したり、力が入ったりと。何となくおかしいものだ。そしていよいよスタート地点に並ぶ。「スタート5分前」この辺はまだ余裕がある。「スタート1分前」この瞬間になると、精神は緊張のため圧迫され、肉体はこわばってしまう瞬間でもあり、また逆に、全神経がオールに集中されるすばらしい瞬間でもある。頭の中は、空っぽになり、「ヨイロー」の声を待つ。「ロー」と同時に

全身全霊を注いで漕ぎ始める。私は実にすばらしい瞬間だと思う。今述べた点が、私が2年間ボートを漕いできた中の好きな瞬間であり、私が感じた良さは、他の団体競技とは異なり、個人的ファインプレーの存在しなければ、個人的ヒーローも必要としない。全員で力を合わせ、気持ちを一つにして、1位（必ず1位でなければということはないかもしれないが）でゴールした時、その時に全員がヒーローになれるというところです。

とまあ私なりの意見を述べましたが、これからも、お互いの発展と飛躍のために、もっと協力していきましょう。

# △昭和60年度大会成績▽

○九州山口医科学学生体育大会（於唐津）

〔クルー〕

Aクルー

C朝長

S中島

3白藤

2旭

B石井

Bクルー

C吉川

S青木

3市川

2中村

B寺尾

Cクルー

C山本(太)

S岡野

3山本(修)

2小野

B天野

〔結果〕

対抗

(予選)

琉球 (3) 4:18

長崎 (2) 4:11

宮医 (1) 4:09

佐医 (4) 4:33

(決勝)

熊本 (3) 4:45

長崎 (2) 4:40

宮医 (1) 4:39

産医 (4) 4:56

(予選)

産医B (3) 4:28

熊本C (2) 4:18

長崎B (1) 4:13

佐医B (4) 4:33

長崎C (1) 4:24

福岡 (3) 4:35

宮崎B (2) 4:33

(決勝)

長崎S 失格

長崎C (2) 4:42

宮医A (1) 4:32

〔試合経過〕

対抗クルー予選

スタートでバランスをくずし、宮医に1/4艇身でられるが、ローイング10本で逆にばんかいして、1/4艇身リード、そのままコンスタントに入る。300m附近で足げり10本入れ、差を半艇身と広める。そのまま足げりの入れあいだで900m地点に来た時、ラストスパートを入れるが、ラストスパートを入れるタイミングが遅すぎたため逆転されてゴール。一着ゴールが当然の試合だった。

対抗クルー決勝

予選よりスタートはまし。スタート、ローイングで半艇身差、コンスタント10本で一艇身差をつける。600m附近では水をあけて独走と思われたが、700m地点でラストを入れてから艇走が乗らず950mあたりで並ばれてゴール直前に抜かれる。

V5ならず!

Bクルー予選

スタート・コンスタント、ともによくゆき、そのままゴール、しかしサイドの漕ぎの強さに差があるため、ローリングし、ラダーも常に引くという燃費の悪いクルーであった。

Cクルー予選

Cクルーとは言っても対抗経験者が2人もいるクルーであり優勝目指しての出艇だった。スタートから1艇身ほど抜け出し、あとは、足げりも、スパートも入れず余裕のゴールだった。

オープン決勝

B、C両クルーが出艇、1、2位のワンツーパンチをちかい試合にのぞむ。試合の方はスタートから混戦で、300m地点で3クルーいっせいに足げりを入れたが差はつかず500mあたりまでくる。600mのあたりで宮医が抜け出す、それにCクルー、Bクルーと続いた。その差1艇身ほど800m附近でCクルーがスパートを入れた時アクシデントがおき宮医に独走をゆるしてしまった。

○九州朝日レガッタ（於 遠賀川）

〔クルー〕

Aクルー	Bクルー	Cクルー	Dクルー
C朝長	C中村	C山本(太)	C田中
S中島	S吉川	S岡野	S福井
3白藤	3市川	3山本(修)	3劉
2旭	2青木	2小野	2鈴木
B石井	B寺尾	B天野	B生田

〔結果〕

Aクルー	予選落ち
Bクルー	予選落ち
Cクルー	準決勝進出
Dクルー	予選落ち

シエルフォア

(予選)

熊 医B	(5)	4:24
新日鉄B	(3)	4:20
福教大	(2)	4:03
長 医A	(4)	4:53
熊商大	(1)	4:26

(予選)

佐賀大	(3)	4:07
山口大	棄権	
新日鉄A	(1)	3:56
熊本大	(2)	4:05
長 医B	(4)	4:32

ナックルフォア

(準決勝)

熊商大附	(1)	4:10
長 医C	(2)	4:12
大分大A	(3)	4:20

(敗復)

三菱化成B	(2)	4:43
長 医D	(4)	5:20
大分大B	(3)	4:44
九工大B	(1)	4:40

〔試合経過〕

Aクルー予選

熊本商科大と福教大の2クルーがスタートから飛び出し、熊医、新日鉄Bとの3位争いとなる。新日鉄Bに並ぶことはあるが追い抜くことはできず、最後はふりきられてしまった。尚、熊本商科大のクルーがレーン侵害し、ラダーを切りすぎたため整調のオール破損。後味の悪いレースだった。

Bクルー予選

スタートで新日鉄Aに出られ、熊大、佐賀大についてゆく。600mまで3位に半艇身差でついてゆくが、バウがシートをはずし大きく遅れる。スパートを入れるもとどかず4位でゴール。残念だった。

Cクルー準決勝

予選の時のタイムから見て熊商大附属との一騎打ちが予想された。波が荒く逆風だったためピッチを押えてスタート、500mまでに熊商附に2艇身のリードをゆるし苦しい試合になった。550m附近で20本の足げりを入れ1艇身差にして、スパートにかけた。800mでスパートを入れ追い上げたが半艇身たりず涙をのんだ。

Dクルー予選

フレッシュマン1年生のデビュー戦である。各々緊張して試合に臨んだようだ。結果は御覧の通りだが、泣くなフレッシュマン明日があるさノ

○県 漕 (於 形上湾)

〔クルー〕

Aクルー	Bクルー	Cクルー	Dクルー
C 朝長	C 山本 (太)	C 鈴木	C 中村
S 中島	S 岡野	S 青木	S 吉川
3 天野	3 白藤	3 劉	3 生田
2 小野	2 旭	2 福井	2 田中
B 石井	B 寺尾	B 市川	B 山本 (修)

〔試合結果〕

Aクルー	3位
Bクルー	準決勝進出
Cクルー	予選落ち
Dクルー	予選落ち

・成人男子KF・

園漕会A ②	4' 11"	1	長 A 4' 08"6	長 B 4' 12"48	長医 B 4' 21"4	佐工専 B 4' 15"8	2	長 B 4' 08"1	長 医 A 4' 16"5	1	長 A 4' 04"2	4	佐工専 A 4' 24"
長大全学B ①	4' 04"7												
佐工専C 3	4' 16"7												
長大医学D 4	4' 35"6												
長大医学A ①	4' 10"6	3	長医 A 4' 09"6	佐工専 A 4' 06"00	園 A 4' 13"6	園 B 4' 27"2	2	長 医 A 4' 08"1	長 医 A 4' 16"5	1	長 A 4' 04"2	4	佐工専 A 4' 24"
佐工専B ②	4' 13"1												
佐工専F 3	4' 22"7												
大村市役所 4	4' 45"0												
長大全学A ①	4' 10"2	1	長医 A 4' 09"6	佐工専 A 4' 06"00	園 A 4' 13"6	園 B 4' 27"2	2	長 B 4' 08"1	長 医 A 4' 16"5	1	長 A 4' 04"2	4	佐工専 A 4' 24"
園漕会B ②	4' 20"3												
長大医学C 4	4' 26"6												
佐工専D 3	4' 25"0												
佐工専A ①	4' 01"6	3	長医 A 4' 09"6	佐工専 A 4' 06"00	園 A 4' 13"6	園 B 4' 27"2	2	長 B 4' 08"1	長 医 A 4' 16"5	1	長 A 4' 04"2	4	佐工専 A 4' 24"
長大医学B ②	4' 09"6												
長大全学C 4	4' 30"2												
佐工専E 3	4' 09"6												
大村市農協 棄権													

〔試合経過〕

対抗クルー予選

スタートでバランスをくずす。ローイングまで半艇身リードの青写真がくずれ、ほぼ並んだままコンスタントに移る。ピッチをおとして大きく長くひこうとする。300mで足げりを入れ半艇身リード。

対抗クルー準決勝

スタート3本でラダーを大きくきる。またまたスタートローイングで出ることが出来ず、苦しいスタート、佐工Aが半艇身リードそのまま2位でゴール。

対抗クルー決勝

スタートはリード、全学A、Bが続く。しかし、コンスタントに移るところで、全学Aクルーに出られ、300m地点までは全学のBクルーにも出られる。500mにさしかかる前に佐工Aがシートをはずし大きく後退。1艇身差の全学Bについていくも、ラストスパートではなされ3位でゴール。

Bクルー予選

スタートから佐工Aにはおいてゆかれ、佐工Eを押えることに専念する。500mまでに1艇身のリードを奪うが、バテがはげしく艇速がのびない。800mすぎからのスパートで追い上げられたがキャンパス差でからくも2位。

Bクルー準決勝

佐工Bのレーン侵害により再レースとなるが、スタートから全学A、Bには従いていけず、途中数回にわたる足げりもむなしく完敗。

Cクルー予選

スタート、ローイングで2番が1本抜き出遅れる。2レーンと4レーンに進路の頭をおさえられ前に出られなかった。足げりでもウサイドに曲がり、整調がイージーオールをした。その後も蛇行を繰り返して敗れた。残念な不完全燃焼の試合であった。

Dクルー予選

スタート4本目で大きく曲がり、ラダーをひく、ローイングが終わった時点で他の艇にすでに大きく差をあげられる。コックスが未熟なせいと、左右の力が違うせいとで試合と通じ蛇行しながら進み、結果的に完敗であった。

○西日本医科大学総合体育大会

(於 広島県福山市)

〔クルー〕

Aクルー	Bクルー	Cクルー	Dクルー	シングル
C朝長	C金色	C中山	C中村	スカル
S中島	S山本(太)	S青木	S吉川	中村
3天野	3白藤	3劉	3田中	
2小野	2旭	2福井	2生田	
B石井	B岡野	B市川	B山本(修)	

〔結果〕

Aクルー……………予選落ち

Bクルー……………準々決勝進出

シエルフォア

予選

レース No.	出賽 時刻	レーン No.	クルー名	着順	タイム
③	9:30	1	和医大(伏虎)	(3)	4・18・6
		2	岡山大(疾風)	(1)	3・44・0
		3	鳥取大(錦王)	(2)	3・54・1
⑥	10:15	1	金沢医大	(3)	5・26・7
		2	滋賀医大 A	(1)	4・05・7
		3	熊本大(阿修羅)	(2)	4・10・4
⑧	10:45	1	京都大 B	(3)	4・14・5
		2	熊本大(龍神)	(2)	4・01・1
		3	浜松医大(瀨監)	(4)	4・18・0
		4	広島大(霞)	(1)	3・55・6
⑨	11:00	1	長崎大(霧島)	(2)	4・05・8
		2	京都大 A	(1)	4・03・6
		3	岡山大(天馬)	(3)	4・08・5
		4	浜松医大(おおうみ)	(4)	4・18・2
⑪	11:30	1	大阪大	(4)	4・11・4
		2	広島大(出汐)	(2)	3・49・8
		3	長崎大(崎陽)	(3)	4・02・6
		4	宮崎医大(日向)	(1)	3・48・2
⑫	11:45	1	京都医大	(2)	4・00・7
		2	鳥取大(海王)	(3)	4・02・2
		3	滋賀医大 B	(1)	4・00・2
		4	佐賀医大(轟天)	(4)	4・59・0

敗者復活戦

⑬	14:00	1	長崎大(崎陽)	(3)	4・13・2	⑭	14:45	1	金沢医大	(4)	5・27・1
		2	岡山大(天馬)	(2)	4・08・9			2	京都大 B	(1)	4・18・3
		3	鳥取大(錦王)	(1)	4・04・0			3	浜松医大(おおうみ)	(2)	4・21・2
		4	佐賀医大(轟天)	キケ	ン			4	大阪大	(3)	4・26・3
⑮	14:30	1	和医大(伏虎)	(4)	4・29・3						
		2	熊本大(阿修羅)	(1)	4・06・0						
		3	浜松医大(おおうみ)	(3)	4・15・3						
		4	鳥取大(海王)	(2)	4・12・9						

Cクルー.....準決勝進出  
 Dクルー.....準々決勝進出  
 シングルスカル.....予選落ち



準々決勝

ナックルフォア

24 8:30 1 鳥取大(錦王)  
2 岡山大(疾風)  
3 宮崎医大(日向)  
4 鳥取大(海王)

(4) 3・48・6  
(1) 3・40・5  
(2) 3・43・9  
(3) 3・46・9

予選

1

9:00 1 大阪大  
2 京都大 A  
3 佐賀医大(飛龍)  
4 滋賀医大 A  
5 広島大 B

( )キケン  
(3) 4・22・3  
(4) 5・02・8  
(2) 4・19・7  
(1) 4・11・9

25 8:45 1 京府医大  
2 京都大  
3 熊本大(龍神)  
4 熊本大(阿修羅)

(1) 3・49・9  
(4) 3・56・2  
(2) 3・50・3  
(3) 3・53・1

2

9:15 1 産業医大 A  
2 岡山大 A  
3 熊本大  
4 滋賀医大 B

(2) 4・26・7  
(1) 4・15・6  
(3) 4・31・1  
(4) 4・36・6

28 9:30 1 長崎大(霧島)  
2 滋賀医大 A  
3 広島大(出汐)  
4 浜松医大(おおうみ)

(3) 3・52・0  
(1) 3・38・4  
(2) 3・44・4  
(4) 3・59・7

4

9:45 1 福岡大  
2 岡山大  
3 和医大  
4 大阪大  
5 佐賀医大(なべてる)

(2) 4・34・3  
(1) 4・28・6  
(4) 4・40・0  
(3) 4・38・4  
(5) 5・08・6

29 9:45 1 京都大 B  
2 広島大(霞)  
3 滋賀医大 B  
4 岡山大(天馬)

(4) 4・03・5  
(1) 3・48・7  
(2) 3・56・3  
(3) 4・00・8

5

10:00 1 熊本大(銀箭)  
2 長崎大 A  
3 広島大 A  
4 大阪大 C

(4) 4・54・3  
(1) 4・33・0  
(3) 4・45・6  
(2) 4・39・3

準決勝

34 12:15 1 広島大(出汐)  
2 岡山大(疾風)  
3 京都府医大  
4 滋賀医大

(2) 4・04・5  
(1) 4・01・7  
(4) 4・14・1  
(3) 4・12・0

7

10:30 1 大阪大 D  
2 宮崎医大 A  
3 熊本大(龍南)  
4 滋賀医大 C  
5 長崎大 B

(4) 4・53・9  
(1) 4・25・0  
(2) 4・28・5  
( )キケン  
(3) 4・46・0

35 12:30 1 宮崎医大(日向)  
2 滋賀医大 A  
3 広島大(霞)  
4 熊本大(龍神)

(3) 3・59・1  
(1) 3・56・6  
(2) 3・58・0  
(4) 4・06・0

10

11:15 1 京都大 B  
2 浜松医大  
3 大阪大 A  
4 産業医大 C  
5 宮崎医大 B

(2) 4・33・9  
(4) 4・45・5  
(1) 4・28・5  
( )キケン  
(3) 4・35・4

決勝

40 15:30 1 広島大(出汐)  
2 広島大(霞)  
3 岡山大(疾風)  
4 滋賀医大 A

(4) 4・02・9  
(2) 4・01・4  
(3) 4・01・9  
(1) 4・01・1

13

12:00 1 京府医大  
2 鳥取大  
3 産業医大 B  
4 岡山大 C  
5 大阪大 E

(4) 4・51・2  
(1) 4・25・5  
(3) 4・42・3  
(2) 4・38・4  
(5) 5・17・1

敗者復活戦

⑭	13:30	1 大阪大 D	(3) 4・56・2	}
		2 広島大 A	(1) 4・47・8	
		3 京府医大	(2) 4・53・8	
		4 佐賀医大(なべてる)	(4) 5・04・8	
⑮	13:45	1 滋賀医大 B	(2) 4・52・2	}
		2 佐賀医大(飛龍)	(3) 5・32・7	
		3 和医大	(1) 4・49・4	
⑰	14:15	1 浜松医大	(2) 4・53・6	}
		2 熊本大	(1) 4・48・0	
		3 熊本大(銀箭)	(3) 4・56・9	
		4 大阪大 E	(4) 5・05・0	

⑳	10:15	1 大阪大 B	(3) 4・44・8	}
		2 鳥取大	(1) 4・29・2	
		3 滋賀医大 A	(2) 4・33・6	
		4 宮崎医大 B	(4) 4・44・9	
㉑	12:45	1 福岡大	(3) 4・42・4	}
		2 宮崎医大 A	(1) 4・25・9	
		3 滋賀医大 A	(2) 4・28・7	
㉒	13:00	1 熊本大	(2) 4・41・3	}
		2 鳥取大	(1) 4・35・0	
		3 京都大 A	(3) 4・43・5	

準決勝

準々決勝

㉔	8:00	1 産業医大 A	(3) 4・20・0	}
		2 大阪大 A	(1) 4・15・1	
		3 熊本大(龍南)	(2) 4・15・6	
		4 広島大 A	(4) 4・27・2	
㉕	8:15	1 長崎大 B	(3) 4・30・9	}
		2 岡山大 A	(1) 4・09・6	
		3 長崎大 A	(2) 4・13・2	
		4 京府医大	(4) 4・31・6	
㉖	9:00	1 大阪大 C	(2) 4・24・7	}
		2 岡山大 B	(1) 4・20・5	
		3 京都大 B	(3) 4・28・0	
		4 浜松医大	(4) 4・38・4	
㉗	9:15	1 京都大 A	(2) 4・22・5	}
		2 宮崎医大 A	(1) 4・16・8	
		3 岡山大 C	(3) 4・23・6	
		4 和医大	(4) 4・29・6	
㉘	10:00	1 産業医大 B	(3) 4・51・5	}
		2 広島大 B	( ) レーン侵害除外	
		3 福岡大	(1) 4・44・4	
		4 熊本大	(2) 4・49・5	

㉙	11:45	1 岡山大 B	(1) 4・24・6	}
		2 大阪大 A	(3) 4・30・4	
		3 長崎大 A	(2) 4・27・8	
㉚	12:00	1 熊本大(龍南)	(2) 4・23・1	}
		2 岡山大 A	(1) 4・22・5	
		3 大阪大 C	(3) 4・33・8	

決勝

㉛	15:15	1 鳥取大	(4) 4・24・8	}
		2 宮崎医大 A	(3) 4・23・4	
		3 岡山大 B	(2) 4・23・2	
		4 岡山大 A	(1) 4・21・7	

大船員  
大船員  
大船員  
大船員

シングルスカル

予 選

⑳	15:00	1 井内(岡山大) (2)	5・07・8	}
		2 村上(鳥取大) (1)	4・47・8	
		3 寺脇(京都大) (3)	7・35・8	
㉑	15:15	1 森島(滋医大) (1)	5・24・2	}
		2 榊(京都大) (3)	5・34・4	
		3 寺田(鳥取大) (2)	5・26・5	
		4 中村(長崎大) (4)	7・38・4	

決 勝

㉒	15:00	1 森島(滋医大) (3)	5・09・2	}
		2 村上(鳥取大) (1)	4・39・0	
		3 寺田(鳥取大) (4)	5・12・4	
		4 井内(岡山大) (2)	5・00・7	

Aクルー(予 選)

レーン		着順	タイム
1	熊本大(銀箭)	4	4' 54" 3
2	長崎大 A	①	4' 33" 0
3	広島大 A	3	4' 45" 6
4	大阪大 A	②	4' 39" 3

Aクルー(準 決 勝)

レーン		着順	タイム
1	岡山大 B	①	4' 24" 6
2	大阪大 A	3	4' 30" 4
3	長崎大 A	2	4' 27" 8

Aクルー・Bクルー(準々決勝)

レーン		着順	タイム
1	長崎大 B	3	4' 30" 9
2	岡山大 A	①	4' 09" 6
3	長崎大 A	②	4' 13" 2
4	京府医大	4	4' 31" 6

Bクルー(予 選)

レーン		着順	タイム
1	大阪大 D	4	4' 53" 9
2	宮医大 A	①	4' 25" 0
3	熊本大(龍南)	②	4' 28" 5
4	長崎大 B	③	4' 46" 0

崎 陽 (予 選)

レーン		着順	タイム
1	大阪大	4	4' 11" 4
2	広島大(出汐)	②	3' 49" 8
3	長崎大(崎陽)	3	4' 02" 6
4	宮医大(日向)	①	3' 48" 2

霧 島 (予 選)

レーン		着順	タイム
1	長崎大(霧島)	②	4' 5" 8
2	京都大 A	①	4' 3" 6
3	岡山大(天馬)	3	4' 8" 5
4	浜医大(おおうみ)	4	4' 18" 2

崎 陽 (敗 復)

レーン		着順	タイム
1	長崎大(崎陽)	3	4' 13" 2
2	岡山大(天馬)	②	4' 08" 9
3	鳥取大(錦王)	①	4' 04" 0

霧 島 (準々決勝)

レーン		着順	タイム
1	長崎大(霧島)	3	3' 52" 0
2	滋医大 A	1	3' 38" 4
3	広島大(出汐)	2	3' 44" 4
4	浜医大(おおうみ)	4	3' 59" 7

〔試合経過〕

霧 島 (準々決勝)

広島大・滋医大にスタートで大きくリードされる。コンスタントに入っても焦りが先に出て、バランスが崩れ思う様に進まないまま、両大学に水を開けられる。その後立て直し、広島大のピッチが下がった所を見計らって600m付近でスパートをかけるも、コンスタントでの差が大きすぎて、及ばなかった。

Aクルー(予 選)

スタートで広島大・大阪大に1/2艇身差をつけ、熊本大は更に遅れる。200m付近で、大阪大にトラブル発生、広島大もジリジリ落ちてゆき、500mを過ぎた時点では、2位以下に大きく水を開ける。このまま、大差をつけてゴールインと思った矢先、コックスが900m地点をゴールと勘違いして漕ぎやめる。周囲の様子がおかしいのに気付いて、あわてて残り100mを漕いで何とか1着でゴールイン。予選通過。

Aクルー・Bクルー(準々決勝)

AクルーとBクルーが顔を合わせた。Bクルーはレース直前に3番のオールが壊れて、急拠、他クルーのをとりよせ、レースに臨む。スタートで長大Aと岡山Aがとび出し、Bクルーは出遅れる。長大Aと岡山Aの競り合いとなる。しかし、常に1/2〜1艇身を保ってトップに立っていた岡山Aは長大Aを1艇身差でかわした。一方長大Bは、コンスタントでもトップに離されて、結局3位でゴール。長大Aは準決勝進出。

崎陽(予 選)

初戦より宮医大と当たり、雪辱を期して臨んだが、予想外に力をつけていた。スタートは広島大、宮医大と互格であったが、コンスタントで大きく離され、2艇に大差をつけられ3着でゴール。敗復へ廻る。

崎陽(敗 復)

3艇のレースで2位までが翌日の準々決勝に残れる。逆に言うところのレースで最下位ならば、シェルフォア部門のワースト5に入る。スタートで3レーンの鳥取大がとび出し前半で水を開けられる。しかし、岡山大には400m付近で1/2艇身、足蹴りを入れて1艇身以上の差をつけた。

しかし、800m付近で並ばれ、ゴール時点では1艇身の差を逆につけられて敗退。

霧島(予 選)

スタートがよく、京大Aとほぼ並ぶ。ローイングからコンスタントに移る時点では、カンバス差でトップに立つ。500m付近までトップと最下位までの差は半艇身程の競り合い。600m付近で京大Aが先にスパートを入れトップに立つ。700m過ぎでスパートをかけ、追い上げるが1/2艇身及ばず2着でゴール。予選通過。

Aクルー(準決勝)

スタート、ローイングが終わった時点でも、3艇ほぼ並んだ状態。次第に阪大が遅れだし、500m付近までは岡山Bをカンバス差で抑えていたものの、逆に600mを過ぎたあたりで1/2艇身ほど出られる。750m付近より、必死のスパートをこころみだが、差は思ったように縮まらず、約2/3艇身をつけられ2着でゴールイン。決勝進出

ならず。

Bクルー(予 選)

滋医大が棄権したため最下位にならなければよいというレース。スタートが弱く、宮医大と熊大に出られ、コンスタントでもこの2艇にじわじわと引き離される。焦点は阪大との3位争いとなったが、500m付近で1/2艇身リードし、ラストスパートで更に引き離し、3位でゴール。予選通過。

(準々決勝)

Aクルーと同じなので省略させていただきます。

○宮城杯 (於 大村湾)

(Aクルー)

Aクルー Bクルー Cクルー Dクルー

C朝長 C吉川 C田中 C金色

S山本(太) S小野 S中島 S福井

3市川 3山本(修) 3寺尾 3生田

2旭 2岡野 2劉 2青木

B白藤 B天野 B石井 B中村

(試合結果)

Aクルー……………準決勝進出

Bクルー……………2位

Cクルー……………準決勝進出

Dクルー……………予選落ち

(予選)	(予選)	(予選)	(予選)	(対抗クルー)
全学B (1) 4'07"46D ク ル ー	南商OB (1) 4'10"38	C ク ル ー	全学 A (1) 4'08"84	B ク ル ー
医学D (3) 4'19"25	佐工専 (2) 4'14"78	佐工専 E (3) 4'36"12	佐工専 E (3) 4'36"12	医学A (1) 4'04"95
佐工専A (2) 4'07"91	医学 C (3) 4'15"74	医学 B (2) 4'23"38	医学 B (2) 4'23"38	園漕会 (3) 4'13"69
佐工専D (4) 4'27"83		大村農 (4) 5'45"76	大村農 (4) 5'45"76	佐工C (2) 4'05"38
	(準決勝)	(準決勝)	(準決勝)	(準決勝)
	佐工 A (2) 4'11"73	全学 B (3) 4'13"20	全学 B (3) 4'13"20	佐工A (2) 4'11"73
	全学 A (1) 4'06"56	佐工専 C (1) 4'11"27	佐工専 C (1) 4'11"27	全学A (1) 4'06"56
	医学 A (3) 4'13"18	医学 B (2) 4'11"33	医学 B (2) 4'11"33	医学A (3) 4'13"18
	医学 C (4) 4'27"45	佐工専 B (4) 4'20"13	佐工専 B (4) 4'20"13	医学C (4) 4'27"45
		(決勝)	(決勝)	
		全学 A (1) 4'08"06	全学 A (1) 4'08"06	
		医学 B (2) 4'12"81	医学 B (2) 4'12"81	
		佐工 A (3) 4'16"85	佐工 A (3) 4'16"85	
		佐工専 C (4) 4'15"99	佐工専 C (4) 4'15"99	

〔試合経過〕

対抗クルー予選

漕漕会はいつものメンバーでなく今年インターハイに出場した園芸高校の3年生たち。スタート、ローイングで佐工Cと互角の出足、300m附近では佐工Cが半艇身ほどリード、しかし中盤から小切みに足りを入れ徐々にその差をちぢめ700mに差ししかかったところでは反対にこちらが半艇身リード800mでスパートを入れ水をあけて1着ゴール。

対抗クルー準決勝

スタートから全学Aが大きくリードし、300mで1艇身差をつけられる。佐工Aにだけは負けられないと半艇身のリードをさらに広げるために足り、足りりで1艇身差。ここでピッチを一度おとして、ラストスパートで逃げきるつもりが30本目でならば惜しくも負ける。他のクルーよりもプラスαの練習と自信の必要を痛感。

Bクルー予選

スタート時から2位。前とも後とも差が開いたので、ラストスパートをいれずにそのままゴール。

Bクルー準決勝

佐工専Cとは初めから、競っていたがラストスパートで引き離しゴール。しかしなぜか結果は2位であった。おかしい。

Bクルー決勝

スタートで出遅れたが、足蹴りを入れるたびに艇速が延び、佐工Aをぬいたが、全学Aには一步およばず、惜しくも2位。今後に期待したい。

Cクルー予選

スタートが出遅れ、漕ぎが乱れる。整調が漕ぎのリズムを整えようとするが、なかなか合わず、足げりをいれるが及ばず、どんどん他クルーにひきはなされる。ラストにはいっても艇速がのびず、最下位ゴール。クルーの勢い、というものについて考えさせられた。

Cクルー準決勝

予選で一位の南商OBが棄権したため、準決勝に進出。予選での汚名をばん回しようとするが、疲れがためか漕ぎにもう一つ迫力がなく、フィニッシュがうき、ストロークが短くて、つい 4位でゴール。

Dクルー予選

スタートから遅れ、頑張っついでいこうとしたが、コンスタントでも徐々にはなされ、惨敗だった。

○熊大対抗戦（於 子々川）

〔クルー〕

Aクルー	Bクルー	Cクルー	Dクルー
C 吉川	C 田中	C 金色	C 金色
S 小野	S 中島	S 福井	S 山本（太）
3 山本（修）	3 寺尾	3 生田	3 市川
2 岡野	2 劉	2 青木	2 朝長
B 天野	B 石井	B 中村	B 白藤

〔試合結果〕

（対抗）

長崎 3:59  
熊本 3:47

（Bクルー）

長崎 4:00  
熊本 4:09

（Cクルー）

長崎 4:18  
熊本 4:15

（Dクルー）

長崎 4:23  
熊本 4:33

〔試合経過〕

Aクルー

スタート時から差をつけられ、足蹴りを入れても差は縮まらず、結局コンスタントの時にも差が開いていく結果となった。

かなり波はあったが、バランスの点で熊大と比べて明らかに差が見え、ストロークの長さも長大は短いように思えた。練習不足もあったが、対抗に限っては熊大とは実力の差ができていたと感じた。来シーズンには頑張ろう。

Bクルー

シーズン最後の試合。スタートでリードし、艇速ものびる。コンスタントにはいっても、安定したバランスとストロークで熊大クルーをひきはなす。しかしラストで思ったようにのびずスタミナに問題を残すが、来季に明るい展望をもてた一戦であった。

Cクルー

スタート、ローイングではほぼ横一線のままコンスタントに入った直後半艇身ほど出られた。400mあたりで足げりを10本入れ、並んで800mの岬を通過したが、スパートがのびず一艇身ほどはなされてゴール。前日の飲み会が響いたようだった。

2番の旭が腰痛のため欠場、代りにCOXの朝長が2年ぶりにオー  
ルを持つ。相手も熊大のCOXクルーの寄せ集めで勝算ありと見えた  
が、勝負のカギは2番の朝長のできであった。スタート、ローイング  
で1/4艇身でて300m附近の足げりで1艇身リード、終始リードを  
保った危げない試合であった。

朝長は腰痛のため欠場、代りにCOXの朝長が2年ぶりにオー  
ルを持つ。相手も熊大のCOXクルーの寄せ集めで勝算ありと見えた  
が、勝負のカギは2番の朝長のできであった。スタート、ローイング  
で1/4艇身でて300m附近の足げりで1艇身リード、終始リードを  
保った危げない試合であった。

朝長は腰痛のため欠場、代りにCOXの朝長が2年ぶりにオー  
ルを持つ。相手も熊大のCOXクルーの寄せ集めで勝算ありと見えた  
が、勝負のカギは2番の朝長のできであった。スタート、ローイング  
で1/4艇身でて300m附近の足げりで1艇身リード、終始リードを  
保った危げない試合であった。

朝長は腰痛のため欠場、代りにCOXの朝長が2年ぶりにオー  
ルを持つ。相手も熊大のCOXクルーの寄せ集めで勝算ありと見えた  
が、勝負のカギは2番の朝長のできであった。スタート、ローイング  
で1/4艇身でて300m附近の足げりで1艇身リード、終始リードを  
保った危げない試合であった。

朝長は腰痛のため欠場、代りにCOXの朝長が2年ぶりにオー  
ルを持つ。相手も熊大のCOXクルーの寄せ集めで勝算ありと見えた  
が、勝負のカギは2番の朝長のできであった。スタート、ローイング  
で1/4艇身でて300m附近の足げりで1艇身リード、終始リードを  
保った危げない試合であった。



## 《OB近況報告》

石田 盟士 先生 (S30年卒)

部員の怪我の時はいつもお世話になっていました。長大祭の時期にもお酒をいただきにおしかけてとても有難く思っています。

また昨年は春合宿の中休みに部員一同お招きいただき御馳走になりました。

大須賀 浩 先生 (S30年卒)

お忙しいお仕事の間、月に一度ゴルフをたしなまれ、又、石橋先生とともに、月に二度魚つりを楽しんでおられます。初漕ぎ他各種のボート部の行事のやりには、お酒をくださったり、色々とお心づかいをいただいております。

ボート部の皆さん、どうか頑張ってください。とのことでした。

丹羽 正美 先生 (S49年卒)

四月に米国留学から帰って来られました。長い米国生活にもかかわらず、留学前と変わっておられず、無精ヒゲを生やして忙しく研究に没頭されています。

桜井 一枝 先生 (S49年卒)

「卒業して、はや十年が過ぎ、国立福山へ来て五年になろうとしています。今や私も娘二人の親で、この夏には三児の母になる予定です。けれども、今でも年令不詳で通っています。」

田中 精一 先生 (S51年卒)

昨年四月に東京女子医大病院に戻って来られました。肝臓外科が御専門だそうです。ここ二年、今里先生、日高先生のあとを追って女子医大へ行かれました。また戸田のインカレ等で部員が東京へ行った際、いつも大変お世話になっていきます。現在のボート部へは、「とにかく勝つこと」と言われました。

出口 正己 先生 (S53年卒)

今年の二月から福井病院に勤務しておられます。一才と二才の男子がいらっやるそうです。また、現在のボート部について率直かつ貴重な御意見をいただきました。

井上 健一郎 先生 (S54年卒)

めでたく御結婚されました。現在第Ⅱ内科から出張され、井上病院で内科一般、特に友腸ファイバーを中心とした消化器をなされているということ。駅伝大会のあと家に御招待していただき、高級なお酒を沢山飲ませていただきました。

水谷 明正 先生 (S54年卒)

「昨年六月より福井病院に勤務しており、主に消化器(手術を含む)をやっています。得意技は特にありませんが、肝・胆・脾を中心に勉強しています。家では二人の男の子にせっつかれ苦しい毎日です。」

小倉 猛 先生 (S55年卒)

昨年十一月に大学に戻って来られました。現在手術部で麻酔を担当されているそうです。昨年四月に男の子がお生まれになり、上の女の子さんも二才になられたそうです。現役員とOBの先生方との接点をもっと増やすことなど貴重な御意見をいただきました。

谷川 宗生 先生 (S55年卒)

現在、原爆病院にいらっしゃいますが、四月からは大病院にもどられるそうです。第三内科では不整脈を専門にしておられます。

先生ももうすぐ三十才で、去年三月にお生まれになったお子さんももうすぐ一才になれるとのことです。

難波 裕幸 先生 (S55年卒)

「本年三月をもって九大心臓内科での研修を終わる予定です。その後長大第一内科にもどりますが、どこに飛ばされるかは未だ不明です。

長崎へもどれた時は共に遊びましょうね。」

山近 史郎 先生 (S56年卒)

「二年半、県立多良見病院、国立川棚病院で内科一般(胃カメラ・胃透視・気管支造影・腰部エコー・外科手術etc)を学んで今年の一月から大学にもどってきました。今後は循環器専門に頑張っていくつもりです。」

岡田 代吉 先生 (S57年卒)

現在、北松中央病院外科勤務で四月から佐世保総合病院へ移られる

そうです。

昨年四月に御結婚され、現在新婚生活を楽しんでおられるということとです。

末永 俊郎 先生 (S57年卒)

昨年四月に門司から中津国立病院に移られました。「ペイは良いがシテイギヤルがいない。長崎のポर्ट部時代に戻ったようだ。博多時代は良かったな。」とのこととです。しかし、二月十四日に電話したのですが「裏に看護学校があつてチョコを六つもらった。」そうです。現在の趣味はリーダーディスクとパソコンを組み合わせてゲームをすることとだそうです。ポर्ट部へ一言、とおききすると、

「勝たんと金出さんぞ。」とのこととです。

中崎 隆行 先生 (S57年卒)

今年四月より八幡市民病院へ行かれるそうなので、五月の朝日レガッタは是非応援に来て下さるとのこととです。

「今年、結婚の予定はない?!」とおっしゃっていました。

永見 耕一 先生 (S57年卒)

現在佐世保総合病院の眼科に勤務されておりしばらくは佐世保にいらっしゃるそうです。

お忙しそうでポर्ट部の会合へもなかなか顔を出せないのを残念がっております。

永山 雄二 先生 (S 57 年卒)

四月より第一内科大学院に入られ、臨床と研究と両方におられる忙しい毎日を送っておられ、クラブになかなか顔がだせないということ  
です。

松尾 圭一 先生 (S 57 年卒)

「一年目大学、二年目佐世保労災、三年目大分県立と、  
をめざして頑張っております。今年は専門を決める  
年です。ポート部で鍛えた体力の貯蓄もなくなりまた肥満児にもどっ  
ております。四月に長子誕生予定です。」

松 永 伸 彦 先生 (S 57 年卒)

昨年五月より帰って来られ、現在長大附属病院眼科で、高久教授の  
もと頑張っているらしいです。お忙しそうでなかなかインタビュー  
できませんでした。昨年七月末、伸吾君という男の子がお生まれにな  
りました。

今 里 雅之 先生 (S 59 年卒)

東京女子医大消化器病センターに来て2年め、相変わらずの忙しい  
病院内での生活が続いており、運動もほとんどせずいわゆるふつうの  
生活はしていないということです。お子さんはまだだそうです。

小林 誠 博 先生 (S 58 年卒)

昨年六月に御結婚されました。

御仕事もお忙しいとのことと四月からは八幡市立病院へ一年ほど行  
かれるそうです。

もっと練習量を多くして、長崎に帰ってこられた時はきつと強くな  
って下さいとのことをお叱りを受けました。

平野 友久 先生 (S 58 年卒)

昭和五十九年十一月に国試合格。上戸町病院へ入職後一年三ヶ月と  
のことです。

内科をひととおり回られて、現在、外科手術には鉤引きとして、ま  
た整形外科にてペインクリニックの研修をやっておられます。

今年の一月にめでたく御結婚されました。

今年四月より秋田の中通り病院へ外科と脳神経内科、外科の研修へ  
三年ほど行かれる予定とのこととす。

日 高 真 先生 (S 58 年卒)

昨年五月、ドクターになってすぐに東京女子医大へ行かれました。

朝は五時半に起きて出勤し帰宅は十二時過ぎという、ハードスケジュ  
ールは毎日だそうです。西医体初日に遠路はるばる福山まで応援に来  
ていただきましたが、入局して初めて休日を取った、と聞いて部員一  
同驚きまた感激しました。最後に東京の感想を聞くと、「シティライ  
フは僕に似合っており、満足している。」とのこととす。

卒業にあたって

高須勝也

卒業を目前にし、再試、国試、浪人ということばが、頭の中を駆け巡る毎日です。思えば短い六年間でした。

最近はその結果も芳しくなく、「わいどん、何ぼしょつか。」と言いたいのですが、そうつよく言える程、自分が努力したか、と思うと、つい口もつぐんでしまいます。

クラブと勉強の両立は大変だと思います。けれども、綱渡りながらここまでたどりついて思うことは、大変だから、何とか楽になるようにしようと思うより、大変だけれど何とかしようと思う方が幸せになれるということ。ボートの試合でも、横一線に並ぶ他クルーを見て

「勝ちたい、優勝したらどんなに嬉しいだろう、勝てるかも知れない、

ひょっとしたらだめか、いや、とにかくベストを尽くそうという気持ち、

そして勝てたときの、あの喜び」難しい試験を目前にしたとき、「合格

したい、合格したら、嬉しいだろう、

いや、やっぱりだめか、とにかくベストを尽くそう。そして合格できた

ときの喜び」

せっぱつまつた不安定な状況で、



顔をひきつらせて、何かに没頭している時間……僕はこれが、一番充実し、幸福なときだと思っています。「楽をすることは、幸福になることではなく、ただ人生から降りているにすぎない」このことを、今までの反省もこめて、これから、自分に言い聞かせようと思っています。

無事、国試にパスできたら、後輩諸君のために、できるだけのことにはしようと思っています。

ふりかえれば後悔

中里貴浩

思えば後悔することの多い七年だった。なかでも後輩に十分な指導をしてやれなかったことについて、非常に申し訳なく思っている。現在のボート部の成績不振も幾分は自分のせいではないかと少々かいかぶりながら思っている。熊大対抗戦のさえないAクルーの漕ぎを見て

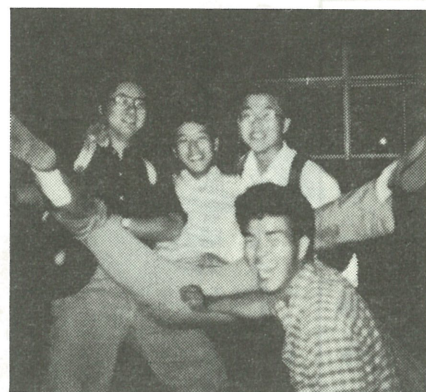
その感を深くした。

ところで、「もし君たちが望むなら全日本で優勝することも可能だ。」

と言ったら君たちはどういう反応を示すだろうか。夢物語と笑うだろうか。

私は可能であると考えている。君たちは天与の素質（この場合身長

と考えてほしい）を十分に活用していない。その人の身長により、体



付けられる筋肉の量（ひいては最大筋力）は課定されるが、それは普通考えるよりも非常に大きなものである。百七十cmの人がスピードとスタミナを維持しつつ例えばフル・スクワットで二百kgのジャンピング・スクワットをこなすのは容易であると言ってよい。もし君たちが望むなら一年半〜二年でそういうパワーを持つことが可能だろう。各自が与えられた素質（身長）に秘められた潜在的ポテンシャルを顕在化させるのだ。そうすれば、たぶん二〜三年後には千mで三分十秒台ないし三分を切るようなクルーが誕生するだろう。もちろんその為には、素質を十分活かすためのトレーニングを含めた周到な年間計画を短期（一年以内）・長期（一年以上）にわけて立てることが必要である。西医体の優勝は一年以内の短期計画に予定として組み入れることができる。県漕や宮城杯にはDクルー以下を出場させて優勝をさらうことも十分可能だ。

現在でも莫大な時間とお金がつぎこまれ皆の負担となっているだろう。だからこそもっと科学的にプロフェッショナルにやってみてはどうだろうか。要はやるかどうかである。君たちは勝ちたくないのか？ どうせ、きつい思いをするのならいっそ全日本優勝をめざしてやってみてはどうだろうか。先程も述べた通りそれは可能なのだ。そうすれば、西医体優勝も一つの経過として達成されるはずである。何年か後にヨーロッパ遠征の寄付を集めに来るのを待っている。

## 上昇気流

中山大介

Aクルーの試合結果をひとつのめやすとして、最近七年間の我が部の成績を振り返ってみました。（表参照）

	九 山	九州朝日	県 漕	西医体	全日本 インカレ	宮城杯	熊大戦
S 54 (難波時代)	2 位 4' 22" 0	準決 3 位 3' 56" 0	3 位 4' 07" 8	準決 4 位 4' 07" 0	不参加	準決 3 位 4' 14" 7	敗北 タイム 不明
S 55 (山近時代)	3 位 4' 07" 3	準決 3 位 3' 43" 1	優 勝 3' 56" 7	準決 3 位 4' 10" 4	敗復 6 位 7' 59" 70	優 勝 4' 40" 5	優 勝 タイム 不明
S 56 (永山時代)	優 勝 4' 20" 4	準決 2 位 3' 49" 0	優 勝 4' 09" 2	3 位 3' 38" 8	敗復 5 位 7' 44" 70	優 勝 4' 18" 0	優 勝 3' 31" 7
S 57 (今里時代)	優 勝 3' 41" 20 (900 m)	準決 2 位 3' 42" 21	優 勝 4' 07" 5	3 位 4' 21" 6	不参加	2 位 5' 17" 5	優 勝 3' 15" 9 (900 m)
S 58 (日高時代)	優 勝 4' 01" 9	準決 2 位 3' 53" 20	優 勝 タイム 不明	準決決 3 位 4' 14" 08	敗復 6 位 7' 53" 20	準決 敗退	敗北 タイム 不明
S 59 (中山時代)	優 勝 4' 16" 22	準決 3 位 3' 53" 20	4 位 4' 09" 8	2次敗 復3位 3' 38" 9	不参加	予選 3 位 4' 56" 0	優 勝 タイム 不明
S 60 (青木時代)	2 位 4' 40" 0	予選 4 位 4' 23" 0	3 位 4' 16" 5	1次敗 彼3位 4' 13" 2	不参加	準決 3 位 4' 12" 0	敗北

難波さんがキャプテンをつとめられた昭和54年という年は、先輩諸氏の御尽力により、OB会が結成され、艇庫を改修し、多良、雲仙に加えて新艇として霧島を迎え、部員数も増えて各学年二人以上となり、クラブとして充実しつつある時期でした。また、故青木勇先生らの御好意により難波さん、永山さん、今里さんが東北大の浜松合宿に参加されて貴重なノウハウを持ち帰られ、我が部としての漕ぎが確立し、将立への自信もついて部員間のモラルが高揚していました。

そうした状況の中で山近さんは、九山主管という重責を果たされると共に、強力なリーダーシップを発揮して邪い部員をぐいぐい引っぱられ九山オープンで初優勝、県漕で一、二位独占を糸口とするその後、のいわゆる快進撃の基礎を築かれました。

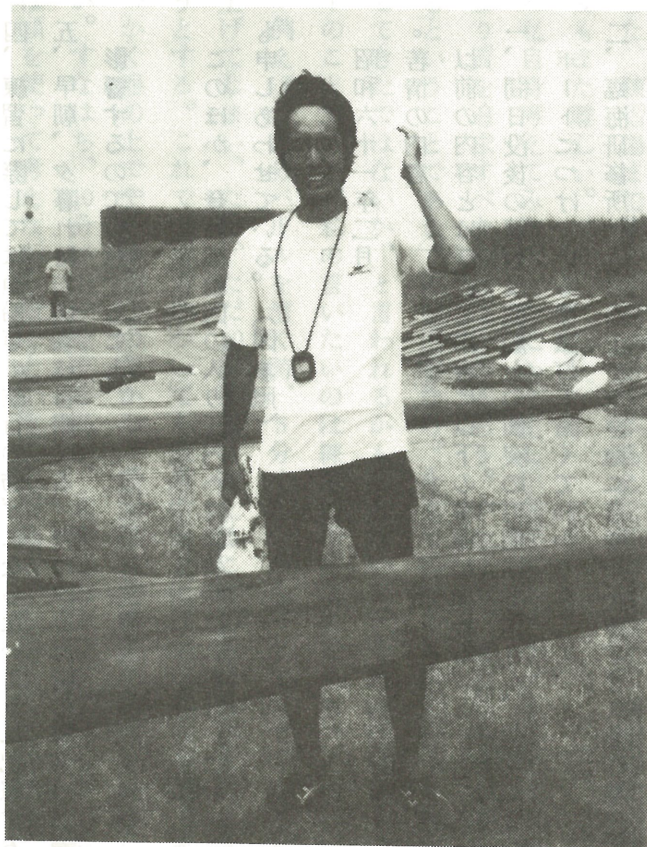
続く永山さんも山近さんに勝るとも劣らぬ鬼キャプテンぶりでゴネる先輩の尻を叩いて西医体三位入賞というところまでこぎつけ、来年こそは優勝を、という気運が高まったのですが、息切れしたか不運も重なり今里さんの時代でちょっと足ぶみ、緊張の糸がプツリと切れたかのように日高さんの時代で一步後退、続く中山時代でも踏みとどまらずにもう一步後退、青木時代でもそのまま低迷を続け、新キャプテン中島に引き継がれて現在に至っています。

医学部のクルーとしての最終的な目標はいわゆるAクラスのクルーになること（青木勇先生はインカレで準決勝に出てくれば日本ではAクラスと認められる、とおっしゃっていました——これはほぼ西医体優勝レベルに相当すると思います）、タイム的には500m1分40秒、1000m3分30秒、2000m7分30秒というところでしょう。昭和55年、56年に西医体で連続優勝を果たした滋賀医大クルーがこのレ

ベルにありました。

いきなり西医体で優勝する必要はないと思います。当面の目標は九山、県漕、宮城杯、熊大戦で優勝し、西医体、九州朝日で決勝を狙えるクルーに成長することでしょう。いや、これとても、現在の状況では無理な注文かもしれません。ただ

ただ、少なくとも前年より悪い成績は残さないぞ、という姿勢で練習していただきたいと思えます。ゆるやかでもいい、常に上昇気流の中にあってほしいのです。OBとしてできるだけのお手伝いは致します。後輩諸君の御健闘を祈ります。



## 練習場に関する取りきめ事項について

中 島 寅 彦

我々が練習場として用いている子々川附近の海域は漁船や農家の方の船の航行が多く、定置網なども設置されており、以前より漁民の方より練習場所、時間についての苦情がだされていた。本年二月にも学生課、全学ボート、医学ボートの代表と漁民代表の方との話し合いがもたれ、練習に対する意見や要求がいくつかだされた。以下にそのときの内容を、以前苦情がだされたときに決められた事項と共に記す。

昭和五十六年

。苦情の内容

一、ボートの海面使用については大村湾南部漁業協同組合は許可して  
いない。

二、最近ボート練習のため漁獲が減った。

三、ボートの練習が漁船の航行の障害となる。

四、定置網等漁業施設に損害を与えるおそれがある。

。このときの申し合わせ事項

一、ボートの練習は原則として湾外で行う。

二、気象の条件により湾外で練習ができない場合は湾内で練習することが  
できる。

三、練習に際しては定置網等漁業施設には近づかないよう留意する。

四、練習に際しては漁船等の航行の妨げにならないように配慮する。  
五、早朝、夕暮れ時の練習は自粛する。特に夕暮れ時の練習は漁業に  
影響するので留意すること。

このほか、登呂福地区の入り江内へは練習時は入らないということ  
も申しあわせている。(図参照)

昭和六十一年二月

。苦情の内容

以前の内容とほぼ同じ内容に以下の事項が加わる。

一、間日没後の練習は漁船との衝突の可能性も大きく、非常に危ない。  
ボートにつけている標識灯も暗くてわかりにくい。

二、臨海研修所付近の路上や空き地に自動車が多すぎて農作業等に支  
障をきたす。最小限の台数で来てほしい。

三、研修所までの道路でのスピードだしすぎについて。

四、研修所で宴会を行なう場合、近所に迷惑をかけるな。学生として  
の品位を保ってほしい。又、日没後は決して泳がぬように。

我々ボート部としても夜間の練習を禁止されたのでは非常に困る為  
以下のように約束した。

一、日没後二〇時までには乗艇を終える。

二、日没後は四方から確認できるようにな標識灯を艇よりも少し高い位  
置で点灯させて練習する。

又前記の二・三・四の苦情についても今後十分に留意するというこ  
とで話がついた。

今後我々医学ボート部が練習を行える場所を考えてみた場合、子々の練習場以外には思い浮かばぬ。部員も各自そのところをよく考えて、前記の申し合わせ事項を守りかつ後輩へと受け継いでゆくように。

☒ A : 1000 m コース  
B : 500 m コース  
斜線域は立入禁止



## 研究報告

### 六十年代陸トレに関する研究レポート

学Ⅲ 岡野邦彦

#### I 目的

我クラブが試合で勝つにはどうすればよいか。これは、上級生のだれもが持つ悩みである。練習量を増やせばよい。一日の練習時間を長くすればよいなど、いろんな案が出されてきた。しかし、学Ⅰは解剖実習があるし、部員の中にはバイトをしないとやっていけない者もある。これを考えると、練習日数を週五日以上に増やすことは難しい。また、練習場まで車で片道40分かかることを考えると、練習時間の延長もまた難しい。

私自身考えてみるに、なにかと忙しい医学生生のクラブとしては、量より質を追求すべきではないかと思う。すなはち、練習の内容を考えろということである。練習内容なら、今まで何度でも話し合って改良してきたではないか、と言われるかもしれないが、それは練習メニューのことであり、私の言いたいのは練習の味なのである。

例えば、10分パドルを漕ぐ時、5分ぐらいからバテてきて、あごを上げてしまい、ただ、ただ10分間漕ぎ終えることのみで終止してしまうとする。これでは体力はついても技術の向上にはつながらない。せっかく海の上でやる練習なのだから、最大限技術修得に時間をかけた。すなはち、10分パドルをやる場合、8割の力で漕ぎ、残りの2割は頭を使って考えながら漕ぐということである。しかし、この場合、



8割に力を落として漕いでいては何にもならない。10分間を8割の力で漕ぐのではなく、10分間10の力で漕いでもバテない体力をつけておくことが必要なのである。従って冬場に充分体力をつけておき、シーズン中もこれを維持してゆく必要がある。

以上の考えに基づき、今回私が陸トレメニュー作成を担当した。これから、私自身の反省とまとめの意味を込めてこの内容をふり返ってみようと思う。

## II 練習 (11月4日～12月24日)

① ランニング

② バーベル

③ サークット

以上3つをおこなう。

① ランニング

松山競技場内の外周(一周465m)を5周、タイムを決めて走る。

(タイム)

体重65kgの人 ↓ 10分以内(1周2分)

1kg増えるごとに制限時間は5秒増える。

(例) 体重70kgの人

10分+(70-65)×5秒=10分25秒以内

ただし、64kg以下の人は、全員9分55秒以内。

(ペナルティ)

制限時間をオーバーした人は3分休んだのち、以下の距離を1周2

分以内で走る。

0～30秒 ↓ 1周

30秒～1分 ↓ 2周

1分～1分30秒 ↓ 3周

(ねらい)

かなりのハイペースで一定時間走ることによって心肺機能を鍛える。

② バーベル

30kg(35kg)で

ハイクリン……………15・12・10回

スクワット……………20・15・10回

腕びき……………15・12・10回

(注意事項)

なるべく休憩をおかずにやること。前の人が終わったら、すぐ次の人がやる。そのために回数が漸減している。

力を入れる時は息をはき、呼吸にあわせリズムミカルにやること。

(ねらい)

一定のリズムで10回以上バーベルを挙げることに、筋持久力、最大筋力両面を鍛える。

③ サークット

① バーピー 15回

② 腕たて 15回

③ タンツェン 15回

④ 腹筋 20回

×3

⑤	背筋	20回
⑥	とびこし	15回
⑦	腕びき	15回

(各種目のやり方と注意点)

① バービー

足と手をついた時は腰をそらす。

④ 腹筋

手は頭のうしろ、ひざを曲げ、もう一人に持ってもらう。あごがひざにあたるくらいまでおきあがる。

⑥ とびこし

もう一人がかがんで、その上をとびこす。必ず両足でとぶこと。

(サーキットの原則)

。最大繰り返しえる回数の半分。強度の弱いものは一分間にできる最高回数の半分の回数とする。

。体の各部分を強化させる運動を6〜12種目選ぶこと。

。各種目は同じ部分の筋を続けて作わない形で配列。

。3セットに要する時間が10〜30分の範囲。

。心拍数150/分以上の運動は、5分以上から効果が出はじめる。

以上の原則にのっとりこのサーキットはメニューを組んでいる。

(方法)

。二人一組でおこなう。1人が3セットやってから交代。

。やっていない人は補助をしてやる。そして、やってる人の正確さが

なくなってきたら、注意してやる必要がある。

。3セット終わって心拍数が150以上に上がってない場合は、やり

方がおかしい。(スピードが遅いか、正確さに欠けているかのいずれか。

。サーキットのスピードは、正確におこなえる最大スピード。

。サーキットは、心拍数を上げるつもりでおこなう。

(ねらい)

心肺機能・筋力アップの両方をねらったトレーニング。

II 方法

重力級、軽量級2チームに分ける。バーベルの重さは重力級35kg軽量級30kgとする。

まず全員でランニング。次に2チームがバーベル、サーキットにわかれておこなう。終わったら種目を交代しておこなう。

学部生は12月10日から試験のため、11月いっぱい、学部内2周ランニング。バーベル。サーキットを週3回おこなう。12月からは、自主トレーニングとする。

12月より教養生はバーベルを25kgアップ。月・水・金練習。土はレクリエーション。

III 考察と反省

① 練習メニューについて

全体的に見て、心肺機能、筋持久力重視の練習となった。最大筋力養成の点でメニューが不足していると思われる。これをあえておこなわなかった理由を以下に述べる。

② 教養一年生など、バーベルを初めておこなう人間がおり、最大挙上

重量の80%をやらせた場合、体を痛めないか心配であった。

⑤ 筋持久力養成の重量でも、最大挙上重量の伸びは、ある程度期待できる。

⑥ シェルを漕ぐ場合、130本をいかに強く漕げるかが、重要なポイントなので、中程度（最大挙上重量の30〜40%ぐらい）を数多くおこなうことをまずおこなうべきだと思った。

#### ④ 時間の問題

理想をいえば、バーベルの場合、最大挙上重量の80%で最大筋の養成。20%ぐらいの重量をスピードをつけて繰り返すことによる筋持久力とスピードの養成の2種類をおこなう。（前者の場合、ピラミッド法であればなおよし。）しかし、個人個人の最大挙上重量を量り、個人にあわせた重力でおこなう。

しかし、これは充分なバーベルの数があらず、時間を充分にとる場合可能なことである。従って、我々の周囲の状況と条件を頭に入れた上で最大効果をねらえる点、すなはち妥協点を見い出さなければならぬ。まず、時間短縮のため、最大筋力養成とスピード・筋持久力養成をある程度ねらえる一つの方法にしよう。すなはち、最大挙上重量の40%程度を10〜20回繰り返す方法である。次に、個人個人にあった重量でおこなう点で、当初3チームに分けて重量を3段階にわけようと考えた。これなら、時間もそうかからず、ある程度個々の筋力に合った重量を設定できると思ったからである。しかし、そうすると、バウベルで2チームがかち合わないために、それぞれのチームがランニング、バーベル、サーキットという3つの違った種目から始めなければならぬ。クラブ全体のまとまりという点から見て、最初（ラ

ンニング）は、全員でやる必要ありと考え、2チームに分けるにとどめた。

時間を制限しなければ、もっと多種類の練習が可能であろうが、長時間にわたる陸トレにつきものの、だれといや気が出てこないよう7時30分までには終わられるメニューにした。

#### ② タイムの記録

12月は、私がテストでクラブの陸トレに参加できないので、練習状況を把握するため、ランニングとサーキットのタイムおよびサーキット終了時の心拍数を記録してもらうことにした。以下にこのねらいと成果について述べてみたい。

#### ① 出席状況を知る。

責任者をきめて練習してもらったが、特定の者の欠席が目についた。これだけは、個人の自主性にまかせるしかない。

#### ② 効果的練習がおこなわれているか。

サーキット終了時の心拍数が150以上であれば、効率のよいサーキットができていると考えてよい。大部分の人間がこの条件を満たしていた。サーキットのタイムは平均して11分ぐらいであった。陸トレ後半では、10分をきるものもいたので、理論的にはもう1セット増やすか、種目数を増やして良いということになる。しかし、実際やってみて、4セットにするのは精神的にも肉体的にもきつすぎると思う。また、サーキットのタイムの短縮は、体力の増強と要領がよくなったの両方の要因が考えられる。これを防ぐために、種目を変更したりする工夫も必要であったと思う。サーキットはやり方（例えば腕立て伏せの腕の曲げ方）によりかなりタイムが違ってくるのでランニングと

違つて個々人の体力をこのタイムで比較することは望ましくない。

③ 体力の伸びを数値で確認できるようにする。

このためにも是非記録はしておきたい。今回はノートに書いてもらったが、グラフで表すともっとおもしろくなるのではないか。

③ 練習をおこなうにあたって

陸トレはきついし、乗艇に比べ、自分が艇速を伸ばすために練習しているという実感がつかみにくい。従つて、どうしてもただだらしたり気合が入らなくなりがちである。ここではそれを防止するための対策について述べる。

② 最後まで走る。

松山でランニングをする場合、ゴール前でスピードをおとして歩いてしまふ人間がいるが、きめられた距離はきちつと最後まで走らなければならぬ。約5周走つたからこれでいいやろというあまちは試合の時のラスト数本にでてこないとも限らないからである。早くゴールした上級生がゴール上に立つて、タイムを大声でいってやるなどすればこれはなくなると思う。

① バーベルのおろし方

規定の回数が終わつてバーベルをおろす時(例えばデッドリフトで)ドンとなげ出すようにおろす者がいるが、これはやめなければならぬ。第一これではバーベルが痛んでしまふ。折角買ったバーベルだから、やさしく扱つてほしい。それに、バーベルをおこなう場合、ゆつくりおろすということも筋力養成の重要な部分を占めている。10回挙げて、やっと終わったといつてドンとおろすということは、実は $9\frac{1}{2}$ しかやつていないことになる。以上のことをよく考えて、バーベルは

ゆつくりおろすことを心がけてほしい。

③ 練習と練習の間をあけない。

松山の競技場でランニングをして、学部へジョギングで帰る時、部室前まできちんとジョギングをしなければならぬ。以前、学部内へ入つたとたん走りやめ歩くものがいたが、ジョギングはインターバルとしてメニューに組み込まれているのであつて、歩いてしまつては、それはインターバルではなく、完全な休息となつてしまふ。また、ただらだら歩くことは練習全体の緊張感を敵しく失なわせてしまふ。これは、上級生が率先して部室前まで走るようになってからはなくなつたので、今後も上の者がやらせるのではなく自分から進んでやつてほしい。

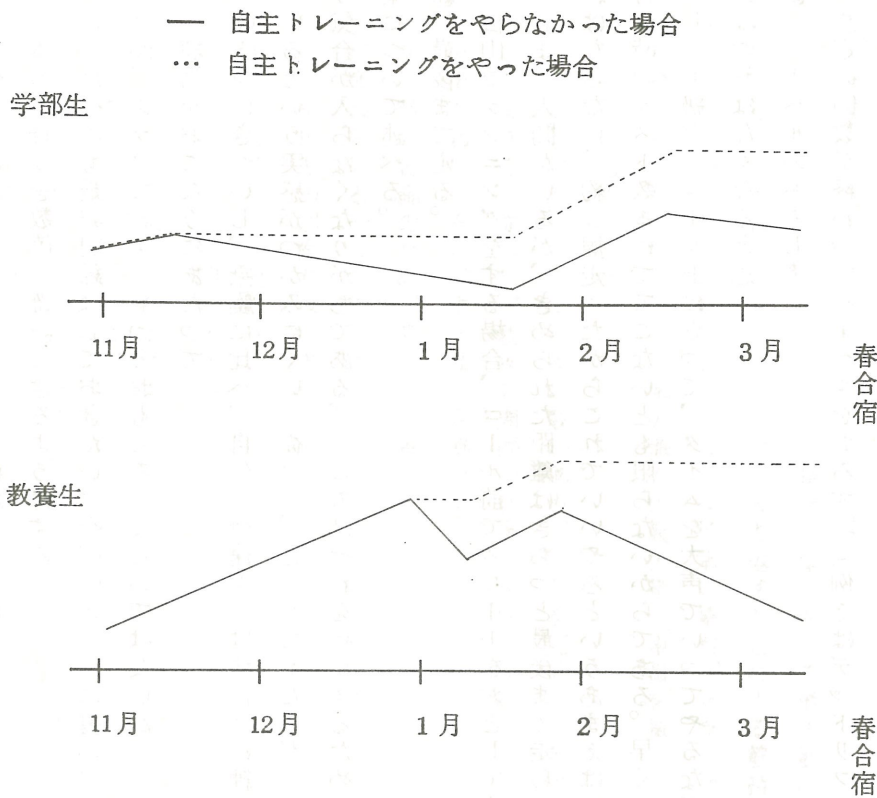
バーベルをするにあつても前の者が終わつたらすぐ次のものがやる必要がある。バーベルに人間が触れていない時間をなくすようにしたい。例えばスクワットをする場合、一人が終わつたら二人がバーベルを補助してやり、バーベルを地面におろすことなく、すぐ次の者が肩にかつぐようにすれば効率良く、時間も短縮できる。以上をまとめると、練習一時間半の間、なるべく体を休ませる時間を少なくする工夫をするということである。

Ⅲ 冬休みおよび試験期間中の練習

陸トレでつけた体力は練習を長期休むことにより確実に低下する。一方、体力は比較的楽な練習を定期的におこなうことで維持できる。ちなみにバーベルにおける最大筋力の維持は週一回の練習でそれが可能であるという。

一生懸命陸トレをしても、1、2週間以上間をあけると効果が半減する。従って、冬休み、試験中も普段の半分のメニューでよいから陸トレを続ける必要がある。そうしないともらったくない。わずかな努力をするか否かで大きな差ができるのである。

左の体力曲線を比較して、このところをよく頭に入れてほしい。



(考察・反省)

今回、学部生は11月いっぱい学部生のみ集合して陸トレをおこなった。私は12月1日～1月7日まで3日に1回の割合で自主トレをやってみた。その内容はランニング約15分、バーベル(プル・スクワット・ハイクリーン・プレス・腹筋)である。所要時間は約40分であるので試験中もそう苦にはならなかった。11月の最後のランニングタイムが5周で9分40秒、年が明けて1月10日のランニングタイムが7周で14分0秒。まずまず体力の維持はできたと思う。ただ、勉強をするとストレスがたまるせいか食欲が増進し、体重が2kg増加。これはいだけなかった。

陸トレを始めるにあたり、部員に解説書を配った。その中で、冬休み中の自主トレの重要性について説明し、クラブの話し合いの時にも念を押しておいた。しかし、冬休み前は5周を全員が10分以内で走る力をもっていたにもかかわらず、休みあけの陸トレでは軽量級で7周を14分30秒以上かかったもの2人、重量級で15分以上かかったもの1人と体力の低下をみせたものがいた。

かといって、冬休み・試験中まで強制的に陸トレをさせるのはこっちも悲しいし、させられる側もつらいであろう。“させられる”のではなく、個人個人がなぜこれをやらなければならないのかということを理解し、自分の体力を伸ばすために自主的に練習”する”以外に方法は無いのである。

IV 練習 (1月8日～1日18日)

当初の計画として12月でバーベルの重量2.5kg増した後、1月中旬に

回数を2回ずつ増やす。2月にもう2.5kg増加。1月中旬にランニングのリミットを10秒縮める。であったが、前にも述べたとおり、練習が単なる傾向があったため変更した。

1月18日に駅伝大会がある。距離は2.5〜3.5km。(区間により差がある) 毎年我クラブはこれに出場する。マンネリ化防止のため、1月18日までは駅伝大会に良い成績を出すことを目標として練習した。ランニングは7周(465×7=3255)制限時間は軽量級14分30秒重量級15分0秒とした。バーベル・サーキット どちらか一方だけおこなった。

△駅伝大会結果報告▽

A・B・Cの3チームが出場A・Bは部員で固め、Cは人数の足りない分を青木さんに応援していただいた。結果はAチーム23位・Bチーム47位・Cチーム52位であった。出場チーム60以上ということを考えると、Aチームの23位は大健闘であった。Bチームも頑張ったと思う。またCチームのアンカーは突然どこからともなく現れた(本当は図書館から出てくる所をつかまされた)鈴木が6人抜きを敢行。来年度の復帰が期待される。

V 練習 (1月19日〜2月上旬)

1月いっぱいには教養生は教養で、学部生は学部で陸トレをすることにした。教養生は2月上旬より試験があるため、従来は駅伝大会が終わってクラブ休みとなっていたが、今回は1月いっぱいやってもらった。教養で練習してもらったのは、学部へ来る手間はぶき、その分

勉強してもらうためである。2月以後は自主トレ。

△メニュー▽

① ランニング

教養内3周

② サーキット

3セット

③ 懸垂・タンツェン

8・6・4と40×3

学部での練習は学部生6人と留年して試験の少ないもの4人の計9人でおこなった。人数が少ないため、本来やりたかったバーベルメニューをやってみた。ランニングは従来どおり5周。サーキットなし(ボックスの2人はランニングのみ)

スピード+ 筋持久力養成	最大筋力養成			目的		
	③ プル	② ハイクリーン	① スクワット	③ プル	② デッドリフト	① スクワット
	27.5 kg	27.5 kg	275 kg	50 kg	80 kg	70 kg
	25 kg	25 kg	25 kg	45 kg	70 kg	60 kg
	25	20	25	8	8	8
	20	15	20	6	6	6
	15	10	15	4	4	4

最も充実したバーベルメニューは、スピード・筋持久力・最大筋力すべてを鍛えるものである。しかし、人数が多い場合、現在のバーベル数ではとても足りない。来年度はバーベル購入も検討してもらいたい。

## VI まとめ

以上今シーズンの陸トレについて述べてきたが、私自身も勉強不足な所があり、バーベルの数の制約などのため不十分な面が多々あると思う。ただ今回の陸トレで工夫したことを私の代だけで終わらせてしまふのでは進歩がないのでレポートとしてまとめてみた。来年陸トレを考案する人間は0から始めるのではなく、これを参考にして少しでも効率の良い内容のあるものにしてもらいたいと思う。

最後に、自分がやってみてよかったこと、今後の課題についてまとめてみる。

やってよかったこと

- ① タイムを計ると自分の体力の伸びがわかり、張り合いがでてくる。
- ② 駅伝大会前はこれを当面の目標として練習すると張り合いがでてくる。
- ③ 全員が同じ練習をするのではなく、チームにわけて負荷を設定すると、少しは個人差をカバーできる。

今後の課題

- ① 練習が単調にならないよういつその工夫が必要。
- ② 試験期間中、冬・春休み中の陸トレをいかに徹底するか。

(最後に、雑感………)

試合前に燃えるのは簡単であり、またこれはごく自然なことでもあ  
る。しかし、燃え続けることはなかなか難しい。特別な才能を持たな  
い人間は他人と同じことをやっけては勝てるはずがない。ではどう  
するのか？ 続けることである。" 持続する "これは大変なことだが、  
やろうと思えば誰にでもできる実に正直な方法である。陸トレなどは  
まさにその最たるものである。試合に負けて反省するよりも、試合  
に勝って泣けるたゆまない努力と練習をしてゆきたい。

気分は……… — 東方見聞録 —

MIV 青木幹弘

一九八五年八月某日、ブラウンは長崎を出発し、一路日本の首都、花の都、東京へと向かった。彼は部下を一人連れて行った。その部下は、コードネーム「K」であつた。ブラウンは本来、一人で東京へ行くつも良かったのだが、仕事の都合上、もう一人手下が欲しかったのだ。そこで、田舎者の「K」を連れて行ってあげたのだ。

長崎を発つて一時間後、ブラウンはすでに「K」との話題が於きてしまった。その後、ブラウンは本を読んでいたが、「K」は眠ってしまった。実は「K」は、乗り継いでいる間を除いて残りの九時間、殆んど眠っていた。ブラウンは思った。「この男、昨夜、変な事にエネルギーを使ったな。」更に驚く事に、配下の「K」は、乗り継ぎの時、他人が読み捨てた雑誌を、網棚の上から集めたのだ。

そのうち東京へ着いた。田舎者の子分「K」は、田舎者なので、口を半分開けたまま周りを見回しながら歩いた。彼等が東京に着いて初めて口にしたのは、カレーであつた。ブラウンは思った。「東京も長崎も、カレーはカレーだな。」ブラウンはちよつとだけ、馬鹿だった。

さて、二人は新宿アルタを凝視しながら、T女子医大の先輩、M氏を訪ねた。すると、同じT女子医大の先輩でH氏が、その日から一週間の休暇を取ると言うので、二人はH氏の処へ宿を決めた。H氏にとつてみれば、十三日の金曜日は仏滅が重なった様なものであつたと思われた。その日、二人はH氏と共に夜の東京に飲みに出た。そして、

新宿から品川まで歩いたのであつた。ブラウンは、迷子にならないのに必死だつた。迷子になると、助けてくれる者はいないと思われたのだ。舎勒の「K」は田舎者なので元気だつた。また、「K」は電車を乗り換える時に、改札で切符を渡さなかつた。田舎者だつたからである。ブラウンは他人の振りをした。

その後八日間、H氏と子分「K」そしてブラウンの奇妙な共同生活が送られた。ミーハーである「K」は湘南や熊ノ前商店街に行きたがつた。ブラウンは、仕方なく「K」につき合つてやつた。「K」は、ビートたけしのキャラクター商品を買ひあさつた。ブラウンもつき合ひで買わざるを得なかつた。本当は、ブラウンはハーゲンダッツのアイスクリームや吉野屋の牛丼が食ひたかつたのだが、田舎者の「K」につき合つてやつたので、とうとう行けなかつた。ブラウンも、ちよつとだけ田舎者だつた。また、先輩H氏のアパートにはTVがなかつた。民放TV局が五局もあるという噂だつたので、「K」は少なからずガツカリしていた様であつた。何といつても伝説の「夕焼けニャンニャン」が見れなかつたのが痛かつたみたいであつた。

ブラウンと配下の「K」の仕事は、インカレの見学及び取材であつた。ブラウンがディレクター、「K」がカメラマンであつた。部下の「K」は、なかなかブラウンの言う通り動けず、苦勞した。

東京滞在中、M氏のお宅に二回招かれた。二回ともたいへんな御馳走が出た。田舎者の「K」はM氏所有のファミリコンピューターに熱中して、なかなか帰ろうとしなかつた。また、長に帰る前の日、二人はM氏とH氏に連れられて、焼肉をしこたま食つた後、歌舞伎町



へ出かけた。そして、「のぞき部屋」なる所へ入る事に決定した。ブラウンは学割料金だったが、「K」は学生証を持って来なかった。個室に入った時、「ブミーツ」という音がした。田舎の「K」が中に入ったティッシュで鼻をかんだのであった。そこを出た後、「K」は言った。「いやー、今まで見た中では処低でしたね。」「K」は入場料をおごってもらいながら、やたら態度がやかかった。その日の昼間、ブラウンはH氏と共にT女子医大の見学に行った。T女子医大は、やたら暇そうな所であった。話はまったく別だが、そのT女子医大では一九八六年二月七日現在、スキー旅行に行っている。もちろんH氏も一緒である。私はH氏がスキーをする場面を想像しようとした。しかし、なかなかできるものではなかった。話しは戻って、ブラウンがT女子医大を見学中、「K」は浦和のフラワー商店街に行っていた。彼のミーハーは筋金入りだった。

そうこうしている間に、ブラウンとその配下「K」は長崎へ無事戻った。ブラウンは思った。「東京は丁度、お祭りの最中だったのだらう。やたらにぎやかだったからな。」「K」は、帰りの列車の中でも寝てばかりいた。

ご注意……言うまでもなく、この物語はフィクションであり、登場する人物や団体は架空のものであります。また、筆者は現在、酒を飲んでおり、自分の書いた事に対して、全く責任を取りません。うわ、ゲロが原稿のハジっこについてしもうた。それでは皆さんさようなら。あ、それから、大助サン、高須サン、中里さん。卒業おめでとうございませう。

## 無題

学Ⅲ 石井久敬

昨年の夏の甲子園は、宇部商、高知商の健闘はあったものの、清原桑田のPL学園の圧倒的な強さのみが印象的な大会であった。

甲子園の季節になるとよく昔のことを追想する。江川・定岡、酒井等が活躍した場面を思い浮かべ、それを見ている自分を追体験するのは楽しい。

大げさに言うと、追体験しその頃の記憶を多方面に膨らませていくと、そこでの自分の意識、パーソナリティといったものが測れるのである。

そして、江川は小五の時、定岡は小六の時の各ヒーローに対応した年令の自分があるから、追想し比較することにより、自分自身の成長や変化を感じることができる。

特に、すでに記憶があやふやになっている自分の小学校時代を考へる時に、甲子園は大事なインデックスになる。

とここで、僕も大学へ入学してはや四年が過ぎようとしている。すでに教養一年の頃と二年の頃の記憶の区別はあやふやになりつつある。しかし、明らかに区別して「その時の自分」というものをはっきりと感じられるものがある。それは西医体である。教Ⅰの唐津、教Ⅱの浜松、学Ⅰの大阪、学Ⅱの福山とそれぞれの思い出が強烈で鮮明である。

漕艇部での現役生活は残すところわずか五ヶ月余りとなった。最後の西医体であり、将来、大学生活で最も鮮やかに記憶に残るかもしれ

ぬ琵琶湖のレース。思うだけで今から、身震いがおこるようだ。

## 『投げたら、イカン』

学Ⅲ 朝 長 道 生

毎年この時期になると部誌の原稿に悩まされる。僕の場合「最初に何を書くか」ということに一番時間をとられ、いったんテーマが決まるとなると案外あっさりを書いてしまう。

僕は文章を書くのが嫌いだ。

どうして私はここにいるのか？ 「我思う、故に我あり」とはいうが、我とは本当に存在するのか？ 真実ってなんだ？ 真実とは善なることか。ではいったい世の中に善とか悪とかあるのだろうか。言葉を奔すれば奔するほどなんだか自分の思考とかけはなれたところで「言葉の遊び」みたいになってしまう。

そもそも言葉というものは2つに大別される。一つは実用的な言葉つまり、外界の現象やモノを記号・簡略化し知識として人間が受けとるもの。もう一つは抽象的な言葉、モノでないモノを概念としてとらえるものである。日常においては、医学知識の吸収において前者は不可欠であり、友人たちとのコミュニケーションにおいては後者もしばしば利用され、言葉の海にどっぷりつかっている。しかし、いったん文章を書くとなるとこれはもう自己表現として後者の占めるウエイトが大きくなっていく。一方で知識の吸収あるいは日常会話の手段として言葉の共有性を享受しているものの、自己的表現においては言

葉を完全に信用できないでいる。思いどおりにならないもどかしさと、何かを裏切っているようなうしろめたさを感じずにはいられない。作文以外でも例えば、好きな彼女に百言を弄してもまだ言いつくせない、そんなもどかしさ・せつなさを感じたことが誰でもあるんじゃないですか。

ここまでくれば賢い読者は思われるかもしれない。「下手な文章を」言葉のもつ不完全さのせいにしているな。」と。まあ本当だから仕方ありませんが、つまりぬ言い訳で紙面を無駄使いするわけにもいかず、以下に今年のポर्ट部について考えるところを少しばかり述べましょう。

### ① クルー編成について

漕歴の長い高学年の奴を対抗クルーの *ou t-side* ベアにし *middle* ベアに有望な将来対抗クルーを負って立つ漕手をはさんで鍛える。これが理想である。しかし今年学Ⅲの4人がばらばらのクルーでやることになった。例年どおりいけば中島・石井両君のいるクルーが対抗クルーとならなければならないと思われるが、でなければならぬ。のではなく、3つのシェルクルーが実力次第では対抗クルーになることができる。ということである。実力の上から4人を対抗クルーとして編むのが本当なのかもしれないが、今回のクルー編成も一つの試みとして重要であると思っている。当然僕たちのクルーが対抗となれるよう頑張るつもりでいる。要するにクラブ内における「競争の原理」を導入してみようということである。ここで中島も心配していたが、クルー間の競争心のあまりクラブとしてのまとまりに欠けるようでは

いけない。あくまでも一つのクラブとしての意識をもって欲しい。

## ② コミュニケーション

COXは乗艇練習において十分イニシアチブをとらねばならないし、漕手はCOXの言うところをよく理解すべきだ。漕がされているという消極的な姿勢では艇速はのびない。また漕手間においても感情的対立を内に秘めていては艇速はのびるはずがない。お互い理解しようと努めるべきである。同じきついことをやるにしてもクルーの雰囲気が見ればやりがいがある。昨年を通して欠けていたことはポート以外でのコミュニケーションがほとんどなかったということ。艇速とは関係がないようで本当はとても大切なことじゃないかと思う。

## ③ あたりまえのこと

最近クラブ内の雰囲気を見ていて不満に思うことがある。例えば5時集合なのにいつまで待っても現れない。やむなき事情で来られない時は必ず事前に連絡してくるべきである。集合時間を過ぎても待っているクラブの仲間のことを思えば、無責任なことではできないはずである。また、これは希望的なことだが、シーズンに入るとなるべく家庭教師などのバイトはクラブのない日にやって欲しい。海にでている間にバイトに遅れそうだと心配しては、Rowingがなござりになる危険性があると思うのである。

## ④ その他

来年の九山は長崎が主管である。僕たち学Ⅲで御膳立てはさせてもらうつもりであるが、主役は天野・吉川両君を中心とした後輩諸君である。

最後に今年の目標は「ラストスパートののびるクルー」である。た

かがポート、されどポートです。今年は現役最後の年でもあり、いっちょポート馬鹿になってやろうと思っています。頑張りましょう。

## ボート部の酔い方

学三 中 島 寅 彦

正月もほとんど無いに等しく、無茶苦茶な日程であった学2の2学期末試験も終え、最近酒をのむ機会もふえた。教養時代、前夜のんだ酒による二日酔いを昼間のうちにある程度さまし、ポートの練習により完全に血中より消失せしめ、再びその夜浴びるように酒をのむといった生活を繰り返していた頃が懐かしい。あの頃は酔いづぶれることもお金のことも何も考えずに先輩にいわれるがままに飲んでいけば、自分も酒につよくなっていったし、クラブのこともわかってくるようになっていた。大学のクラブに入って高校のそれと違うなと感じ、(感動といったほうがいいかもしれない)クラブに入ってよかったなあとまず思ったのは連日連夜の練習後の飲み会で騒ぎまくったことである。今の教養生諸君も幸い(?)酒の席での盛り上がりは一定水準をはるかに越えていると思われ、実にはたのしい。教養生のほうから盛りあがってくれないと、クラブ全体の活気もいま一つとなる。どうかつがれた酒は全てのみ干してもらいたい。もともと飲めないとか、酒を飲むのが嫌というやつもたまにはいるものだ。(そういうやつに限りものはよく食うが。)無理やりのませることが続き、それがもとでポートの練習にくるのが苦になるのでは困るが、自分の酒量を把握

した上で、場をしらけさせない程度には口をつけてほしい。あとは雰囲気で酔うなり料理で酔うなりして、自ら楽しい飲み会の中に入ってきてほしいものだ。

上級生はただ飲ませるのでなく、自らもすすんで場を盛り上げかつ、下級生の面倒もみなくてはならない。新人生の急性アルコール中毒による死亡は上級生の気くばりさえあれば防げるものだ。

ポート部の飲み方というものにはパターンがある。

パターン1…一気飲みを順番に下級生から繰り返し、4順あたりからかなり騒がしくなっていく、その後出身校の自慢などをしながら次第に混乱していくパターン。

パターン2…静かな場所で練習計画などについて話し合いながら飲み、ポートに対するお互いの考え方を深めあう建設的な飲み方。意見の不一致から嫌悪なムードになることもよくある。

パターン3…よその短大の女の子も含めて楽しくおしゃべりをする、いわゆる合コン。最近ではチークダンスもはやっている。

OB会や報告会などの二次会以後における飲み方は2に相当すると思うが、春の花見や初漕ぎ、他のクラブと共にのんだりするときは1が多い。

いずれのパターンも大切であり、それなりの意味はもっている。いつも1のパターンで飲んでいたのでは単なるバカの集団であるが新入生入部、間もない頃は盛りあがる飲み会をして、大学生活はこんなに楽しいものだということをはっきりとわからせてやりたい。酒のみながらでなくては話せぬというようなことはもともと嫌いだ、確かにいいにくいことを飲みながら語り合うこともクラブにとってはプラスのことが

多い。試合後の反省会で好成绩をあげたのちならば1のパターンで楽しく飲むが、負けたあとは気分も沈みがちで盛りあがらない。今シーズンは何とか全ての試験の反省会でバカ騒ぎをしよう。

下級生諸君も、勿論日頃の練習で頑張ることが第一だが、練習前や練習後における迅速な行動や、そのあとの飲み会においても後輩にクラブのけじめというものを自ら示し、クラブの雰囲気盛り上げについて少しでもいいから考えていてほしい。

## ゆとり

学Ⅱ 天野 秀 明

私が大山祇命神示教会を知ったのは教養二年の夏休みであった。母は以前に入信しておりその母から、「お前も入信しないか」と言われたのだ。そのころ、私は神の存在などは全く信じておらず、入信をこぼんだが、再三のすすめに「入信するかどうかはわからないが話しかけなら」という条件で、説明会に行つて見る気になった。というのは、努力だけではどうにもならないことが世の中にはあるし、運の良い悪いといったこともいざという時に大きくかわってくることもあるのではないか、と感じ始めたからである。そして説明会で、「ためしても良いから、この神と使者お二方におすがりしてみたら」という言葉にひかれて、そのまま入信することとなった。神の存在を、その力のためしてみても良いのなら、とことんやってみよう、それからでも神

の有無に結論を出すのは遅くはあるまいと考えた私は、月に二度の信者講習会に出席し、朝夕に祈願をして、自分の状態がどう変わるかに ついてためして見ることを始めた。すると、今までは努力してもカラ 回りする部分がありイライラしたり、友人関係がうまくいかず悩んだ り、試験で大失敗をしたりということがあったのに、不思議と何もかもがスムーズにはこぶではないか。又、何んとなく心が落ち込む時も、 神の御名、使者の御名を心でと見えるだけでスッキリとする。それと ともに、しだいに心にゆとりがもてるようになってきたのである。

心のゆとりというのは実に大切に、心がイライラしていたり、落ち 込んだりした時は体調も悪く、何もかもがうまくいかない。しかし、 ゆとりがあれば（このゆとりは、神にすがると心があれば必ず神に守ら れるという所から生まれるのであるが）体調も良く、活気がわいてく るのである。こうして、現在私はこの神にすがりながら、毎日を充実 して過ごしている。

ここで大山祇命神示教会とは何かについて書いて見よう。大山祇命 神示教会は、神が作った神の教会で、神と会話のかなう使者がおられ、 予言と奇蹟をもって世の極楽を築く教会である。大山祇命は汚れた世 の中を神の光で清め、この世の極楽を築くために、どんな悪しき因縁 でも断ち切ることが出来る神であり、他の神々を統一していら れる最高の神である。この神にすがれば天災、地災、人災は絶対に受 けない。

朝夕正六時、お礼とさんげとおわびとお願を欠かさずすれば、必ず 救われる。又願いがかなうのです。

スペースシャトルが飛ぶ科学の時代ではありますが、その科学とて、 完全ではなく、現在の段階では解明できないものの一つ、それが神で はないでしょうか。現在の科学で証明できないからといって否定して しまうよりも、すがって奇蹟が得られる道を私は選びます。

## WHAT'S PYON ?

学Ⅱ 金 色 正 広

昨年わが家（部屋）に住人が一人（？）増えた。名前は「ピョン」 という。86年2月現在、推定年齢九ヶ月、両親不明、兄弟姉妹多数、 生後一ヶ月の頃部屋の外にいたのを拾われたという大変に幸せなおニ ャンコ（♀）である。この寒空の下、今も一人こたつで丸くならず に 伸びて寝ている。

ネコというのも結構お金のかかるものである。ネコ用トイレ約四〇〇〇円、ネコの砂・キャットフード（各約一ヶ月分）それぞれ約一〇〇〇円、爪研ぎ約 円、二千元、ネコ用シャンプー約一〇〇〇円。その他にノミ取り粉・ネコのかんづめ・ネコ用の爪切り……etc、今ま でにいくら貢いだかわからない。サンアイやOKホームセンターの売 り出し広告のペット用品に目を走らせ赤丸をつけバイクを走らせる生 活をおくる今日この頃である。

ネコを飼いはじめて日常生活が変わったことは  
。部屋がきれいになった

きれいになったといっても少しだけ、気付かない人もいるくらい

だが、不用意に物を置いては何が起こるがわからない。特に食物物の出しっぱなしなどは言外である。毎日がネコとの知恵比べ、スリルの連続である。

。掃除の回数が増えた。

。前述と同じ理由である。

。部屋を空けにくくなった。

当然のことながら勝手に留守をすることができなくなった。幸いにも近所に元ポート部のI氏という猫好きが住んでいるため帰省や遠征の際にはあづかってもらって大変助かっている。ちなみにペトホテル等では一泊一五〇〇円〜二〇〇〇円もかかる。

。ネコの載った本が増えた。

ネコ飼ったことのある人、ネコ好きの人にはこたえられないあの名作「What's Michel?」をはじめ「ゴルゴ13」のさいとうたかお氏の奥さんが描いている「一丁目のトラ吉」や「どんら猫 小鉄」などが本棚に並ぶようになった。しかしまだ「猫の手帳」を購読するにはいたっていない。

。訪問者が増えた。

前述のI氏をはじめとし、ネコと遊びに来る人が増えた。なかにはネコ嫌いで寄りつかなくなった人もいる。

といったことが主なものであるが、走りまわる為にタタミが少しいたんだことと、スピーカーのネットに時々爪を研ぐぐらいで初め心配していたように家具や柱、壁をキズつけることもなく、トイレも決まった場所できちんとするなど飼主にて頭がよい。またどんなにしまわれても、いじめられても根にもたない良い性格をしている。他のネコに

比べて毛並みも色つやもよく、顔立ちも整ってかわいいのではないかなどと親バカにも似た気分ひたっている近ごろである。

## ひとり暮らし

学II 吉川 公正

ひとり暮らしを始めてもう6・7年になる。ひとり暮らしを始めると、当然のことながら炊事・洗濯・掃除と、やっかいごとに取り組まなければならぬ。親許を離れ下宿生活を始めた誰もがそうである。

特に男、でも最近の女の子は親と一緒に暮している時は、自分から家事をやるどころか手伝いさえもやることがないような子が多い。うで、料理にいたっては常識的なことも知らないから本を見ながらでも作れないという悲惨な状況にあるとかないとか……。

まあ、それはいいとして、とにかく男は母親から教わることなく我流のひとり暮らしが始まるのである。

まず掃除であるが、これはやれば誰でもできる。気にならなければやる必要もないと言え言えなくもない。

洗濯。これは気にならなくてもやはりやったほうがいい。教わらなくても試行錯誤で繊維の種類・色物など、いかにすべきか自然とわかってくる。

問題なのが、炊事である。この飯づくりはとてつもなくやっかいである。外食すればよいではないかとも思うが、金がないとそうもいかない。真夜中だつて腹が減る。酒のさかなも、うまいものが作れるほ

うがいい。しかし作ったはいが食器や鍋を洗うのはまためんどうである。毎日のことならなおさらで、主婦にしても同じ思いかもしれない。

しかし、食べるために仕方なくでないのなら、料理を作ること自体は嫌いではない。親と一緒に暮していた時も、なにやら本で見つけたおいしそうな料理を作ろうと、台所をひっかきまわしたり、粉をまき散らしてパンをねったりしたことがあった。

他の人にとってはどうか知らないが、料理をつくるというのは、なかなか気分転換になっておもしろい。普段の生活、勉強、スポーツをやるときに、視覚、聴覚で頭を使うようなことはあっても、味覚・嗅覚で頭を使うなんてことない。ポートを漕ぐにいたっては頭を使っているのだからかと思うような人もいるが。とにかく、味覚・嗅覚でもって考えるなんてことは、聞き酒会にでも行かない限りめったにない。味と臭いで考えるというのは、普段使わない頭の部分を使うからなのか、他の事を忘れて違った感覚でおもしろい。

自炊生活を始めてからは、後片付けを考えると擬った料理はなかなか作ろうという気にはならない。道具がそろっていないからというところもある。しかし、余裕があれば、やってみたいとは思っている。将来、家庭を持った時にでも、たまには台所にはいって、主婦の作る毎日の料理とは別物の料理を作って遊んでみたいとは思っている。

だけど、作ってくれる人がいるのなら作らんだろう、たぶん。その日まで我慢しよ。

## 「見栄っ張り」

学Ⅰ 旭 隆 宏

我がポート部内でよく使われる言葉の中に、「さえんノ」というのがあります。(この流行の源は、某H先生の「さえんツチノ」であるとの噂ありましたが……)この言葉は、飲み会で特によく発せられます。「ナニノ一次会で帰る?!さえんノ」、「先輩ボクもう飲めませ……。」「さえんノ等々。」

そんな時、ポート部員はきつと「さえんノ」を返上すべく見栄を張ります。次の日朝から講義があっても二次会に行きます。家賃を滞納しようが、授業料を使い込もうが、〇〇を売ろうが(?)、飲代を絞り出します。I君は、電話はおろか、電気まで止められていながら、一年生を連れて歩いていました。ただ彼の場合、一年生を飯食いに誘い、好きなものを注文させた後、「ところで旭、金持っとなる?俺500円しか持たんっちゃんね。」とヌケヌケと言ったりするのは困りますが……。また、それ以上飲んだらあげると分かっているにも飲みます。一年生のI君は鯉を七匹も殺すほど飲みましたし、某A先輩が、あげたときのためのバケツをかかえたまま飲み続けられたのを、僕は忘れることができません。皆、「さえん先輩になってはいけない」、「さえん後輩であってはいけない」、「さえん〇〇で……。」と見栄を張ります。

他のクラブのモンから「そこまでせんでもよかるーもん」とか「よくやるね」とあきれられることもあります。確かにある人達から見れ

ば、馬鹿馬鹿しく意味のない見栄かもしれないませんが、ボクにはこんな見栄がとて素敵なものに思えるのです。理由は？と聞かれてもうまくは答えられないけれど、やっぱり好きなのです。そして、そんな見栄っ張り達といっしょにボートを漕げることを、大変幸せに思うのです。

考えてみれば、この「見栄っ張り」という性格は、全くボート向き  
の性格ではないでしょうか。練習の時・試合の時、皆、「見栄」を  
「意地」に変えてガンバリます。入部して最初の練習の時、一年生は  
タンツェンを「20回でいいよ」と言われても、互いに「誰か早よ止め  
んかなー」と思いながら誰も止めないのです、結局40回やってしまいま  
す。ランニングの時、一旦ライバル関係ができてしまうと、互いにペ  
ースがどんどん上がってゆき、最後はほとんどムキになって走ってし  
まいます。下級生と漕いでいる時、上級生はペア漕ぎでは負けられま  
せん、ロングで先にバテるわけにはいきません。他のクルーが50  
0mのインターバル8セットやっていると、4セットでは陸に上が  
れません、等々……。こうして見栄を張っているうちに、ポテンシャ  
ルはどんどん上がっていきますし、未知の力も引き出されてくるよう  
に思います。500mのセットも、他の艇と並べればタイムは必ず伸  
びますし、O先輩はN先輩が見ていると普段上がらないバーベルも上  
がると言います。某クルーは、他艇とすれ違うとき、合宿所の前を通  
りすぎるとき、調子がグッと良くなるではありませんか。  
ボート部のみなさん、今年もボートに、それ以外の事にも、素敵に  
見栄を張り続けましょう。初めは上辺だけのものでも、いつかきつと  
本物になれると思うから……。

## 狂 気

学 I 市 川 辰 樹

幕末、長州の人吉田寅次郎は「狂」という文字が好きだったそうであ  
る。彼のいう「狂」とは、現実の柵の中から一步外へ飛躍すること  
である。柵の外の世界は広く澄みきっている。柵の中の自分は外の世  
界を小さな隙間から覗き悶え苦しんでいる。彼は幕府の国禁を犯し黒  
船に乗ってアメリカへ行こうとした。そしてそのたった一度の狂気の  
ために、獄門となった。

現実という柵の中で彼はただ苦しんでいたわけではない。

彼は自分以外の人に常に優しかった。そして自分の弟子には特にそ  
うであった。その弟子達が幕府を倒し、師匠のかわりに狂気を発した。  
私は彼の狂気とそれと対称的な優しさが羨しい。

○ 先日、実家の方から伊予柑が一箱送られてきた。年が明けてから四  
箱目(温州三箱と伊予柑一箱)である。私の狭い部屋にはみかんのマ  
ークのついた赤いダンボール箱がごろごろしている。

私はそのダンボール箱に囲まれ、手が黄色くなるのを心配しながら  
とめどもなく喰っているのである、みかんを。

○ 今年の漕魂の原稿、何書こうかなあと考えているといういろいろなこと  
が浮かんでくる。ここはボート部員らしく「二年目の夏」とでも銘打  
って一発ぶってやろうかとも思うが生憎と私は夏より冬の方が好きで



あるからやめた。それじゃ得意の文芸論でも並べたるかいなと思ったが長くなってしまいそうだからめんどうかい。よっしゃほんなら切り札の小説でもと思ってハタと考えるとこんなことやっている場合じゃない。

無類のめんどうさの私は一度止まるともう駄目である。ポートだってやるときはやるわいと思っただけでも、もうきついと思いだすとどんどんきつくなってきて終わったら負けて残念やったなあと言っている。何かに感ずるところがあっても一晩たったらただのものになりはててしまう。イメージが乾いてしまうのには一晩くらいで十分なようだ。

一度止まると駄目な私は止まらない方法を考えなくてはならず、その方法を自分のものにするためには多大な努力を要するだろう。でも、要するだろうなどとうっているうちは努力なんかしてないからそのあたりはぼちぼちとやっていきたいものである。

ある行為がそれまで培ってきた人間関係を崩壊さすとき、その行為は躊躇される。

その行為がたとえ人のため世のためであろうとも愛のためであろうともその他もつともらしい正当化があったとしても躊躇される。

自分がそれをしないといけないという正当化はその人自身の問題。ここでいう人間関係とはごく親しい人間的な関係。

その行為を為すか、また先送りにしてしまい当座はあきらめるか。はたまた自分と人間関係を秤にかけて冷静に分析するか。対応に十色であろう。

ただ私はそんなことで悩んでいる人間が好ましく思え、些細なことには何ら惑わされない人を羨やましく思う。

## 徒然草

学 I 小野重遠

去年一年を振り返ってみて思うことや、これからのこと、今年一年で学んだことなど思いつくままに、書いてみます。

僕は、ポート部にまた戻れて本当に良かったと思う。僕は、今年一年だけで、留年し遊び回っていたころの空白を一気に埋めるように、実に様々なことを学ぶことができた。また、やめていたときの数百倍もの充実振りだった。だから、今度、教2になるみんなも、くれぐれもやめないで頑張ってもらいたい。僕がやめるときに今里さんが言っていた「苦しい思い出こそ、いい思い出になる。」というのは本当である。楽しいだけの思い出は、まるで春の桜の花のように虚しく散ってしまう。しかし、苦しみに耐えて育て、つかんだものは、心の宝になる。そして、それは他の誰も持つことはできない。

何のために、今、苦しまなければならぬか、きつい合宿を耐えなければならぬか、その中で、いろんなことを一人一人学んでいくにちがいない。我がポート部には、華やかさなどこれっぽっちもない。しかし、ポート部こそ医学部を代表するクラブの一つであると思う。目立たない所で頑張る奴程、本当の実力というものを蓄えるものだ。だから、我々も目立たぬ所ながら、一生懸命努力したいものだ。

去年一年は、色々と勝手な行動をしてしまったが、今年はそういう事を注意し、練習に力を注ぎたいと思う。今年は、後輩諸氏の良き見本となれるよう努力してゆこう。

特に、そろそろ油の乗ってきた学Ⅰが中心になって、皆をリードしてゆこう。

それと、クラブ内での、クルーごとの分裂（という程のものでもないけれど）に注意したい。もっとクラブ全体がまとまって、協力してゆかなければ、去年より進行することはないだろう。去年は、春合宿と夏合宿で、コックスの言うことが全く喰い違っていたりして、何となく練習方針に問題があるようだ。一つの方針なら、それで徹底的に夏合宿までそれを通さなければ、どの方法が効果があるなどとすぐわからないだろうから。第一、練習方法のまま喰いは良くないし、その方針がまちがっていたなら、来年考えればいい。それをつみ重ねて、我が大学独特のものをつくりあげるのもいいだろう。

とにかく、練習方向を統一して、それでやり通すというのは、勝つために大事だと思う。

それと、体力である。何よりも、日頃の練習時に精神を集中し、そのときだけベストの力で練習するのが良い。日頃の練習でさえ、ベストをつくさなかったら、勝とうなんて、夢のまた夢である。日頃の基本的練習をばっちりやっていたら、日曜日の補足練習などいらないうちも。もちろん、体力も時間もあまっている場合は別として。日頃の練習で、つけた底力は試合のときにものをいうものである。最後に素直さ。素直に人の意見を聞いて謙虚に反省するというのは、何によらず進歩するための第一条件である。だから、他人の注意、忠告は良く

聞いて、それを自分の中に消化してゆくべきである。そして、そのことが、クルー全体のチームワークにつながる。また、注意だけでなくお互い誉め合うことも大事だと思う。誰だっけなされるより誉められるほうが気分がいい。そして、誉められる値打ちのあるものを身につけてやろうという気にもある。

お互いの人格を尊重しながら、かつ謙虚に努力することが、勝利への近道だと思う。やるからには、甘さを捨てて、勝つだけの実力をつけよう。

では、今年は、絶対、勝とう！

それから、心良く、僕を迎えてくれた現役部員、OB、諸先輩の皆さん、心より感謝します。

## ニュース制作について

学Ⅰ 白藤智之

今年、僕がNBCのアルバイトをやった中で、テレビの裏側について、おもにニュースについて話してみたいと思います。

まず、報道部でニュースのネタを仕入れます。役所、警察などにいる記者や、ほとんど違法の警察無線や他局の無線の傍受や、タレ込み、その他いろんな方法でニュースになる基を入手します。

そして、それが今度映報部という所にまわって来ます。僕はそこで、ライトとVTRをかつぐバイトをやっていたのですが、そのニュースの取材に、カメラマンと記者とで三人一チームになって現地へ行くわ

けです。

ここで、取材に必要な機械について話します。まずカメラは当然市販の物とは比べものになりません。一台700万〜1千万もし、VTRも一台150万くらいします。また、テープは市販の1.5倍のあつみの物で、普通の三倍の速さで回転させます。それくらいでないとは高画質の物はできないようです。

さて取材では、カメラとVTRは長さが2mのケーブルでつながれています。そこで、カメラマンのあとを走ってついていかねばなりません。しかも、マイクからの音はすべてVTRに調整する所がついているので、ポケットとしていけると、音を入れわすれてカメラマンにどやされます。だいたい、一分くらいのニュースで二時間くらい取材して、テープは20分〜40分くらい回します。

そうやって帰って来たら、今度は放送用の大型テープに編集、つまり、重要な所だけを一分間分ダビングするわけです。ちなみに編集機一台3千万でNBCには六台あります。

そして、二本の大型テープにダビングして交互に放送するわけです。アナウンサーがスタジオに二人いて、それを四台のカメラが写し、それをテレビ主調室に送り、そこでモニターを見ながらタイミングをはかってカメラの切りかえをしたり、VTRを流したりするわけです。放送機械の値段は約十億と聞きました。

そして、そこで電波を一旦稲佐山中継局におくり、そこから一般家庭に流れるわけです。

テレビの番組は、このようにしていろいろな人々の手を通して一般家庭に入って来ます。

みんなが普段なにげなく見るテレビの番組の中には、僕も手を借して作り上げられた物もあるんですので、じっくり見て下さい。

## 観光長崎

学 I 寺尾保信

長崎の経済を支えているのは、重工でも、水産でもなく、やはり観光である。

その長崎のヘソとも云える眼鏡橋と南山手には昔懐かしい人力車が走っている。長崎人力車俵屋は今年十周年を迎え、全国各地から、あるいは海外から訪れる人々に長崎の名所を案内しているのである。この人力車の俵夫を一年間して出合った人々についてレポートしてみたいと思う。

人力車に最もよく乗ってくれるのは若い女性の二人づれである。特に美人はよく乗る。彼女たちは男に話しかけられる事に慣れているので営業もしやすい。例えばアルファキュービクや、時にはチャンネルスーツで身をかため、香水はニナリッチといった、いかにも「東京から来たOLです。」といった風の彼女らは「どうぞ、人力車に乗ってみませんか？」と話しかけても落ち着いたもので「エッ!! 二人で乗れるんですか?どこまで走るんですか?」と、決して値段の事などは口にしない。

ところが、モノクロトーンに黒メガネの不美人女子大生になると、「エッ? いくらですか?何分くらいですか?」と実に現実的である。

あるいは普段話しかけられた事のない形容し難い子たちは、ただただ驚くばかりで言葉を失なってしまったのである。

さて、めでたく営業成功して、美人OLが「それじゃあ、興福寺までお願いします。」となると次は記念写真を撮るのであるが、彼女たちは写真を撮られる事にも慣れていたので、人力車の上で斜めに構えニコリ顔なのである。もちろん彼女たちのカメラは高級バカチョンでフィルムは24枚撮りである。

しかしこれがパッパラ女子大生になると、「ハイ、ポーズ」とシャッターを押そうとすると、なんと短いスカートの股間から水玉パンツのぞいていたりするのである。そんな彼女たちのカメラは一昔前の一眼レフで36枚撮りがセットしてあるのである。

走っている途中でも、美人OLは長崎の歴史や食べ物について話しがはずみ、もちろん「お兄さん疲れたら休んで下さいネ。」と気づけりも忘れない。サッと差し出すハンカチにも上品な香りがするので、汗をふく事などは、とてもできない。彼女たちの会話は非常に知的で決してプライベートな話はない。

「お兄さん学生？何才ですか？彼女いるんですか？」などと云ってしまう女の子はヨーロッパの服にコンバースのハイカットをはいたりするのである。また「今夜一緒に飲みに行きませんか？」と云うような彼女たちは、決して「お兄さん疲れないですか？」とは云わない。ハンカチは出したくても持っていないのである。

そうこうして全コースが終わると美人OLは「一緒に写真撮って下さい。」と、本当に人力車に乗って良かったと満足するのである。そしておつりのない様にお金を払う時には「ありがとうございます。」

楽しい思い出ができました。」と云ってくれたりするのである。こんな時に、我々は人生の喜びを感じるのであるが、これで終わるのではない。それから二週間後くらいして、一緒に写った写真が送られて来るのである。

一方、「一緒に写真撮って下さい。あとで送りますから住所を教えてください。」と云いつつ、一向に送ってこない不美人もいるが、長い手紙と一緒に自分だけの写真を送ってしまう子よりはマンである。そんな彼女に限って、料金を支払う時は、見るからにそれと分かるレノマヤ、ヴィトンの財布から一万円札を出すのである。

以上が若い女性の二人旅の場合であるが、その他で特筆すべきは愛人旅行である。彼らは、不自然な年令差があり、男性は例えば銀座和光でシャツをオーダーするようなキリッとした商社マンで、女性は片手当たり指輪が二個以上、首には真珠のネックレスといった、オーバーデコレーション気味の30才前後か、あるいはニコルや、メルローズを好むテニスギャル風が多い。彼らの最大の特徴は「二人一緒に写真を撮らない」という事である。「写真撮りましょうか。」と云うと男性が「あ、彼女だけ撮ってあげて。」という具合である。女性は無口ではあるが、決して暗い表情はない。そして我々俤夫にとって何よりもうれしい「御祝儀」を彼らはしばしばくれるのである。そうして去って行く二人の後ろ姿を見送りながら思わず（おしあわせに……）とつぶやいてしまうのである。

その他新婚さん、修学旅行、男だけの旅等、多くの観光客が毎年長崎を訪れるのである。いろいろな種類の人間が住む長崎へ、いろいろな種類の人間がやって来る。そんな事が妙に面白く感じられた一年で

あつた。

医学部とは関係ない一年ではあつたが、こんな事が、医学部において自信となるのではないか、と今は毎朝冷凍魚を運びながら思うのである。

## ジャイアント馬場から学んだこと

学Ⅰ 中村 晋

ボートというのは大変きついスポーツだ。しかし、それは漕いでいる者にしかわからない。艇のスピードも遅いので、岸から見ていると四人が力を合わせて漕いでいる練習風景は、のどかな印象しか与えない。こっちは息も絶え絶えに「絶対ボート部なんかやめてやる」と思いついながら漕いでいるのに、漕いだ経験のないものから「楽しそうに水遊びしやがって」と思われている。漕ぎのきつさをいくら言って聞かせても、漕がせてみなければそれをわからせることは出来ない。

しかし、だからこそボートをやる価値があるのでないだろうか。漕いだものにはかわからぬきつさだからこそ、漕いだ者同士で酒でも飲みながらボートのきつさについて語り合う事は楽しい事なのだ。ボートを漕ぐことの面白さにも同様のことが言えるだろう。

ジャイアント馬場は、自分の背が高かすぎること、ずっとコンプレックスを抱き続けてきた。人混みの中にも頭一つ抜け出している周囲の視線をいつも感じる。無邪気な子供たちは馬場の目の前で、「この怪物野郎」と指さしてふざける。馬場は自分のコンプレックス

といつも戦い続けてそれに打ち勝つことが出来た。「自分の背の高いことを気にしない。馬鹿にする奴は相手にしない」といつも心に念じて続けて。

馬場は、自分と同じ様な巨人の奴が猫背になってすまなそうに立っている姿を度々見かけ、そいつの気持ち痛みほどよくわかると言っている。街を歩けばすれちがう人々が、皆悪気はないのだけれど、ついつい自分を注目してしまふ。それでみんなからの視線を感じ、ついつい猫背になっているのだ。馬場はそんな彼らをどんな気持ちで見守っているのだろうか。

人は皆、何かしらコンプレックスや悩みを抱く。それは一時的なものもあれば、一生ついて回るものもあるだろう。そして、その本当のところの苦しみは、同じコンプレックス、悩みを抱いた者にしかわからないのかもしれない。もちろん、悩んだことのないものが、その苦しみを推し測ったり、理解することが少しも出来ないと言ふことはない。又、理解しなければならぬ場合は将来必ず起るだろう。しかし同よコンプレックスに悩んだ者の方が、より自然に、より深く理解することが出来るのではないだろうか。

しかし、だからこそ人が悩みやコンプレックスと戦い続け、それを克服することには意味があるような気がして仕様がなない。そういう生きざまは希望となるのではなからうか。そして、コンプレックスや悩みを克服できた人間のみが持つ優しさは、何物にも換難き宝となるのではないだろうか。

世の中に、必要のない人間などいない。

# 無題

学Ⅰ 山本 修

クラブのみんなはどう思っているか知らないが、僕は普通の意味で非常に涙もろい人間である。映画やテレビを見たり、本を読んだりしていると感動して涙を抑えきれないということがよくある。登場人物に対する感情移入の度が激しすぎるのかも知れない。悲しい場面や主人公が恥をかいている場面などは見ていられなくて目をおおい、耳をふさいでしまう。だからパッピーエンドにならないと気がすまず、いわゆる純文学というものはあまり読まないし、恐怖映画を好んで見るというイタリア人の頭の中はどうなっているのか不思議でたまらない。スパゲティやパスタばかり食べているとそうなるのだろうか。

ところがこれに対して全く感動しないものがある。例としては絵画、風景といったものである。とても小さい頃絵を習っていた人間の言うこととは思えないのだが、美術館などに行つて名画ですよと見せられても感動しないのだ。また、旅行などに行つて見たりテレビなどで見たりする風景についても同じである。身内が死んでも悲しく思わない少年が描かれている小説を読んで妙にホッとしたこと覚えていて。夕日を見て感動できる人がうらやましい。

それからもうひとつ、いま述べたふたつのどちらでもないものがある。それは、目標に向かって努力して、それを達成することだ。小学校の地区対抗ソフトボールで優勝したとき、囲碁で県の高校生の大会で優勝したとき、大学に合格したとき、何か共通するうれしさを感じ

た。飛び上がった訓ぶとか、感動のあまり涙を流すとかそういううれしさではなく、胸が締めつけられるようで、それでいて何かさわやかな満足感といったもの。大学へ入学してからそんなうれしさを感じることもなく、すさんだ生活を送つて三年が過ぎてしまった。大学に対する幻滅は僕にとつてあまりにも大き過ぎた。しかしそれを言い分けるに努力を怠つてきたのも事実だと思ふ。昨年、ボート部に入部したのは何か目標を求めていたからで、本当はどのクラブでもよかった。残念ながら昨年はあと一步の力が足りなかったけれど、今年はクルーのメンバーと優勝を狙いたい。

## 時代は男前を求めているのだ

学Ⅰ 山本 太郎

よく人々は「人間顔より性格だ」と言います。でもこれは間違いないのです。人間は性格より顔によつてこそ評価されなければならないのです。

性格が良いとか悪いとかよく人々は言いますが、こういうあいまいな対策を各人の主観によつて答えを出そうとするのは科学しようとする我々のとるべき態度ではないのです。

では面相についてはどうでしょう。これは多くの情報を見るものには提供します。白く「サバの腐つたような目をしている。」「魔法使いのオバさんのような鼻」「しまりのない口」「やさしそうなハゲ頭」とかなどなど……………。

初対面の一瞬にぼくは顔をみて、「こいつになら体をまかせてもいい」とか、「しいてもとめられれば許してもいい」とか「絶対に肌をふれさすのも嫌だ」などの判断を行います。そして何度も言うようですが性格はやはり二の次なのです。護解のないように付け加えておけば、この話は男性対男性の話であり異性間における一般性はないのであります。「女は顔より性格よ」なんて意見にいささかの反対を唱えるものでないことを言っておきます。この文章をよんで世をはかなみ自殺する女性が続出しても困りますから。

では、ぼくが「体を許してもよい」と思う顔とはどんな顔なのでしょう。顔を構成する各部位の大小、型は関係ないようです。アンバランスでもよいのです。否とどのいすぎてては困るのです。顔のとなつたやつなら誰でも好きというのではギャグにもなりますまい。とにかく個性が表われている顔とでも言えるでしょう。何かに対して一流である人はみんないい顔をしています。それは一流になるのには強烈すぎる個性が必要であり、それが顔にも出てくるからでしょう。現在のぼくにはそんなものはありません。二十代の人間に個性とか自我とかを求めるのは無理かもしれませんが、しかし今はその準備期間だと思えます。では今なにをすればよいのでしょうか？ どうすれば個性とか自我なんてものが確立するのでしょうか？ それには何かに打ち込み専門バカになるより他に手はないのではないかと思います。どういう事に対して専門バカになればよいのか対照が見つからないと多くの人は言うかも知れません。しかし、それは何んでもよいのです。女性にどことんつくしてみる。ポートに燃えてみる。勉強を追求する。たしかに多くのことをそれなりにこなすというのはスマートでしょうが……

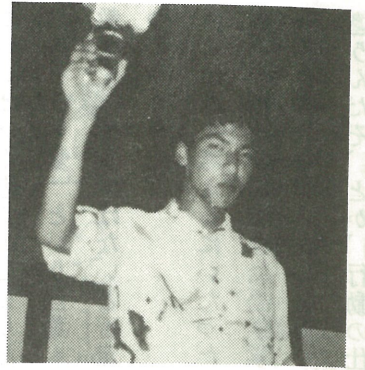
うまく言えないけど一つのことにより時期を費したのものにはスマートなものにない泥くさいが、大地に根をはやしたものを感じます。そしてこれに対しては賛否はあるでしょうが、しかしぼくはそういった人間に限りない愛着と尊敬の念を覚えます。そしてそうありたいと願います。そして今の時代そういった人間がおもしろいのではないだろうか。つまり時代は男前を求めることになるのです。

## 陥落

教 2 生 田 安 司

一九八五年、春、ある人の少年が大学という訳のわからない物に大志を抱いて、チャンボンで有名な長崎へと上京して来た。この少年こそが、これから波乱万丈の人生を過ごすことになる。この物語の主人公である。しかしその少年は、こんな事を知る由もなかった。

その少年の波乱 丈の人生は、その年の四月のある金曜日に始まる。その日、少年は新歓コンパというものに出席しており、様々な人々から話を聞き、これからの生活に夢膨ませるていた。そんな時、ポर्ट部員である一人の男性（この場では、A氏とすることにしよう。）と話をすることになった。その少年に対する第一印象は「ミニラ（そう／怪獣ゴジラの息子である。）」に似た人だということであった。しかし互いに高校時代を寮で過ごしたということもあり、話がはずんでいった。これがまさかA氏が放った畏であろうとは、少年は知るはずもなかった。酒がだんだん入ってきたせいであろうか、A氏の右手



が、まるで割れ物でも扱うように少年の太股を撫で上げていた。少年は身の危険を本能的に感じとり身を引いていた。しかしA氏の放った罠は、こんな行動とは無関係に少年のまわり次第に張り巡らされていたのである。そのほんの第一次攻撃がB氏の登場であった。B氏は少年に

「ボート部について嘘も混じえながらくわしく話してやった。そんな事とは知らずに少年の気持ちには少しずつボートへと傾いていた。それから少年は二次会へとボート部員と行く事になった。突然そこへC氏があらわれ、ニコニコしながら「いっしょに飲みに行くっちゃう。俺について来て。」と言った。C氏はその日は、それだけで終わった。二次会へ行く少年は飲み慣れない酒のためかゲロリ、また次の日、練習を見に行く約束をしてしまった。そんな事情で次の日、練習を見に行くと、三ヶ月後には想像もつかない位、軽い練習でその日の練習を終了したのであった。そしてその後、少年は部員と巷で噂のディスコなるものに行くことになった。ここらあたりでは、もう危険を感じていたものの、物珍しさもあり少年はニコニコとついて行ってしまった。そこでは様々な踊りが操り広げられており、D氏などは鏡の前で踊っていたのだ。まさこのD氏が夏には福山で同じボートを漕ぐ事になり、西医体パンフレット事件を巻き起こそうとは、少年は思いもしていなかった。それからは御規りのように二次会であった。二日目ともなると皆、霧骨に入部勧誘を

少年に對し行うのであった。少年も酒の入った勢いもあり、だんだんとどうでもいいやと思うようになってきていた。またその二次会はずか四人の女性が同席しており、少年は高校時代、男子校であったせいか物珍しく、女性と話せるチャンスがチャクチャクと狙っており、ある人の配慮もあり、やっとそのチャンスが射止めるべく女性の隣席に座ることが出来た。しかし少年の考えは甘かったのである。女性を挟んで少年と反対側にはあゝE氏が座っていたのであった。少年が話をしようとしてもE氏が話しており、待てども待てどもE氏は少年に女性を解放しようとする兆しさえ見せないのである。そんな状態で苦悩していた少年に、F氏が話し掛けてきたのである。このF氏こそが少年を入部させてしまうことになる言葉を放つのであった。しかし後にわかったことであるがその言葉はF氏自身酔っていて自分が発したことも憶えていなかったのである。当然、少年とF氏の会話はボートの事になり、入部勧誘へと変わって行くのであった。そしてF氏が少年の入部への決断をさせてしまう、あの言葉を述べるのであった。その言葉とは、「男は進むか引くか迷う時には、進め。」というものであった。なぜかその時、少年は感動してしまい、一ボート部員としての道を歩むことになるのであった。その時をもって、少年は術中に陥ってしまったのである。A氏の放は、部員から部員へと伝わり、もうここまで来てしまっていたのであ。そう、この時こそ「今度入部します。〇〇といひます。よろしくお願ひします。」と口に出してしまふ少年の陥落の瞬間であった。少年はどうとう落ちたのであった。

そして、その少年もこれから二・三ヶ月後には本音と建前を使い分け、新入生を陥落させるべく訓練を受けるための赤札を今では握り締



めていたのであった。

## 無題

教II 鈴木康弘

昨年はいろいろな活動を通じて何人も外国からの留学生、宣教師と知り会うことが出来た。この出会いの中で痛感したのは人間というのはどこに生まれ育ったにしても、又、どんな人種であって艇、みんな根本的には、同じなのだという、全くもってばかばかしい程当たり前のことであった。

本当にばかばかしい話である。ぼくは日ごろ、「人間だから……」「人間は犬畜生と違い……」ということも肥き育ったので、人間というのは「何か」でなければならぬのだと思っていた。そして人間というのは各人種や、国によって求められる「何か」が違う、だから、各国、各国によってももの考え方、見方が違い、例えば世界の内のどこかには全く悪のかたまりともいうべき国が存在していて、その国の人々は「愛」という言葉も知らずに生きていくのではないかという教えを、そうではないと否定しつづけて、心の核の部分では肯定しつづけてきた。

この様に考えるにいたった原因を探求してみると、それは、中学校、高等学校と学んできた語学学習のせいではと思うのである。僕はその語学学習の中で、こんな所でこんなに日本人と英米人は物の考え方が違うんだぞ、とか、行動の仕方にもこんな違いがあるぞ、とかひたす

らに学んで来たような気がする。

たしかに日本の代表とし、外国の人と会談にのぞむような人、又、外国の人と接する機会が多い人にとっては、お互いの行き違いをふせぐために、「文化の違い」について学習することは有効であるかもしれない。しかし、多くの日本人にとっては外国人と接することは極めてまねなことになるのである。(もちろん街で外国の人に道を聞かれたりするとはあるかもしれないが)又、外国に行くということだつて多くの人にとってはツアーの一員としてほんの数週間旅をすることしか意味していない。

このような情勢の中で「文化の違い」をいたずらに強調することは、この「文化の違い」が事実であるにしても、かつて日本が戦争中に行った「鬼畜米英型」の教育といか程に違いがあろうか。

この様な学習課程をへてきた、僕はいつも日本人と外国の人は根本的に違うのだという先入観をもって、外国の文化をみつめて来た様に思うのである。

長々と書いてきたが、いいたいことは、日本の語学教育は、その根底に世界の民族はほとんどの部分で同じである、という大前庭を欠落させてしまっているのではないかということである。

つまり、人間も含めて、動物全体が持っているような基本的な「愛」「かなしみ」「いかり」といった感情の点では世界中ほとんど同じだということである。

とにかく、残念ながら、一人一人が自分の文化を代表する、大使として外国へおとずれ個人レベルで交流をする時代はまだきていない。

(これから数十年後にすぐそうなるとも思えない。)  
日本の語学教育でも、文化の違いをいたずらに強調する前に、世界の人々が「人間」という種として同じものだという点も強調してもらいたいと思う。

## 愛について——世界で一番悲しかった日——

教II 田中邦彦

ここで話を始める前に、まず皆さんに質問したい。皆さんの中で、「愛」という言葉の定義を自信持っていえる方が、何人いらっしゃるだろうか。

「愛」という言葉は、本当に不思議な言葉である。この言葉ははっきり言って、巷にあふれかえっている。例えば土曜日の午後10時2分頃、テレビのチャンネルを回してみよう。すると皆さんは、「愛してよ」「私も」などとつぶやき、そのあとは視聴者が期待するところの光景にもつれこんでいく、若い美少女のカップルを見ることができさるはずである。またあふれんばかりの少女週刊誌や少女漫画から「愛」という言葉をとったら、おそらく何も残らないだろう。にもかかわらず、「愛」という言葉を、誰もがはっきり認識していないのである。しかししたいの人が、これを観念的にはとらえているようであるし、わざわざつきつめて考える必要はないと思われるかもしれない。ではその中でどうして僕が、こんな事を考えるようになったかについて話したいと思う。



奴がこんな文章を書くなんて、と思われる方は、とぼして読んでもらっても結構。ただ僕みたいな人に対する思いをする人間中にはいることを、知っていただきたいのである。

さて、僕は中2の一学期に、ある女の子を好きになった。当時の僕は本当に目立たない人間で、無口で友人も少なく、一日中ボーッとしている中学生であった。一方彼女は明るく、ある意味で男まさりの性格であった。こうした意味で、自分には魅力にひかれた、ということも言えるかもしれない。彼女は小学校五年の時から同級生であった。従ってももちろん昔からの友だちとして気安く話せる間柄であったが、その事がかえってうち明ける障害になっていたのかもしれない。というよりも、あの頃の僕は、自分で自分に自信がもてず、そんな勇氣などなかったのである。ここまでは僕も、普通の中学生的な考えであった。そんな僕の考えを大きく変えさせた出来事が、次にくる。2学期になって、僕と彼女は学級委員となり、そして修学旅行がやってきた。その旅行の2日目、クラスのT君が僕に話があるといつてやつ

てきた。実は彼も小学校六年の時から友人であり、僕が好きで彼女に同じく心をよせているひとりであった。僕たち二人はお互いさうす感じていながら、そういったことを表立って話したことはなかった。

その彼が言うには、彼女は女子の不良グループに狙われていて、今晚リンチにあうらしい。どうにかして助けなくてはいけない、という事だった。前に書いた様に彼女は男まさりの性格であり、その行動が不良グループの目にさわつたらしい。たかが女子のグループ、どうにでもできるわい、と考える方がいるかもしれないが、あの頃の校内暴力時代を生きた方はわかると思うが、女子の不良グループの裏には男子の不良グループがついているのである。まして僕は校内ではなんの勢力も持っていない。どんな事しても助けなければならないとあせる中で、僕は自分の無力である事を悔んだ。T君は自分が何とかするから安心しろといい、どこかへ消えた。その後彼は何らかの手で男子の不良グループに手をまわし、リンチをとめたらしかった。この時からである。人を好きになる事にも、それなりの資格がいるのではないかと考え始めたのは。T君は彼女を守れた。僕はなんのてりえもなくとも、彼女を思う気持ちだけは誰にも負けない、と負っていた自分が守れなかった。僕には彼女を好きになる資格はないのだ。こうして僕の心の中に、次の様な恋愛タイプ説ができあがった。すなわち自分というものに自信を持ち、自分しか相手を幸せにできない、と思う人は、どんな事をしてでも相手を自分のものにすればいい、反対に僕のように自分に自信がなく、相手を幸せにする自信のない人は、相手の幸せをまわりで見守るのが、「愛」というものではないかと、確かにおか

しな論理ではあるが、すくなくともこれが中学生の時の僕が精一杯考

えてだした結論だったのである。以後僕は、彼女にうち明けるという気持ちも捨てた。そして彼女を遠くで見つめているうちに、僕の中学時代は終わった。

僕は家から離れた高校へ行き、二年からは下宿をした。もちろん彼女と会う機会はまったくなくなつた。しかし幸か不幸か、一月に一回ぐらいいは、手紙を出しあうことができた。もちろん彼女は僕を友だちと思つてそうするわけであるし、僕もその気持ちを裏切らないようにしていた。僕はこの数年の間、なんの行動もせず静観していたわけだが、何も悩まなかつたわけではない。頭の中では、彼女を見守ることが、結果的には彼女の幸せにつながるのだと思ひながら、どうしても彼女を恋人にしたいという気持ちがふくらみ続けていた。たとえば高校三年の時の日記を見てみよう。こんな事が書いてある。

7月20日午後10時27分

人を愛するって、どうしてこんなに難しいんだろうね。僕は君を愛することに疲れてきました。「愛する」、ただこれだけの事なのに、どうしてうまくいかないんだろうね。愛は自分と他の人との接点だから。たとえば友情のように。もし自分と自分の所有物との関係なら、こわそうとなくそうと誰も文句はいわないけれど、自分には自分の過去や世界があり、相手には相手の過去や世界があるんだものね。相手の気持ちは、自分の思いどおりにはならないものね。自由にはできないね。だから、愛は難しいね。悲しいね。

あの頃の僕は、本当に悩みのかたまりであった。手紙がくるたび、

ドキドキし、喜び、そして泣いた。どうして彼女は僕の気持ちに気づいてくれないんだろうと。どうして僕は彼女にふさわしくないんだろうと。

大学に落ちて、僕は高校の補習科に行き、下宿を続けた。一年間の自由な時間、予備校にも慣れた六月。とうとう僕はやってしまった。今考えても、どうしてあんな事をしてしまったのかわからない。彼女が僕をふりむいてくれることなどありえなかったのに。そんな事をすればそれまでの僕の五年間もの歳月が、何も意味もたなくなってしまうのに。きつと魔がさしたのでしょう。僕は彼女に手紙をだして、自分の心をうちあけてしまった。しかし僕は、何を書いても彼女が僕を恋人として見てくれる事はないと知っていた。僕は五年も彼女を見てきて、彼女の好みはわかっていたから。だからその手紙には、恋人になつてくれ、などではなく、ただ自分の心を知ってもらうつもりで書いた。もうこれで会えなくなっても仕方ない。ただ僕の正直な気持ちをわかってほしい。そして心から友だちになることができなくて本当にすまない、と書いてむ。そして何日か過ぎて、彼女から返事がきた。忘れもしない6月11日、日曜日の事だった。同輩諸君には今でもっているこの手紙を見せた事があるが、その返事には、正直言ってそう言われてうれいともいやだとも思わない。私はずっと友達と生きてきたから。ただ悲しい。何が悲しいのかよくわからないけどとにかく涙がでて止まらない。今は二人とも会ってもどうにもならないからしばらくの間、活動停止。今はただ勉強を頑張つて。自分の将来を決める大切な時期を、悔いのないよう過ごして下さい。とあり、それと共に学業祈願のお守りが一つはいっていた。これが僕の世界で一番悲し

い日であった。その日僕は泣いた。もう二度とこんなに泣けないだろうと思うほど、泣いた。どうして僕はこんな事をしてしまったのか。後悔してもしきれなかった。それから大学に入るまでは、最低の一年だった。何人かの人に話したが、今でも思いだしたくない程の生活だった。それまでの僕の生活は、彼女への思いが心の支えだった。その支えが根もとからポッキリ折れてしまった。ただ一日中何も考えず、夜になれば泣いた。そして僕の心の中に、「彼女の亡霊」が住みついた。僕が何をしようとしても、その亡霊がささやいた。「あんたは私に拒否されたのよ。何をやってもだめな人間なのよ。」

何とか大学に入れた時、僕は思った。自分はこの一年で、無に戻った。自分の誇りも、自分の悩みも、すべて無に帰った。これからは新しく自分を変えよう。これがチャンスだ。僕がポート部に入った時、「一生先輩についていきます。」という言葉で、お調子者といわれた事があった。前の自分であったなら、きつとあんな事はいわなかったであろう。前の僕は、自分から進んで人の和に入ろうとはしなかった。まわりの人をうるさく思い、ある時は嫌っていた。大学に入つてこの性格は、僕がかなり苦心してつくりだしたキャラクターである。

さてそろそろ純粋に、「愛」というものについて考えてみよう。僕個人について言えば、前の文をよんでわかるように中学校の時に考えた恋愛タイプ説が柱となっている。しかしこの相手を見守り続けるという態度は、同輩のI君と話していた時に、「それは愛じゃなくて単にあこがれに過ぎないんじゃないのか。」と言われ、その時は、確かにそうだったのかもしれないと思った。しかしその後おりに触れて考えてみて、やはり愛だったのではないかと思えてきた。僕は彼女を好

きになった。これはどうしようもない事である。そして彼女は僕に好意を抱いていない。これもどうしようもない事である。こんな場合、愛は存在できないのか。僕がうち明けて拒否されるは、わかりきっていたことである。それが僕を友だちとして長い間つきあってきたくれた彼女を悲しませるのは、わかっていた事である。愛する人を悲しませて、何が愛なのか。それよりも相手を思いやる事が、愛なのではないのか。僕には彼女に愛されるだけの力をもっていなかった。彼女にふさわしい男になろうと思いついながらも、ついにそうなることができなかった。僕が見た文に、次のようなものがある。

見つめあうだけが、愛ではありません。彼女の希望でありなさい。彼女の夢でありなさい。彼女の誇りでありなさい。そして自分を超えること。繰り返し今ある自分を超えること。人を愛するとはそういうことです。

この言葉は一つの真理だと僕は思っている。相手に愛されているにしろ、愛されていないにしろ、自分を常に向上させて、相手にふさわしい人間になろうとすることこそが、愛なのだと思う。だから同輩諸君の中で恋人のいる人は、今よりもっとかっこよくなってほしいし、男らしくなってほしいし、誠実でそして人生に対して常に真面目であってほしいと、心から願うのである。

以上のようにごちゃごちゃと脈絡もなく書いてきたわけであるが、現在僕が考える「愛」の定義は、「相手を大事に思い、相手のためになろうとし、自己を犠牲にしてまでも相手の幸福を願う究極の気持ち」

である。僕は彼女をうらんではいない。それどころか彼女を愛せたことを今でも誇りに思っている。そしてその気持ちにはじないように、なによりもまず「いい男」になりたいと思う。今自分は何をすべきかを常に判断し、一番適切な行動をとれるような思考と才能を持った人間。そして今まで自分がひとりよがり生きてきて、人を傷つけ悲しませた分だけ、人にやさしくし、人の幸せを願い、見守っていきたいと切に思っている。自分の事ばかり書いてしまったが、馬鹿馬鹿しいと思う方も、もっともだと思う方も、一度は真剣に考えてほしいと思つて、ペンをとった次第である。ポート部の諸兄は、どうお考えになるだろうか。

僕が入部一年目でありながらポートについて書かなかつたのは、自分でポートに対する気持ちがまだ整理がつかないからである。自分は様々なコンプレックスを持っているし、これは誰もがそうだと思うが、口にはださないまでもいくつかの不満などがある。「こんなクラブは早くやめたい。」と思つた事がない、といったら嘘になる。しかし僕を引きとどまらせたのはなによりも、同輩諸君のおかげだと思つている。

ポート部は本当に誇りうるいい部である。またどんどん強くなるであろう。しかし、個人的にいわせてもらえば、OBの方々のお叱りをうけるかもしれないが、強い部である前になによりも楽しい部であつてほしい。部員一人一人が自分の役割をしっかりと把握し、またそれぞれが人と人との間の潤滑油となるような。「ポート部愛の時代。」という言葉があつたが、冗談でなく本当にそうなつて欲しいと思つる。

最後になるが、僕をポート部へ誘つて下さつた石井、中島両先輩を

はじめ、お世話になりっぱなしの諸先輩方、迷惑をかけ通しの同輩諸君、そしてなによりも大変な仕事をやってくれるマネージャーの方々にこの場をかりて深く深く感謝して、僕の文の終わりにしたいと思う。

## HUNGRY SPIRIT 合コン編

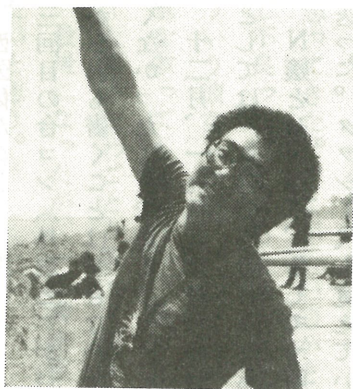
教II 福井雅士

一九八五年四月。寒かった冬も終わり、大学受験を通り抜けて、ようやく外界にもそして僕自身にも春がめぐってきていた。三年もの長きにわたり青雲高校という閉鎖的状况の中に生活した僕にとり、すべてが新鮮で、すばらしく思えた。

中学時代、友人が僕に言った酒落にこういふのがある。「ぼおっとしている奴はボートに乗る」。この酒落はなぜか僕の記憶に残り大学に入ってクラブは何にしようかと迷っていたその時にも、頭の中に響いた。

僕は、自分がぼおっとしているか否かについて自己診断してみることにした。結果は、どうあがいてもぼおっとしている、という事に落ちついた。と同時に僕はボート部入部を決意したのである。

そして初めての合コンを経験することになった。初めての合コンで僕



は不覚にも酔っ払ってしまい、あまり覚えていないが、理学療法科のXX子さんと話した事は覚えている。

その後、巷では色々噂されているようであるからここでその真偽をはっきりさせておこう。彼女とは何もない。ただ四、五回医技短の前に通ったのみである。

五月。ようやく大学生活にも、ボート部にも慣れ始めた頃、先輩達に誘われて野母崎に行った。その時、いっしょに行った女の子にY嬢という人がいた。

長大祭で少しいっしょに飲んだが、後は別に何もなく、巷で噂されているような事は、天地神明に誓い絶対に無い。それにもし仮に彼女が何らかの誤解やつっかかりがあるにしても、僕は既に公の場で許された事を確認しているのである。

六月。純心短大の合コン。相手の女の子達があまりおとなしく、僚友たちはおもしろくない顔をしていたが僕は違っていた。ハングリー精神を持つ事。それが合コンでの王道である。それは、女の子達に対して物理的接触をはかれという意味ではなく、精神的なアプローチをそして自分の人間性を成長させよ、という意味である。合コンではいろんな女の子達としゃべることが出来る。どの子にも長所があり、また短所がある。そうした事にふれながら相手を理解すること。それは必ず人間を成長させる。そして、これこそ合コンでの最大の収穫なのである。そう考えていた僕にとり純短との合コンも楽しかった。

七月。長崎女子短大との合コン。この時はH嬢と懇意になったが、その後音信はない。西医体が近づいてきていて、つきあいどころの話ではなかったのである。

西医体が終わり、悪夢のような前期試験が終わって一息ついた頃、三回目の合コン（外短と）が行われたが、僕は出席できなかった。だから何も書くことはできないが、出席者の感想を総合するとおもしろくなかったようである。

十二月、一九八五年最後の合コンが県短を相手として行われた。僕としては、この時の合コンがもっとも印象深く覚えている。

N嬢としゃべり、そして十時が門限という彼女をタクシーで家まで送った。タクシー代も覚えている。二二五〇円であった。

しかしその後、僕は玉砕した。I先輩もはなばなしく散っていったが、僕もそれにひけをとらない程、BE SHOCKEDの状態に陥ちざるをえなかった。

そして一九八六年二月現在、僕には浮いた話は皆無である。しかし、ハングリー精神はなくすまい、と思う。

青春が、心の奥底から湧き立つ情熱に身をゆだねて突っ走るものであるならば、ハングリーに徹することが即ち青春である。

ポートに対しても、異性に対しても、食事に対しても、ハングリー精神を無くしてはダメだ。全てにハングリーになろう。それが、青春なのだから。最後に一言。

さあ、みなさんごいっしょに、青春しませう！

## 平 凡

教二 劉 中 誠

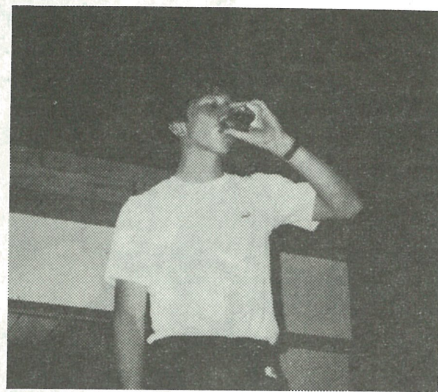
今日は二月三日、節分である。普通豆をまいたり、歳の数だけ豆を食ったりするそうだが生まれてこの方、そういう事をした記憶がない。どうでもいいが原稿のメ切りが迫っている。ところが、いざ書こうとすると何を書こうかと迷ってしまう。仕方が無いから成り行きまかせでペンを走らせようと思う。

今日はアルバイトの日だった。アルバイトといっても家庭教師で、母高である長崎西高の三年生を教えている。自分にはもっと体を使うのが合っていると思うが、割の良さに引かれて続けている。しかし、今年の夏は割の良し悪しは別として、社会勉強のつもりで変わったバイトをやってみようと思う。

次に何を書こうかと考える。ふとラジオのスイッチを入れると明るいDJの音が流れてきた。中島みゆきの声であった。彼女の深夜放送は大学に入る前まではよく聞いたものだったが、入学してからは全くなくなってしまった。しかし、ひさしぶりに聞いた彼女の声は全く変わっていない。ちょっと安心した。それにしても中島みゆきという女性はDJをしている時はあんなに明るいのに。どうして暗い失恋の歌が作れるのだろうか。一体、根明なのか根暗なのか全くわからない。でもそこが神秘的で彼女の魅力なのかもしれない。ちなみに彼女の曲の中では、「時代」という曲が一番好きである。特に沈んでいる時にこの曲を聞くと、少しは明るくなるので？もっとも、落ち込んだ

時に中島みゆきの曲を聞くと、それ以上に落ち込む場合が多いから、あまり勧められないが……。

歌の話題になったついでに、今までファンになった女性歌手をあげてみたい。まず小学校から中学校にかけては、追中一時ピンクレディ



ーに傾いたものの、ずっと山口百恵のファンだった。彼女の曲はよく聞いたり口づさんだりもした。今でもたまに彼女の曲が流れてくると、とても懐かしく思う。中学三年の時、彼女は結婚して芸能界を引退したが、今はその彼女も二児の母親である。時の流れは早いものだ。そして高校に入ると、友人の影響で河合奈保子

が好きになった。奈保子ちゃんの魅力と言えば、誰もが認めるあの豊かな・・とかわいい顔、そして純真で明るいところである。高校の三年間は本当に彼女の曲ばかりよく聞いたり歌ったりしたものだ。高校を卒業し、一年間を経て大学に入ると、今度は中森明菜がいいなあと思ってきた。どこがいいのかと聞かれても困るが、しいて言えば、少し不良っぽいところと色っぽさ、そして歌の上手いところだろう。そういう彼女も昨年、史上最年少でレコード大賞に輝いた。今年もいい歌を歌ってもらいたい。長々とくだらない事を書いてきたが、ミーハーな者のたわごとと思っ読流してほしい。

最後になったが、一応漕艇部の部誌らしくボートの話でしめくくりたいと思う。

たいと思う。

月日のたつのは早いもので、漕艇部に入部してもうすぐ一年になる。本当にこの一年、ただ一生懸命漕いできた。まだ漕艇部の一員としての自覚には欠けるが、振り返ってみて漕艇部に入ってよかったと思う。実感である。確かに試合前の練習や夏合宿はきつい、強くなる為には、きつい練習は仕方ない事だろう。そして漕艇部に入部したおかげでいい友人や先輩に恵まれ。これからも精一杯漕いでいこうと思う。



## 夏合宿異聞

文責 山本太郎

想い起こせばそう事件は合宿の打ち上げの日におこった。  
例年この打ち上げでは事件がおこるのだがやはり出ました今年も。  
ではそれを時間を追ってみたい。



事件1、一気の順回り(これは新キャップの部誌の類型にのっているが)を行い花火を打ち上げ始めた。ここまでで終わればなにもな

ったはずなのだが……。

なんと全裸での狂乱が始まり、どとうの如く数人が国道までのランニングを始めた。一陣はそれだけで終わった。しかし盛り上がりはとどまるところを知らず、第二陣が発する頃には服をきている奴が全裸の奴にキッと鋭角的ににらまれるというところまでできていたのであった。そして第二陣はついにやりました。国

道の信号をとめて、車にわめきちらしたのだった。

「貴様、何んば考えよつとや、くらゝすど」など。

やがてこれは長崎県警の知るところとなり、パトカーがやってきたのでした。

話はすこし本題からはなれるが、この時第二部の主人公として登場してくるS君はすでにグロッキーの状態にあつたとのことだがこの時はまだ主人公として登場してはこない。しかし時間経過とともに当日を追ってみたいと思うので一言付言する。

話を戻そう。

「住民から連絡を受けて来たのだが、国道でさわいだのは誰か、でて来てもらいたい。」おまわりさんは興奮しがちな声をややもてあましぎみにおっしゃったのだ。

約七、八人の部員がそれに応じて出頭したのだ。

「学年、学部、本籍、を一人づつ言いなさい。」とおっしゃる言葉に一人の勇氣ある少年が、「大学三年目の二年生です。」

とユーモアたっぷりと言ったことは驚ろくに値する出来事であったが、忍び笑いが少しもれたことでもそれは証明されよう。さて質疑応答が終わりかけ、おまわりさんが、

「飲みすぎたらいいけど、オイも若つか頃はヨート飲みよつたバツテン、限度を知らにゃー」とおっしゃった。

皆、頭をたれ「いやー、それほどは飲んでいませんよ」とささやくように言った時、登場したのが教養一年のI君と学二のOさんだった。

「水/水/ Oさん水をください。オエッー、オエッー。」

「しっかりとしろI。だいじょうぶかI。オエッー、いけん、オ

「エー」と会話がかわされたのであった。そのあと、残っていた者が淳々とおまわりさんにさとされたことはいうまでもない。

なおこのI君は西医体の打ち上げでも武勇伝を残したことを付け加えておこう。

さてこれら一連のことが終わり皆、寝るべくフトンに入った時第二の事件がおこった。

名探偵と呼ばれる、金田一耕助や神津恭介でさえこの第二の事件を予言することは不可能だったろう。

みんながおまわりさんの来訪や花火の興奮がさめやらぬようでもフトンには入ったが眠れぬまま時を過ごしていた。とその時のことであつた。食堂兼ミーティング室から叫び声が聞こえてくるではないか。

「水、水をくれー/死ぬ/死ぬ」この世のものともつかぬ声で……。始めはキョトンとしていた部員たちにもやがて事を理解した。酔ったS君がその酔いにまかせて（本能か？）食った腐った桃にあたつた？のだった。単なる飲みすぎだったとの話もあり真実はさだかではないが。

「Kさん、薬、薬をください」

「I、お前だけが俺の味方だ」

など悲惨な絶叫は夜をゆるがした。なお当事者のS君はその後、後遺障もなく全快したのだった。パチパチ

毎年のこととはいえ費やされる若さのエネルギーは莫大なものである。これを青春の浪費なんて言う奴には言わしておこう。

浪費のない若さ、後悔のない若さなんてないのだから。

先輩方も行った、そして今僕たちももっている祭なのだろう。ただ狂気、愛すべき狂気の支配する祭なのだろう。

こうして僕たちの熱い夏の夜は更けていったのだった。

追記 今部誌作りに追われながらも夏を想う時、それを記録し、後世に残すことに感じた責務が僕にペンをとらせたことを言っておく。

## 初 漕 ぎ

一月十五日、於子々川。

合宿所が使えないため、寒風吹き荒れる中、薪の火で体を暖めながらの初漕ぎであつた。海中に足をつけると、最初冷そく、それが痛みにかわり、そして何も感じなくなるといふ凍傷の経過そのままをたどってゆく状態であつた。その厳寒にもかかわらず、井上・小倉・中崎・永山・小林先生方に来ていただき、先生方と部員を混ぜてローイングを楽しみました。

その後、浜口へゆき、例年どおり、一年生を中心に前後不覚の飲み会がひらかれた。一次会には、川口・中崎・永山・小林先生方がこられました。一年生が暴れてすいませんという私の言葉に、「学生はこれくらい元気なくてはいかん。僕らもこうだったもの。」という川口先生の言葉が印象的でした。

## 学内駅伝大会

一月十八日、小雨の降りしきる中、毎年恒例の駅伝大会がおこなわれた。昨年は初漕ぎの打ち上げに食った牡で腹痛をおこすというアクシデントに見舞われ出場できなかった。従って二年ぶりということになる。

Aチームの第一走者は山本(修)。例年第一走者はクラブで一番足の速い者になる。他のチームも足の速い者をもってきており、距離も一番長く、いっせいにスタートするため、自分の順位が一目でわかってしまうという三重四重のプレッシャーがかかるポジションである。山本(修)は教養の最初の一周を5位で通過。我々のどぎもをぬいたが、最初のハイペースがたたって30位代前半でゴール。第二走者の天野は一昨の第一走者。その時は、あまりのプレッシャーのため、前日下痢をし、ゴールしたとたん、一言「すいませんでした。」と言い放ってバタリとたおれたという経歴の持ち主。そのうつぶんをはらすように、長身を生かした走りで行回は10人抜きを快走。あとは第七走者までたいした変動はなく23位。

Bチームは第一走者福井が50位代でゴール。その後、じりじりと追いついて47位。

Cチームは人数が足りないため、青木さんにも走っていただいた。最終ランナーは、どこからともなく現れた(正確には、図書館から出てくる所をつかまされた)鈴木が六人抜きを敢行。52位であった。彼は最初「僕はダメですよ。いやーまいったなあ」などと言っていた。し

かし、彼は走る前、入念はウォームアップおよびストレッチをおこなっていたことをここに記しておこう。来シーズンの復帰が期待される。

### 一言！ — 共産党宣言 (マルクス) —

生 田 安 司  
田 中 邦 彦 共著

私たちが入部してから早一年、春には一年前の私たちと同じ新入部員を迎える身となってしまった。私たち二人は、入学時にはまさかポルト部など入部する気などこれぼっちも無かったが、何かの縁で籍を置くようになってしまった。私などは最初は「何ヶ月続くだろうか？」とさえ思っていた。しかしそんな不安とは裏腹に今年一年間やってこられたのも優しく時には厳しい先輩方や裏で僕たち部員を支えてくれたマネージャーさん達のお陰だったと今振り返ってみて思う。先輩方、マネージャーさん達どうも「ありがとうございます」。

ここで部員の方々に一言/私たち一年生から言うのもおこがましいようですが、「「謀反!!」などとは言わないでネノウフフ(間違っても石井さんではありません。悲しくなっちゃう。)」一言/現在のマネージャー問題です。よく一年生のマネージャーと二年生のマネージャーが比較されて取り沙汰されていますが、ハッキリ言って私たちも「二年生のマネージャー(十サブ・マネージャー)さん達はとても良くやってくれた」と思いますが、一年生のマネージャーさん達も良くやってくれたのではないのでしょうか。ここで私たちが部員がマネージャー

になったと仮定してみましよう。

ポートを陸から見るのがそんなに面白いでしょうか？（それにボートの経験もなければ知識すらそれ程無いのです。）食事や後片付けをするのがそんなに楽しいものでしょうか？（何の報酬も無ければ、愛する人がいるわけでもないのに）自分たちはその程までにマネージャーとして部に対して尽くせるでしょうか。今一度考えて見てください。マネージャは言うなれば部員全員に尽くしてくれる「部」の彼女ではないでしょうか。あなたは自分の彼女の粗ばかり探しますか？長所を見つめようとするのではないのでしょうか。あなたが彼女の欠点ばかり見つめるならば彼女もあなたの欠点ばかりを見つめるのではないのでしょうか。あなたが本気で彼女の事を思いやってこそ、彼女もあなたの事を思いやってくれるのではないのでしょうか。これは彼女達についても言える事だと私たちは断言します。

だからだと私たち一年が感じた事を書いてきましたが、もし良ければ、もう一度考えて見てはいかがでしょうか。

私たち二人はブリッ子かもしれないませんが、もう少しマネージャーさん達に感謝の念を持って接するべきだと思います。

今ここでマルクスのある言葉が脳裏をよぎります。

万国の労働者よ、団結せよ！

ここで飛び入り福井雅士 物申す！！

辞めないでくり~~~~~。



## 昭和60年度行事結果

3月25日	60年シーズン開始
3月27日	OB会総会(於 銀嶺)
3月25日~4月5日	春 合 宿
4月28日	九州山口医科学生体育大会(於 唐津 主管・佐賀大学)
5月18・19日	九州朝日レガッタ(於 遠賀川)
5月11日	新入生歓迎コンパ・丹羽先生帰国歓迎会
6月2日	県 漕 (於 形上湾)
6月中旬 1週間	教 養 合 宿
7月18日~7月31日	夏 合 宿
8月3・4日	西日本医科学生総合体育大会(於 広島芦田川漕艇場 主管 岡山大学)
9月22日	OB 報 告 会(於 江山楼)
10月20日	宮城杯レガッタ(於 大村)
11月3日	熊大対抗戦(於 子々川)
1月15日	初 漕 ぎ
2月8日	卒業生追出しコンパ(於 江山楼)

## 昭和60年度合計報告

### 支 出

○ 試合遠征費(交通費・宿泊費・食費等)	
九 山	1 7 7, 6 0 0
九州朝日	2 7 5, 4 0 0
西 医 体	4 0 5, 9 7 0
○ 試合エントリー費	
九 山	1 9, 0 0 0
九州朝日	4 0, 0 0 0
県 漕(含漕艇協会登録費)	3 3, 0 0 0
西 医 体	6 8, 9 4 5
宮 城 杯	8, 0 0 0
○ 合 宿 費(食費・宿泊費等)	
春 合 宿	1 5 2, 9 5 3
夏 合 宿	2 5 2, 4 9 4
○ 艇 運 送 費	
九州朝日	6 5, 0 0 0
西 医 体(福山市)	1 8 5, 0 0 0
○ タウンエース車検・修理・自動車税	2 6 2, 1 9 0
○ 卒業記念品	5, 0 0 0
○ ガソリン代	2 6 3, 0 1 0
○ 雑 費(通信費等)	5 7, 8 4 0
小 計	2, 2 8 1, 4 0 2

### 収 入

○ 学友会より援助	2 5, 0 0 0
○ 部員負担金	
部 費	4 1 4, 0 0 0
春 合 宿	2 2 5, 0 0 0
九 山	1 8 5, 0 0 0
九州朝日	4 0 0, 0 0 0
夏 合 宿	4 0 0, 0 0 0
西 医 体	4 0 0, 0 0 0
○ OB諸氏より寄付	2 5 1, 2 1 0
○ コンパ残金	1 0 6, 0 0 0
○ 前年度繰り越し金	3 5, 4 3 4
小 計	2, 4 4 1, 6 4 4

残 高 1 6 0, 2 4 2 円

## 昭和61年度年間計画

3月15日～4月5日	春 合 宿
4月 下旬	九 山
6月 上旬	教 養 合 宿
6月 上旬	県 漕(於 形上)
6月 上旬	九州朝日レガタ(於 遠賀川)
7月下旬に約2週間	夏 合 宿
7月 下旬	西 医 体(於 琵琶湖 主管・滋賀医科大学)
8月23日～8月26日	全日本大学選手権
10月 中旬	強 化 合 宿
10月末～11月初	熊大対校戦(於 熊本)
" ~ "	宮 城 杯(於 大村)

全日本については未定

# 長崎大学医学部漕艇部OB会会則

第一条 本会は、長崎大学医学部漕艇部OB会と称する。  
第二条 本会の事務所は、長崎大学医学部漕艇部内に置く。  
第三条 本会の目的は、漕艇部の円滑な運営の為に、精神的、物質的な援助を行ない、あわせて部員の身体の練成ならびに人格の陶冶を図り、会員相互の親睦をはかるものとする。  
第四条 本会は、漕艇部のOBからなる一般会員ならびに本会の趣旨に賛同する賛助会員をもって組織する。  
第五条 本会に左記の役員を置く。

- (1) 会長一名
- (2) 副会長一名
- (3) 顧問若干名
- (4) 総務若干名
- (5) 会計監査一名

第六条 会長、副会長、総務、会計監査はOB会において互選し、顧問は、会長が委嘱する。  
第七条 役員の内任は、一年とする。ただし、再任は妨げない。

第八条 漕艇部顧問教官は、OB会に出席し、部の事情を説明しなければならない。  
第九条 総会は、年に一度これを開くものとする。

第十条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。  
第十一条 本会の会費は、一般会員より徴収し、会費額は年度ごとに総会において決定する。

第十二条 本会の会計年度は、毎年四月一日より始まり翌年三月三十一日に終わる。  
第十三条 本会の予算、決算は、総会の承認を得なければならない。  
第十四条 本会には左記の帳簿を備える。

- (1) 会則
- (2) 会員名簿
- (3) 会計簿

第十五条 会則の変更は、総会の承認を得なければならない。

付 則

この会則は、昭和五十四年四月一日から施行する。

(昭和五十五年三月二十二日改正)





長崎大学医学部漕艇部OB会役員名簿（昭和60年度）

	氏名	住 所	〒	電 話 番 号	
名誉会長	青木 義勇	長崎市西山町1-350	850	(21)1874	細菌学名誉教授
会 長	村上 文也	" 平野町1-25	852	(47)5132	開 業 医
願 問	宮城 重信	" 築町3-1	850	(23)2494	開 業 医
"	辻 泰邦	" 西山町1-370	850	(22)6760	第1外科名誉教授
"	須山 弘文	" 横尾町2-4-5	852	(56)1321	法医学教授
"	高 久 功	" 坂本町11-15 坂本合同住宅1-22	852	(44)4087	眼科学教授
"	尾崎 正若	西彼杵郡長与町高田郷字木場151-25 自由ヶ丘団地16号	859-01	(57)5550	第2薬理教授
"	山口 光次	長崎市昭和町882	852	(44)5272	県漕艇協会理事
"	吉田 恒雄	" 矢の平町2-19	850	(25)4979	県漕艇協会
世話人	谷川 宗生	" 虹ヶ丘町18-15	852	(57)1294	長大第3内科
"	田川 泰	西彼杵郡長与町嬉里郷98-12	859-06	(87)1391	長大第1外科
"	出口 正己	長崎市平野町22-14 ボンモール平野町204	852	(47)1896	長大形成外科

長崎大学医学部漕艇部OB会賛助会員名簿（アイウエオ順）

氏名	住所	〒	電話番号		卒業年次
青木 義勇	長崎市西山町1-350	850	(21)1874	長大細菌学名誉教授	S6
井上 満治	" 岩屋町511	852	(56)2711	開業	S19
岡本 英雄	島原市湊道町2丁目7024	855	09576 (2)2452	"	S7
片伯部 貢	長崎市扇町2-22	852	(44)3043	"	S17
片峰 大助	" 愛宕町3丁目11-7	850	(24)3312	長大熱研寄生虫学名誉教授	S14
佐藤 安雄	" 本石灰町5-11	850	(22)0321	開業	日大
鈴谷 悦堂	" 緑ヶ丘町1341	852	(46)2052	"	S19
城谷 勝明	" 瓢訪町6-23	850	(22)6831	"	S20
高木 聡一郎	" 今博多町37	850	(24)0590	"	S20
高久 功	" 本尾町4-15	852	(44)4087	長大眼科学教授	東北大
田中 敏	" 住吉町3-11	852	(44)1770	"	S16
辻 泰邦	" 西山町1-370	850	(22)6760	長大第1外科名誉教授 佐世保市立総合病院院長	S16

宮城重信	" 築町3-1 自宅 万才町3-22 船津ビルF602	852	(23)2494	開	T14
村上文也	" 平野町1-25	852	(47)5132	"	S20
村田農六	" 平野町22-21	852	(44)2460	"	S14



① 西... ② ... ③ ... ④ ...



峰 雅 宣	S 4 8	長 1	大 内	1. 長大附属病院第1内科(米国留学) :長崎市坂本町7 1 2. 長崎市柳谷町4-1 3	8 5 2 8 5 2	0 9 5 8 ( 4 7 ) 2 1 1 1 0 9 5 8 ( 4 4 ) 7 0 3 1
朝 戸 末 男	S 4 9	長	大	1. 朝戸病院開業 2. 鹿児島県大島郡和泊町和泊1 4	8 9 1 - 9 1 8 9 1 - 9 1	0 9 9 7 9 ( 2 ) 1 1 3 1 0 9 9 7 9 ( 2 ) 2 2 8 0
早 田 篤	S 4 9	長 小 児 科	大 科	1. 長大附属病院小児科:長崎市坂本町7-1 2. 長崎市大岩町7 7 - 1 0	8 5 2 8 5 2	0 9 5 8 ( 4 7 ) 2 1 1 1 0 9 5 8 ( 6 2 ) 5 6 2 2
内 田 隆 寿	S 4 9	長 2	大 外	1. 長大附属病院第2外科:長崎市坂本町7-1 2. 長崎市富士見町1 0 - 2 1	8 5 2 8 5 2	0 9 5 8 ( 4 7 ) 2 1 1 1 0 9 5 8 ( 6 2 ) 0 6 6 7
瀬 戸 信 二	S 4 9	長 3	大 内	1. 長大附属病院第3内科:長崎市坂本町7-1 2. 長崎市宝町6-1 8	8 5 2 8 5 0	0 9 5 8 ( 4 7 ) 2 1 1 1 0 9 5 8 ( 4 5 ) 9 1 3 9
田 川 泰	S 4 9	長 1	大 外	1. 長大附属病院第1外科:長崎市坂本町7-1 2. 西彼杵郡長与町麴里郷9 8 - 1 2	8 5 2 8 5 9 - 0 6	0 9 5 8 ( 4 7 ) 2 1 1 1 0 9 5 8 ( 8 7 ) 1 3 9 1
富 海 五 郎	S 4 9	愛 媛 精 神 科	大 科	1. 松山精神病院:松山市美沢1-9-3 8 2. 松山市東野町1-6-1 5 3. 下関市山ノ田中央町	7 9 0 7 9 0 7 5 0	0 8 9 9 ( 2 5 ) 3 2 1 1 0 8 9 9 ( 2 2 ) 7 3 2 9
中 野 文 耕	S 4 9	長 2	大 外	1. 若松町国民健康保健診療所:南松浦郡若松町 2. 南松浦郡若松町若松郷2 8 1	8 5 3 - 2 3 8 5 3 - 2 3	0 9 5 9 4 ( 6 ) 3 3 1 5 0 9 5 9 4 ( 6 ) 3 3 1 8
丹 羽 正 美	S 4 9	長 2 薬 理	大 理	1. 長崎大学第2薬理教室 2. 長崎県西彼杵郡長与町高田郷1 6 1 3 - 4	8 5 2 8 5 9 - 0 6	0 9 5 8 ( 4 7 ) 2 1 1 1 0 9 5 8 ( 8 3 ) 5 8 7 1

氏名	卒業年次	教室	1. 勤務先・勤務先住所	2. 現住所	3. 帰省先	〒	電話番号
馬渡 一雄	S49	長3 大内	1. 馬渡医院開業 2. 長崎市西山町2丁目291-55			850	0958(22)0101
桜井 一枝	S49		1. 国立福山病院小児科：福山市沖野上町 2. 福山市川口町30-1			720 720	0849(22)0001 0849(54)4454
石川 治	S51		1. 岡山大学附属病院第2外科：岡山市鹿田町2-5-1 2. 岡山市鹿田町1-8-10 三信ビル305号			700 700	0862(23)7151 0862(25)4908
川口 昭男	S51	長1 大外	1. 長大附属病院第1外科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市中園町15-15			852 852	0958(47)2111 0958(47)5529
神田 源太	S51	長 大 皮フ科	1. 長大附属病院皮膚科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市片淵町1-12-7			852 850	0958(47)2111 0958(22)5529
田中 精一	S51	東京女子医 大 消化器	1. 東京女子医大消化器センター ：新宿区市谷河田町10 2. 世田谷区北鳥山5-6-15 ソエルクソール206号			160 157	03(353)8111 03(307)5669
堤 健二	S51	長 大 脳外科	1. 公立御調総合病院脳神経外科 ：広島県御調郡御調町大字市124 2.			722-03 801-01	08487(6)1111
出口 正巳	S53	長 大 形成外科	1. 福井病院：長崎市深堀町1-11-54 2. 長崎市平野町22-14 ボンソール平野町204 3. 北九州市門司区中20-11-7			851-03 852 800	0958(71)1515 0958(47)1896 093(381)4624

土居 浩	S 5 3	長小 大 小 児 科	1. 長大附属病院小児科：長崎市坂本町7-1 2. 諫早市中尾町1-47 3. 愛媛県宇和島市本町追手1-2-8	852 854 798	0958(47)2111 0957(26)4240 089954(2)1346
井上 健一郎	S 5 4	長 大 2 内	1. 井上病院：長崎市宝町8-9 2. 長崎市宝町6-18 別館ビル301 3. 長崎市岩屋町511	850 850 852	0958(44)1281 0958(46)2218 0958(56)2711
江口 圭介	S 5 4	長 大 3 内	1. 佐世保労災病院：佐世保市瀬戸越町 2. 佐世保市瀬戸越町152西-4 6号 3. 佐世保市常盤町5-8	857-01 857-01 857	0956(49)2191 0956(40)8719 0956(22)4708
吉良 満夫	S 5 4	長 大 2 外	1. 長大附属病院第2外科：長崎市坂本町7-1, 2. 長崎市三原町1338 竹内マツショソ新501	852 852	0958(47)2111 0958(49)1225
小村 三代治	S 5 4	神 大 戸 小 児 科	1. 公立御津病院小児科 ：兵庫県揖保郡御津町中島1666 2. 兵庫県揖保郡御津町朝臣1265	671-13 671-13	07932(2)1121 07932(2)2950
成松 元治	S 5 4	長 大 1 外	1. 健康保険諫早総合病院：諫早市永昌東町 2. 諫早市永昌東町23番80丁 3. 佐賀市長瀬町6-24	854 854 840	0957(22)1380 0957(22)6844
水谷 明正	S 5 4	長 大 2 外	1. 福井病院：長崎市深堀町1-11-54 2. 長崎市御船蔵町15-3 トーカンマツショソ606号	851-03 850	0958(71)1515 0958(24)2512
小倉 猛	S 5 5	長 大 形 成 外 科	1. 長大附属病院手術部：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市平和町23-15 マゾン平和台301 3. 青森県東津軽郡今別町大字 月44	852 852 030-16	0958(47)2111 0958(47)1873 01743(6)2355
谷川 宗男	S 5 5	長 大 3 内	1. 原爆病院：長崎市茂里町3-15 2. 長崎市滑石5丁目11の57	852 852	0958(47)1511 0958(57)1294



氏名	卒業年次	教室	勤務先・勤務先住所 2. 現住所 3. 帰省先	〒	電話番号
難波 裕幸	S55	長精神科 大	1. 九大附属病院心療内科：福岡市東区馬出 2. 福岡市博多区吉塚1-38-7 ベイテック302号 3. 神奈川県箱根町大平台395	812 812 250-04	092(641)1151 092(621)0288 0460(2)2562
前原 洋二	S55	大村国立病院 整形外科	1. 五島中央病院整形外科：福江市木場町 2. 福江市木場町475五島中央病院公舎	853 853	09597(2)3181
村山 晋	S55	三重内 大科	1. 上野総合市民病院内科：三重県上野市四十九町831 2. 三重県上野市茅が町2671-2 エビスコーポ202号 3. 三重県伊勢市勢田町917-63	518 518 516	0595(24)1111 0595(21)5034 0596(25)3722
山近 史郎	S56	長3 大内	1. 長大附属病院第3内科：長崎市坂本町7-1 2. 長崎市滑石3-51-9 3. "	852 852 "	0958(47)2111 0958(57)4360 "
倉富 彰秀	S57		1. 健和会 2. 福岡市東区唐原高節76-2 3. 佐賀県神埼郡神崎町大字の1495-1	813 842-01	0958(47)6647 09525(2)3800
岡田 代吉	S57	長1 大外	1. 北松中央病院：北松浦郡江迎町 2. 佐世保市折橋町27-8-5 3. 東彼杵郡千綿宿1067	859-61 857	0956(65)3121 0956(23)3817 09574(7)0020
末永 俊郎	S57	九 産婦人科	1. 中津国立病院：中津市千池永173 下関中央 2. 同上 3. 北九州市門司区鳴竹1-14-16	871 " 801	0979(22)2480 " 093(321)2453
中崎 隆行	S57	長1 大外	1. 長大附属病院1外科：長崎市坂本町7-1 2. 西彼杵郡長与町高田郷351川口ベイツ1-3 3. 福岡県築上郡椎田町椎田	852 859-06 829-03	0958(47)2111 09305(6)0325

0832-23-0507





# 長崎大学医学部漕艇部現役員名簿

学年	氏名	出身校	1. 現住所	2. 帰省先	〒	電話番号
学 4	青木 幹弘	青雲	1. 長崎市西山町2丁目209-9 2. 同 上		850	(21)3967〔自宅〕
学 3	石井 久敬	筑紫丘	1. 長崎市石神町13-31 片岡ビル401 2. 福岡県春日市伯玄町2-52-1		852 816	(47)8542〔直〕 092(581)8976
"	岡野 邦彦	青雲	1. 長崎市坂本町564-1 片瀨方 2. 福岡県北九州市小倉北区井堀1-26-3		852 803	(46)2009〔呼〕 093(571)4149
"	朝長 道生	泰星	1. 長崎市橋口町11-11 第3仙弘ビル203 2. 佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿乙2189		852 843-03	(44)7099〔直〕 09544(3)2117
"	中島 寅彦	修猷館	1. 長崎市坂本町633 辻田アパート2F 2. 下関市田中町7-13		852 750	(45)0644〔直〕 0832(22)8533
学 2	天野 秀明	金光学園	1. 長崎市坂本町564-1 坂本アパート3号室 2. 大阪府豊中市小曾根4-27-18 ダスキヤ共同マンション405号		852 561	(46)2009〔呼〕 06(336)2721
"	金色 正広	東筑	1. 長崎市平和町18-7 深田アパート104 2.		852	(44)9360〔直〕 093(561)3320
"	吉川 公正	東筑	1. 長崎市平和町19-10 木下ビル401 2. 北九州市若松区深町2-7-20		852 808	(46)0809〔直〕 093(761)4065

学年	氏名	出身高校	1. 現住所	2. 帰省先	〒	電話番号
学 1	旭 隆 宏 福 岡		1. 長崎市三原町 1338 2. 福岡市東区土井団地C-29	シャトー竹内301号	852	(46)9249〔直〕 092(691)3350
"	市 川 辰 樹 松 山 北		1. 長崎市平和町6-18 2. 松山市久米窪682-38	吉幸ビル402号	852 798	(44)7933〔直〕 0899(76)2735
"	小 野 重 遠 宮 崎 西		1. 未 定 2. 宮崎県東臼杵郡北浦町大字三川内6434		899-04	0982(42)1418
"	白 藤 智 之 修 道		1. 長崎市小峰町1-14 2. 広島市西区庚午中1丁目18-32	あこやビル407 トルミ庚午210	852 733	(46)8254〔直〕 082(272)0252
"	寺 尾 保 信 湘 南		1. 長崎市坂本町819 2. 藤沢市藤沢6188-183	田中AP	852 251	(44)2541〔直〕 0466(81)4131
"	中 村 晋 大 瀬		1. 長崎市坂本町576 2. 福岡市東区舞松原1-6-18		852	(44)2110〔直〕 092(661)4367
"	山 本 修 青 雲		1. 長崎市桜馬場1丁目9-20 2. 同 上		850	(24)4600〔自宅〕
"	山 本 太 郎 竹 原		1. 長崎市坂本町545 2. 広島県竹原市忠海町3609-79		852 729-23	(47)9121〔直〕 08462(6)1868
教 2	生 田 安 司 青 雲		1. 未 定 2. 佐世保市天神5丁目6-21			0956(31)3946

"	鈴木康弘 熊本マリスト	1. 長崎市清水町5-23 川原方 2. 熊本市帯山2丁目5-74	852 (44)3130 [呼] 096(381)9203
"	田中邦彦 久留米附設	1. 長崎市坂本町633辻田アパート 2. 福岡県春日市ちくし台5-8	852 (44)0199 816 092(501)0635
"	福井正士 青雲	1. 未定 2. 佐賀県藤津郡嬉野町温泉二区	843-03 09544(3)1019
"	劉中誠 長崎西	1. 長崎市泉町370-2 2. "	852 (48)4321 "



医用電子機器販売

# 三栄長崎販売株式会社

代表取締役 河原秀人

長崎市坂本町4番3号  
電話 (0958) 45-5795 代表



医科器械・理化学器械・計量器

# 大栄堂器械店

長崎市桶屋町22番地  
電話0958②13565番(代表)

# 自然のままの IgG

好中球

IgGをcoatingしたラテックス粒子

緑膿菌

## 静注用人免疫グロブリン ヴェノグロブリン<sup>®</sup>-I

(乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)

この写真は2枚の電顕写真に基づいて作成したものである。IgG FCを介して好中球に付着したラテックス粒子の局所にH<sub>2</sub>O<sub>2</sub>の産生を認める(黒い部分)。



株式会社 **ミドリ十字**

大阪市東区今橋1-15-1 〒541

★カラオケ 3,000曲  
歌うのはオール無料!

思案橋から歩いて2分

# パブOK

正覚寺下電停前(クラブ古城さんの地階)  
☎ 21-0029

やきとり・焼酎

一本

長崎市浜口町13-2

浜口フードセンター裏

電話 0958 (47) - 9496

誠実＝信頼

地域社会の健康と福祉の向上を願って  
てささやかなお手伝いをいたします。

医薬品・医療品  
農薬・食品の総合商社  
各種臨床検査

# (株)宮崎温仙堂商店

(〒854)  
本社 長崎県諫早市東小路町179  
電話 09572 (2) 3350(代表)

— 事業所 —

長崎. 道の尾. 浦上. 島原. 佐世保. 大村  
五島. 天草. 佐賀. 武雄. 唐津. 熊本. 松橋

心と緑の調和をめざす



医薬品総合商社

株式会社

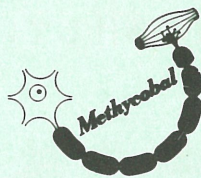
**重 陰 堂**

長崎市恵美須町3-4 ☎21-3939



傷ついた神経を修復し  
しびれ・痛み・まひを改善する

末梢性神経障害治療剤



**メチコパール®**

錠500 $\mu$ g・錠250 $\mu$ g・細粒・注射液500 $\mu$ g

●メチコパールの神経修復作用

1. 神経細胞内小器官への移行がよい
2. 神経細胞内の核酸・蛋白の合成を促進する
3. 軸索内輸送を促進する
4. 髓鞘形成を促進する
5. 軸索再生を促進する
6. シナプス伝達を早期に回復させる
7. 筋電図の回復を促進する

●効能・効果

末梢性神経障害

ビタミンB12欠乏による巨赤芽球性貧血  
(注射液のみ)

●ご使用にあたっては添付文書をご参照下さい。

E-F4 8707

〈薬価基準収載〉

**Eisai** エーザイ  
東京都文京区小石川4

**基質蛋白保護作用・抗ペプシン作用**

消化性潰瘍治療剤

薬価基準収載

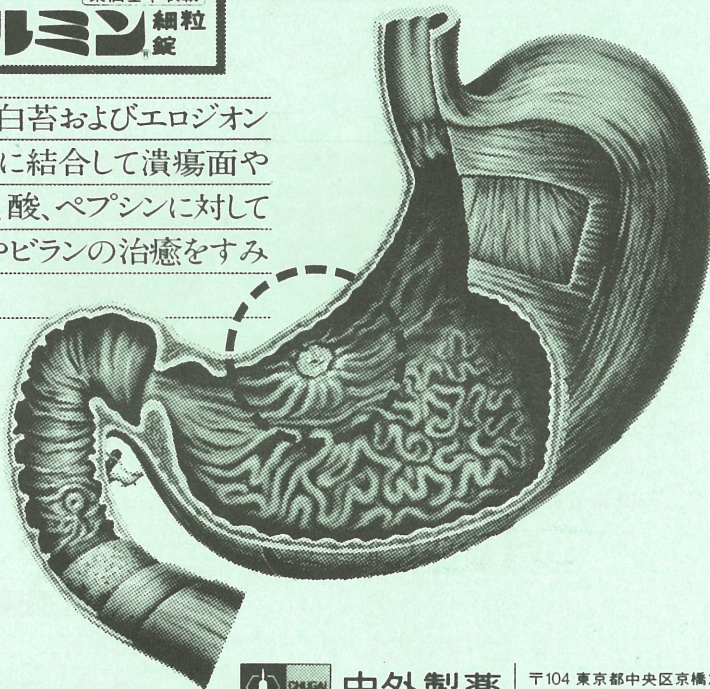
**アルサルミン** 細粒錠

アルサルミンは潰瘍底部や白苔およびエロジオン部分の基質蛋白と化学的に結合して潰瘍面や炎症部を保護すると同時に、酸、ペプシンに対してバリアーを形成して、潰瘍やピランの治療をすみやかに促進します。

〔適応症〕 胃潰瘍・十二指腸潰瘍

〔包装〕 細粒：500g、1kg、5kg、  
.1g×1200包、1g×3600包  
錠：1200錠

■「用法・用量」、「使用上の注意」は添付文書をご覧下さい。

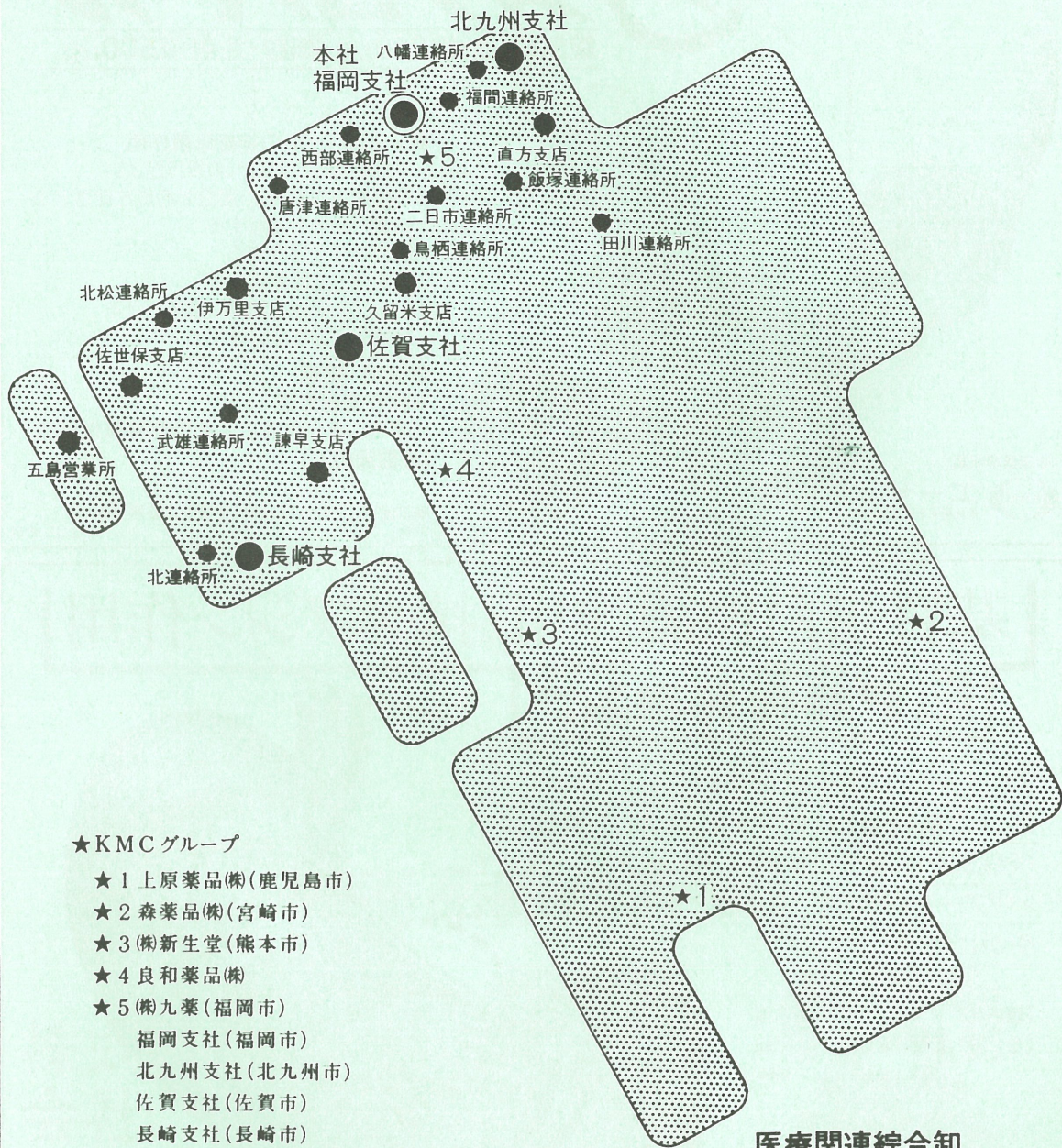


中外製薬

〒104 東京都中央区京橋2-1-9  
TEL (03) 281-6611

# かけがえのない生命だから…

(株)九薬は、優良医薬品・医療機器のトータル  
サプライできょうも、地域医療に奉仕しています。



★KMCグループ

- ★1 上原薬品(株)(鹿児島市)
- ★2 森薬品(株)(宮崎市)
- ★3 (株)新生堂(熊本市)
- ★4 良和薬品(株)
- ★5 (株)九薬(福岡市)
- 福岡支社(福岡市)
- 北九州支社(北九州市)
- 佐賀支社(佐賀市)
- 長崎支社(長崎市)

医療関連総合卸



株式会社

九

薬

本社 〒812 福岡市博多区山王2-3-5  
TEL (092) 471-2200(大代表)

医療器械・X線装置  
理化学器械全般



株式会社 富士医科精器

本社 佐世保市保立町1番35号  
☎ (0956) 24-2441 〒857  
長崎支店 長崎市坂本町8-4(長大病院前)  
☎ (0958) 46-9500 〒852  
営業所 佐賀市若宮3丁目23番5号  
☎ (0952) 31-4747 〒840-01

歓迎・送迎会・コンパ承ります

中国料理

海鮮料理

京華園

〒850 長崎市新地町9番7号

電話 0958 (21) 1507



# 自然のめぐみを 最先端の技術で活かす。

漢方には数千年の経験に培われた科学の重さがあります。

ツムラは大正13年、津村研究所を設置し、生薬の基原・化学・薬理を主体に研究を進めてきました。昭和58年、薬理研究所を新設し、最新の薬理学的アプローチにより、漢方製剤の有効性・安全性の確認、さらには新しい有用性の開拓など「新しい時代の漢方製剤」を追求し続けております。

また、学術臨床研究も、全国の各大学・国公立病院を中心に多面的・多角的に展開され科学的に有用性が証明されてきております。すなわち、日本において1,000年以上の期間、医療の中心であった漢方における膨大な先人たちの残した臨床経験の現代化の研究も進んでおります。自然のめぐみである薬草、草・根・木・皮を煎じて、最先端の技術で品質の安定をはかり“ツムラの顆粒”に仕上げた〔ツムラ医療用漢方製剤〕。まさにツムラ独自の技術集約の結晶といえます。

ツムラは、〔ツムラ医療用漢方製剤〕を通して、現代医療の場に役立ちたいと願っております。

漢方を科学する

**ツムラ**

株式会社 津村順天堂

常に健康への願いをこめて

医薬品卸問屋  
**伊東薬品株式会社**

本 社 長崎市桶屋町 45 番地 1  
〒850 電話 代表(0958)25-5225

営業所 長崎・長崎北・佐世保・諫早  
五島(福江)

こんな時に

# アリナミン<sup>®</sup>A

肉体疲労時の

V<sup>ビタミン</sup>B<sub>1</sub>補給、

神経痛・

腰痛・

肩こり・

筋肉痛の緩和、

脚気、

病中病後・妊娠授乳期のV<sup>ビタミン</sup>B<sub>1</sub>補給。

アリナミンA25は、すぐれた性質をもつビタミンB<sub>1</sub>誘導体（フルスルチアミン）が主成分。このほかビタミンB<sub>2</sub>・B<sub>6</sub>・B<sub>12</sub>を配合しています。体の組織によくゆきわたってすぐれた効きめを発揮します。1日1〜4錠お試しください。

●説明書をよく読んで正しくお使いください。●くわしくは、医師、薬剤師、薬局、薬店にご相談ください。

武田薬品工業株式会社

〒541 大阪市東区道修町2-27



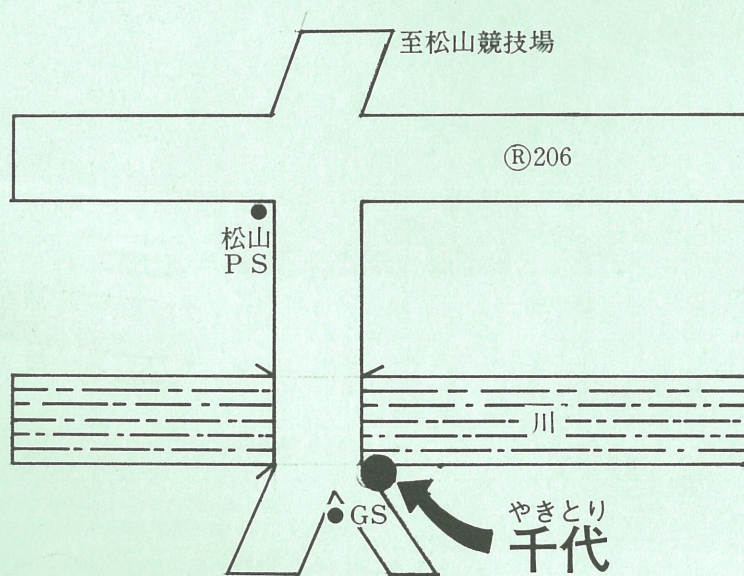
名高達郎

# やきとり 千代

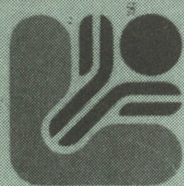
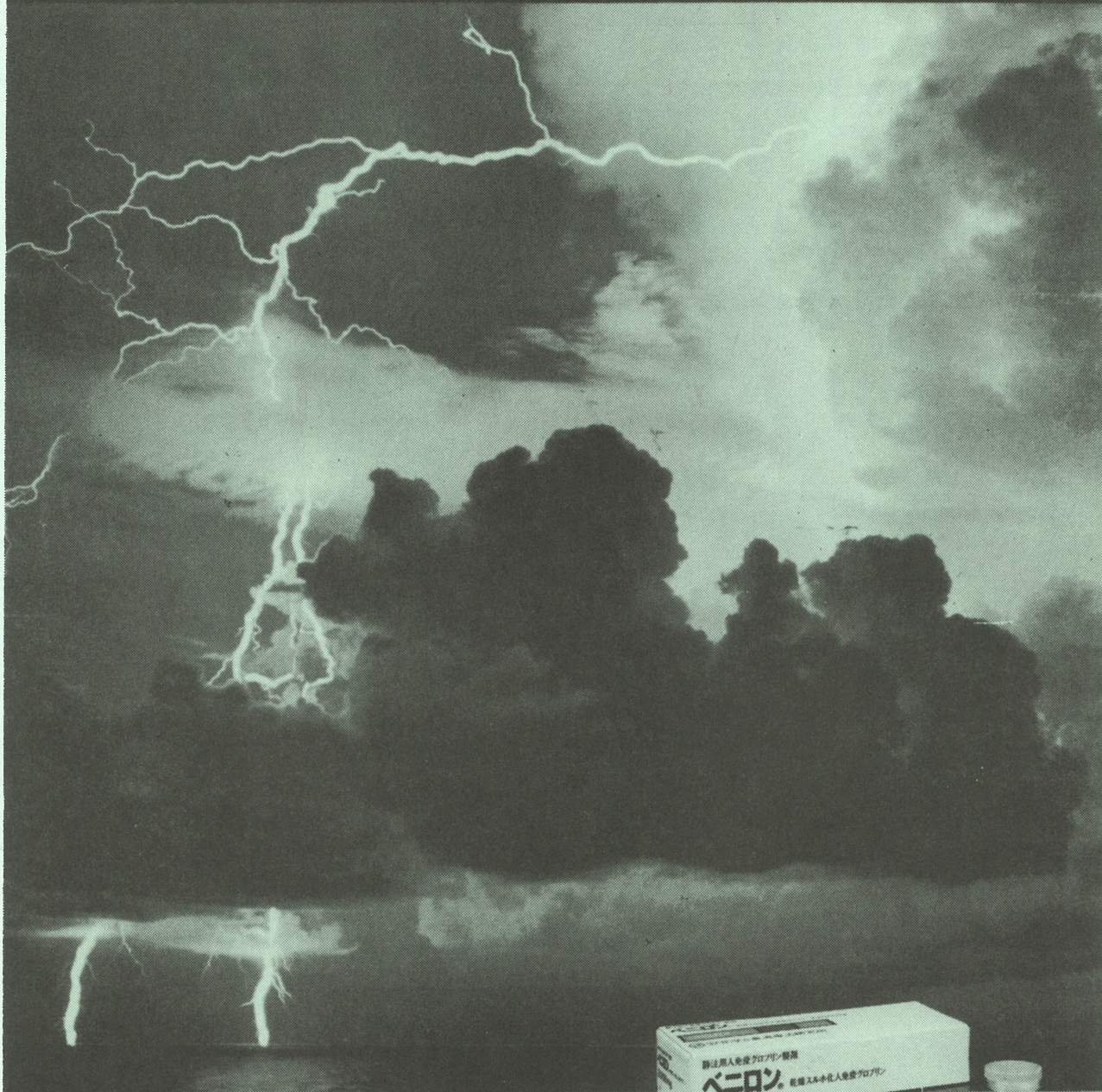
場 所 長崎市平和町2-14

営業時間 PM 5:00~AM 4:00

T E L 0058-(48)-7296



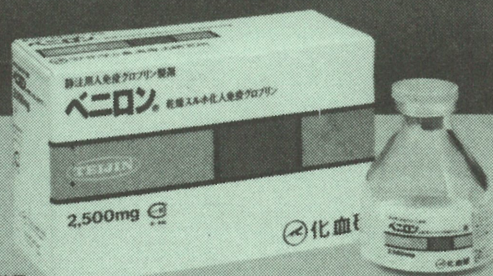
# ITPの止血管理に!



静注用人免疫グロブリン製剤

## ベニロン<sup>®</sup>

(乾燥スルホ化人免疫グロブリン)



効能・効果

1. 低又は無ガンマグロブリン血症
2. 重症感染症における抗生物質との併用
3. 特発性血小板減少性紫斑病 (他剤が無効で著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合)

 化血研

国産、初のセファマイシン系抗生剤 ■日抗基：注射用セフメタゾールナトリウム ■健保適用品(要指)・(指)

# セフメタゾン<sup>®</sup>

静注用	2g・1g・0.5g・0.25g
筋注用	0.5g

## 鋭い殺菌力 CMZ

- 抗菌範囲が広く、特にグラム陰性桿菌、嫌気性菌に強い抗菌力を示します
- $\beta$ -lactamaseに、強い抵抗性を有しています
- 体液、臓器内への移行も良好
- 活性のまま、尿中へ高濃度に排泄されます

### ■ 効能・効果

黄色ブドウ球菌、大腸菌、肺炎桿菌  
変形菌(インドール陽性及び陰性)、バクテロイデス  
ペプトコッカス属及びペプトストレプトコッカス属のうち  
本剤感性菌による下記感染症

- 敗血症 ● 気管支炎、気管支拡張症の感染時、肺炎慢性呼吸器疾患の二次感染、肺化膿症(肺膿瘍)、膿胸
- 胆管炎、胆嚢炎 ● 腹膜炎
- 腎盂腎炎、膀胱炎 ● バルトリン腺炎、子宮内感染  
子宮付属器炎、骨盤死腔炎、子宮旁結合織炎
- 顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎



用法・用量、副作用、使用上の注意は、添付文書をご覧ください。



健康に奉仕する

# 藤村薬品株式会社

本社 長崎市田中町2022番地  
TEL (37) 8331

支店 佐世保・諫早・五島  
営業所 武雄・浦上・大村・佐賀・島原  
練絡所 上五島

お客様との「信頼関係」をモットー  
に、よりよき明日の教育のために、  
日夜、努力を重ねております。

募

集



日頃より皆様の御活躍を職員一同深く感  
謝しております。家庭教師センターでは、  
熱意ある教師を待っております。



長崎県 家庭教師センター学院

長崎市若葉町長大正門前(宮崎ビル3F)

医科器械・理化学器械・病院諸設備一式

医療と科学に貢献する



山下医科器械株式会社

佐世保本社 佐世保市湊町3番13号(〒857) 電話(代表) 25-2111番  
長崎支店 長崎市浜口町12番19号(〒852) 電話(代表) 44-3171番